

FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

X-T50

FF240001

使用説明書

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるように大切に保管してください。

最新情報について

本製品の最新の使用説明書はこちらをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/ja/manual/>



上記ウェブサイトでは、最新情報の使用説明書が用意されており、カラーの作例などもご用意しています。また、スマートフォンやタブレットからのアクセスも可能となっていますので、是非アクセスしてみてください。ソフトウェアのライセンスに関する情報も記載しています。



本製品のファームウェア更新情報はこちらをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/firmware/cameras/>



章目次

メニュー一覧

iv

1 このカメラの概要

1

2 撮影の準備

35

3 基本的な撮影と再生

51

4 動画の撮影と再生

59

5 撮影に関する設定

67

6 撮影メニュー

125

7 画像の再生と再生メニュー

227

8 ネットワーク /USB 機能と設定メニュー

255

9 セットアップメニュー

289

10 ショートカット機能

329

11 オプション品・外部機器の使い方

349

12 資料

367

メニュー一覧

このカメラで利用できるメニューの一覧です。

撮影メニュー

静止画撮影や動画撮影時に利用できるメニューです。



設定方法の詳細は撮影メニューをご覧ください (125)。

静止画撮影メニュー



📷 と 📹 の両方のアイコンが付いている項目は、静止画撮影メニューと動画撮影メニューで共通の項目です。設定を変更すると両方同時に変更されます。

📷 画質設定	📖
画像サイズ	126
画質モード	127
RAW 記録方式	128
JPEG/HEIF 選択	129
1/4 フィルムシミュレーション ダイヤル設定	129
フィルム シミュレーション	130
モノクローム カラー	132
グレイン・エフェクト	132
カラークローム・エフェクト	133
カラークローム ブルー	133
スムーズスキン・エフェクト	133
2/4 ホワイトバランス	134
ダイナミックレンジ	138
D レンジ優先	139
トーンカーブ	140
カラー	140

📷 画質設定	📖
シャープネス	140
高感度ノイズ低減	141
明瞭度	141
3/4 長秒時ノイズ低減	142
点像復元処理	142
色空間	142
ピクセルマッピング	143
📷 カスタム選択	143
📷 カスタム登録 / 編集	144
4/4 カスタム登録内容の自動更新	149
📷 📹 マウントアダプター設定	149

AF MF フォーカス設定		目録
1/3	フォーカスエリア選択	152
	AF モード	152
	ゾーンカスタム設定	152
	AF モードオール設定	152
	AF-C カスタム設定	153
	縦 / 横位置 AF モード切替	157
	AF ポイント表示  	157
	  フォーカスポイント循環	158
	フォーカス点数切り替え	158
	プリ AF	159
2/3	AF 補助光	159
	 顔検出 / 瞳 AF 設定	160
	被写体検出 AF 設定	162
	AF+MF	164
	MF アシスト	165
	MF アシストフォーカスリング連動	166
	3/3	フォーカスチェック
測光&フォーカスエリア連動		167
  ワンタッチ AF 時の動作		167
  被写界深度スケール		168
レリーズ優先 / フォーカス優先		168
  フォーカスリミッター		169
タッチパネルモード		170

📷 撮影設定		目録
1/3	AUTO モード設定	172
	スポーツファインダーモード	172
	プリ撮影 ES 	173
	セルフタイマー	174
	セルフタイマー設定保持	174
	セルフタイマーランプ	175
	AE ブラケティング設定	175
	フィルムシミュレーション BKT	176

📷 撮影設定		📖
1/3	AUTO モード設定	172
	スポーツファインダーモード	172
	プリ撮影 ES 	173
	セルフタイマー	174
	セルフタイマー設定保持	174
	セルフタイマーランプ	175
	AE ブラケットイング設定	175
	フィルムシミュレーションBKT	176

撮影設定		
2/3	フォーカス BKT 設定	176
	測光	176
	シャッター方式	176
	インターバルタイマー撮影	178
	インターバルタイマー撮影 露出平準化	180
	インターバルタイマー撮影 間隔優先	180
	フリッカー低減	181
3/3	フリッカーレス S.S. 設定	181
	ブレ防止モード	182
	感度	182
	デジタルテレコン	183
	  ワイヤレス通信	183

フラッシュ設定		
	フラッシュ機能設定	184
	赤目補正	184
	TTL-LOCK モード	185
	LED ライト設定	185
	コマンダー設定	186
	CH 設定	186

動画設定		📖
動画モード	187	
ハイスピード撮影	187	
メディア記録設定	187	
📷 ブレ防止モード	187	
📷 ブレ防止モードブースト	187	
オーディオ設定	188	
マイク / リモートリリース設定	191	
📷 REC 枠表示	191	

動画撮影メニュー



📷 と 📺 の両方のアイコンが付いている項目は、静止画撮影メニューと動画撮影メニューで共通の項目です。設定を変更すると両方同時に変更されます。

📷 動画設定	📖
1/3	
動画設定一覧	192
動画モード	193
ハイスピード撮影	194
📺 セルフタイマー	195
メディア記録設定	195
HDMI 出力設定	198
動画クロップ倍率固定モード	199
F-Log/HLG 撮影	200
2/3	
データレベル設定	201
📺 測光	201
📺 フリッカーレス S.S. 設定	201
📺 ブレ防止モード	202
📺 ブレ防止モードブースト	202
📺 感度	203
ゼブラ設定	203
ゼブラレベル	203
3/3	
動画専用操作モード 📺	204
📺 REC 枠表示	204
タリーランプ	205
📺 カスタム選択	206
📺 カスタム登録 / 編集	206
📺 カスタム登録内容の自動更新	206
📷 📺 ワイヤレス通信	206

📺 画質設定	📖
1/2	
📺 フィルムシミュレーション ダイヤル設定	207
📺 フィルム シミュレーション	207
📺 モノクローム カラー	207
📺 ホワイトバランス	207
📺 ダイナミックレンジ	208
📺 トーンカーブ	208
📺 カラー	208
📺 シャープネス	209
2/2	
📺 高感度ノイズ低減	209
フレーム間ノイズリダクション	209
📺 周辺光量補正	210
📷 📺 マウントアダプター設定	210

AF MF フォーカス設定		
1/2	フォーカスエリア選択	211
	AF モード	211
	AF-C カスタム設定	212
	フォーカスポイント循環	212
	顔検出 / 瞳 AF 設定	213
	被写体検出 AF 設定	213
	AF+MF	214
	MF アシスト	214
2/2	MF アシストフォーカス リング連動	214
	フォーカスチェック	215
	ワンタッチ AF 時の動作	215
	被写界深度スケール	215
	フォーカスリミッター	215
	タッチパネルモード	216
	フォーカスチェックロック	218

オーディオ設定		
1/2	内蔵マイクレベル設定	219
	外部マイクレベル設定	219
	マイク端子設定	220
	マイクレベルリミッター	220
	風音低減	220
	ローカットフィルター	221
	ヘッドホン音量	221
	マイク / リモートリリース設定	221
2/2	XLR マイクアダプター設定	222

タイムコード設定		
	タイムコード表示	223
	開始時間設定	223
	カウントアップ設定	223
	ドロップフレーム	224
	HDMI タイムコード出力	224
	タイムコード同期設定	225

再生メニュー

再生時に使用できるメニューです。

 詳細は再生メニューをご覧ください (📖 234)。

🔍 再生メニュー	📖
1/2	
RAW 現像	234
HEIF を JPEG/TIFF に変換	238
消去	238
トリミング	240
リサイズ	241
プロテクト	242
画像回転	243
ボイスメモ設定	244

🔍 再生メニュー	📖
2/2	
レーティング	245
スマートフォンに画像転送	246
 ワイヤレス通信	248
スライドショー	249
フォトブックアシスト	250
プリント予約 (DPOF)	252
instax プリンタープリント	253
表示比率	254

セットアップメニュー

カメラの基本的な設定や表示などを変更するメニューです。



設定方法の詳細はセットアップメニューをご覧ください (p.289)。

基本設定		
1/2	フォーマット	290
	エリア設定	291
	日時設定	291
	世界時計	292
	言語/LANG.	293
	マイメニュー設定	293
	マイメニュー設定	293
	センサークリーニング	294
2/2	電子音 & フラッシュ	294
	ファームウェアアップデート	294
	リセット	295
	認証	295

音設定		
1/2	AF 合焦音量	296
	セルフタイマー音量	296
	操作音量	297
	REC 開始終了音量	297
	MSEF 電子シャッター音量	297
	MSEF 電子シャッター音	298
	ES 電子シャッター音量	298
	ES 電子シャッター音	298
2/2	再生音量	299
	4ch 音声再生	299

表示設定		
1/4	VIEW MODE 設定	300
	EVF 明るさ	300
	EVF 鮮やかさ	300
	EVF 色調整	301
	LCD 明るさ	301
	LCD 鮮やかさ	301
	LCD 色調整	301
	撮影画像表示	302
2/4	縦横自動回転表示	302
	マニュアル時モニター露出 / WB 反映	303
	ナチュラルライブビュー	303
	F-Log ビューアシスト	304
	電子水準器設定	304
	フレーミングガイド	304
	縦横自動回転再生	305
	距離指標の単位	305
3/4	シネマレンズ使用時の絞り単位	305
	画面のカスタマイズ	306
	情報表示拡大モード (EVF)	306
	情報表示拡大モード (LCD)	307
	情報表示拡大 表示設定	308
	情報表示コントラスト調整	308
	位置情報表示	309
	クイックメニュー背景設定	309
4/4	クイックメニュー背景設定	309

操作ボタン・ダイヤル設定		
1/3	フォーカスレバー設定	310
	クイックメニュー登録 / 編集	311
	クイックメニュー登録 / 編集	311
	ファンクション (Fn) 設定	311
	電動ズームレンズ ファンクション (Fn) 設定	311
	コマンドダイヤル設定	312
	S.S. 操作設定	313
	コマンドダイヤル回転方向	313
2/3	半押し AF	314
	半押し AE	314
	レンズなしリリース	315
	カードなしリリース	315
	レンズ ズーム / フォーカス 設定	316
	AE/AF-LOCK 設定	318
	AWB-LOCK 設定	318
	絞りリング設定 (A)	318
3/3	絞り設定	319
	Fn1 ボタン設定	319
	タッチパネル設定	320
	ロック	322

消費電力設定		
自動電源 OFF	323	
パフォーマンス	323	
EVF/LCD ブースト設定	324	
自動電源 OFF 温度	324	

保存設定		
コマ NO.	325	
ファイル名編集	326	
フォルダ選択	326	
著作権情報	327	
位置情報記録	327	

ネットワーク /USB 設定メニュー

カメラのネットワーク /USB 機能の設定を変更するメニューです。



詳細はネットワーク /USB 設定メニューをご覧ください (📖 279)。

📶 ネットワーク /USB 設定		📖
1/2	Bluetooth/ スマートフォン 設定	279
	機内モード	283
	ネットワーク設定	283
	instax プリンター接続設定	283
	Frame.io Camera to Cloud	284
	接続モード	287
	USB 給電 / 通信設定	288
	情報表示	288
2/2	ネットワーク /USB 設定 初期化	288



目次

はじめに	ii
最新情報について	ii
メニュー一覧	iv
撮影メニュー	iv
再生メニュー	viii
セットアップメニュー	ix
ネットワーク / USB 設定メニュー	xii
付属品一覧	xxvii
本書について	xxviii
本書で使われている記号について	xxviii
画面のイラストや写真について	xxviii
表記について	xxviii

1 このカメラの概要

1

カメラの各部名称と機能	2
銘板プレート	4
フォーカスレバー	4
シャッタースピードダイヤル	4
フィルムシミュレーションダイヤル	5
DRIVE ボタン	7
露出補正ダイヤル	7
オートモード切換レバー	8
コマンドダイヤル	9
インジケータランプ	12
液晶モニター	13
視度調節ダイヤル	13
撮影時の表示画面	14
EVF の表示画面	14
LCD の表示画面	16
EVF と LCD の切り替え	18
EVF/LCD の明るさ・鮮やかさ調整	20
縦表示について	20
情報表示の切り替え	21
画面の表示について	23
電子水準器について	25

メニューの使い方	26
メニュー画面について	26
メニュータブへの移動	27
タッチ操作について	28
撮影時のタッチ操作について	28
再生時のタッチ操作について	33

2 撮影の準備 35

ストラップを取り付ける	36
レンズを取り付ける	37
バッテリーとメモリーカードを入れる	39
使用可能なメモリーカード	41
バッテリーを充電する	42
電源をオンにする / オフにする	45
バッテリー残量の表示	46
初期設定を行う	47
言語を変更する	49
日時を変更する	49

3 基本的な撮影と再生 51

静止画を撮影する	52
静止画を再生する	54
HDMI 出力	55
画像を消去する	57

4 動画の撮影と再生 59

動画を撮影する	60
動画の設定について	63
動画を再生する	64

5 撮影に関する設定 67

撮影モードを変更する	68
 (オートモード)	68
プログラム (P) 撮影	72
シャッタースピード優先 (S) 撮影	74
絞り優先 (A) 撮影	79
マニュアル (M) 撮影	81

オートフォーカス撮影	83
フォーカスモード	84
AF モードの選択	86
フォーカスエリアの変更	88
マニュアルフォーカス撮影	92
ピントの確認方法	94
ISO 感度を変更	97
AUTO 設定について	98
測光モードを変更	99
露出補正	100
C (カスタム) について	101
AE/AF ロック撮影	102
ボタンによる AE/AF ロック	103
ブラケティング撮影	104
ISO ISO ブラケティング	105
WB ホワイトバランス BKT	105
BKT ブラケティング	106
連続撮影 (連写)	109
HDR 撮影	111
多重露出撮影	113
パノラマ撮影	116
アドバンストフィルター撮影	119
アドバンストフィルターの種類	120
フラッシュ撮影	121
フラッシュ機能設定	123

6 撮影メニュー

125

画質設定 (静止画)	126
画像サイズ	126
画質モード	127
RAW 記録方式	128
JPEG/HEIF 選択	129
フィルムシミュレーションダイヤル設定	129
フィルム シミュレーション	130
モノクローム カラー	132
グレイン・エフェクト	132

カラークローム・エフェクト	133
カラークローム ブルー	133
スモースキン・エフェクト	133
ホワイトバランス	134
ダイナミックレンジ	138
D レンジ優先	139
トーンカーブ	140
カラー	140
シャープネス	140
高感度ノイズ低減	141
明瞭度	141
長秒時ノイズ低減	142
点像復元処理	142
色空間	142
ピクセルマッピング	143
 カスタム選択	143
 カスタム登録 / 編集	144
カスタム登録内容の自動更新	149
  マウントアダプター設定	149
フォーカス設定（静止画）	152
フォーカスエリア選択	152
AF モード	152
ゾーンカスタム設定	152
AF モードオール設定	152
AF-C カスタム設定	153
縦 / 横位置 AF モード切替	157
AF ポイント表示  	157
  フォーカスポイント循環	158
フォーカス点数切り替え	158
プリ AF	159
AF 補助光	159
 顔検出 / 瞳 AF 設定	160
被写体検出 AF 設定	162
AF+MF	164
MF アシスト	165
MF アシストフォーカスリング連動	166

フォーカスチェック	166
測光 & フォーカスエリア連動	167
  ワンプッシュ AF 時の動作	167
  被写界深度スケール	168
レリーズ優先 / フォーカス優先	168
  フォーカスリミッター	169
タッチパネルモード	170
撮影設定（静止画）	172
AUTO モード設定	172
スポーツファインダーモード	172
ブリ撮影 	173
セルフタイマー	174
セルフタイマー設定保持	174
セルフタイマーランプ	175
AE ブラケティング設定	175
フィルムシミュレーション BKT	176
フォーカス BKT 設定	176
測光	176
シャッター方式	176
インターバルタイマー撮影	178
インターバルタイマー撮影露出平準化	180
インターバルタイマー撮影間隔優先	180
フリッカー低減	181
フリッカーレス S.S. 設定	181
ブレ防止モード	182
感度	182
デジタルテレコン	183
  ワイヤレス通信	183
フラッシュ設定（静止画）	184
フラッシュ機能設定	184
赤目補正	184
TTL-LOCK モード	185
LED ライト設定	185
コマンダー設定	186
CH 設定	186

動画設定（静止画）.....	187
動画モード.....	187
ハイスピード撮影.....	187
メディア記録設定.....	187
📷 ブレ防止モード.....	187
📷 ブレ防止モードブースト.....	187
オーディオ設定.....	188
マイク/リモートリリース設定.....	191
📷 REC 枠表示.....	191
動画設定（動画）.....	192
動画設定一覧.....	192
動画モード.....	193
ハイスピード撮影.....	194
📷 セルフタイマー.....	195
メディア記録設定.....	195
HDMI 出力設定.....	198
動画クロップ倍率固定モード.....	199
F-Log/HLG 撮影.....	200
データレベル設定.....	201
📷 測光.....	201
📷 フリッカーレス S.S. 設定.....	201
📷 ブレ防止モード.....	202
📷 ブレ防止モードブースト.....	202
📷 感度.....	203
ゼブラ設定.....	203
ゼブラレベル.....	203
動画専用操作モード 📷.....	204
📷 REC 枠表示.....	204
タリーランプ.....	205
📷 カスタム選択.....	206
📷 カスタム登録 / 編集.....	206
📷 カスタム登録内容の自動更新.....	206
📷 📶 ワイヤレス通信.....	206
画質設定（動画）.....	207
📷 フィルムシミュレーションダイヤル設定.....	207
📷 フィルム シミュレーション.....	207

 モノクローム カラー.....	207
 ホワイトバランス.....	207
 ダイナミックレンジ.....	208
 トーンカーブ.....	208
 カラー.....	208
 シャープネス.....	209
 高感度ノイズ低減.....	209
フレーム間ノイズリダクション.....	209
 周辺光量補正.....	210
 マウントアダプター設定.....	210
フォーカス設定 (動画).....	211
 フォーカスエリア選択.....	211
 AF モード.....	211
 AF-C カスタム設定.....	212
 フォーカスポイント循環.....	212
 顔検出 / 瞳 AF 設定.....	213
 被写体検出 AF 設定.....	213
 AF+MF.....	214
 MF アシスト.....	214
 MF アシストフォーカスリング連動.....	214
 フォーカスチェック.....	215
 ワンプッシュ AF 時の動作.....	215
 被写界深度スケール.....	215
 フォーカスリミッター.....	215
 タッチパネルモード.....	216
フォーカスチェックロック.....	218
オーディオ設定 (動画).....	219
内蔵マイクレベル設定.....	219
外部マイクレベル設定.....	219
マイク端子設定.....	220
マイクレベルリミッター.....	220
風音低減.....	220
ローカットフィルター.....	221
ヘッドホン音量.....	221
マイク / リモートリリース設定.....	221
XLR マイクアダプター設定.....	222

タイムコード設定（動画）.....	223
タイムコード表示.....	223
開始時間設定.....	223
カウントアップ設定.....	223
ドロップフレーム.....	224
HDMI タイムコード出力.....	224
タイムコード同期設定.....	225

7 画像の再生と再生メニュー 227

再生時の表示画面.....	228
情報表示の切り替え.....	230
再生方法.....	232
再生ズーム.....	233
マルチ再生.....	233
再生メニュー.....	234
RAW 現像.....	234
HEIF を JPEG/TIFF に変換.....	238
消去.....	238
トリミング.....	240
リサイズ.....	241
プロテクト.....	242
画像回転.....	243
ボイスメモ設定.....	244
レーティング.....	245
スマートフォンに画像転送.....	246
📶 ワイヤレス通信.....	248
スライドショー.....	249
フォトブックアシスト.....	250
プリント予約（DPOF）.....	252
instax プリンタープリント.....	253
表示比率.....	254

8 ネットワーク /USB 機能と設定メニュー	255
ネットワーク /USB 機能の概要	256
このカメラでできること	256
スマートフォンアプリケーションを使用する	258
スマートフォンにアプリケーションをインストールする	258
カメラとスマートフォンを接続する	258
スマートフォンアプリケーションを使用する	260
USB カードリーダーとして使用する	262
スマートフォンに画像を転送する	262
パーソナルコンピュータに画像を転送する	265
ウェブカメラとして使用する	267
instax プリントする	268
プリンターとの接続を設定する	268
画像をプリントする	269
Frame.io にファイル転送する	270
無線 LAN で接続する	270
Frame.io へファイルを転送する	274
RAW 現像する	277
設定の保存や読み込みをする	278
パーソナルコンピュータで設定の保存や読み込みをする	278
ネットワーク /USB 設定メニュー	279
Bluetooth/ スマートフォン設定	279
機内モード	283
ネットワーク設定	283
instax プリンター接続設定	283
Frame.io Camera to Cloud	284
接続モード	287
USB 給電 / 通信設定	288
情報表示	288
ネットワーク /USB 設定初期化	288

セットアップメニュー（基本設定）.....	290
フォーマット	290
🏠 エリア設定	291
日時設定	291
世界時計	292
🗣️ 言語/LANG.	293
📷 マイメニュー設定	293
🔊 マイメニュー設定	293
センサークリーニング	294
電子音 & フラッシュ	294
ファームウェアアップデート	294
リセット	295
認証	295
セットアップメニュー（音設定）.....	296
AF 合焦音量	296
セルフタイマー音量	296
操作音量	297
🔊 REC 開始終了音量	297
MSEF 電子シャッター音量	297
MSEF 電子シャッター音	298
ES 電子シャッター音量	298
ES 電子シャッター音	298
再生音量	299
4ch 音声再生	299
セットアップメニュー（表示設定）.....	300
VIEW MODE 設定	300
EVF 明るさ	300
EVF 鮮やかさ	300
EVF 色調整	301
LCD 明るさ	301
LCD 鮮やかさ	301
LCD 色調整	301
撮影画像表示	302
縦横自動回転表示	302
マニュアル時モニター露出/WB 反映	303

ナチュラルライブビュー	303
F-Log ビューアシスト	304
電子水準器設定	304
フレーミングガイド	304
縦横自動回転再生	305
距離指標の単位	305
シネマレンズ使用時の絞り単位	305
画面のカスタマイズ	306
情報表示拡大モード (EVF)	306
情報表示拡大モード (LCD)	307
情報表示拡大 表示設定	308
情報表示コントラスト調整	308
位置情報表示	309
 クイックメニュー背景設定	309
 クイックメニュー背景設定	309
セットアップメニュー (操作ボタン・ダイヤル設定)	310
フォーカスレバー設定	310
 クイックメニュー登録 / 編集	311
 クイックメニュー登録 / 編集	311
ファンクション (Fn) 設定	311
電動ズームレンズファンクション (Fn) 設定	311
コマンドダイヤル設定	312
 S.S. 操作設定	313
コマンドダイヤル回転方向	313
半押し AF	314
半押し AE	314
レンズなしリリース	315
カードなしリリース	315
レンズ ズーム / フォーカス設定	316
AE/AF-LOCK 設定	318
AWB-LOCK 設定	318
絞りリング設定 (A)	318
絞り設定	319
 Fn1 ボタン設定	319
タッチパネル設定	320
ロック	322

セットアップメニュー（消費電力設定）.....	323
自動電源 OFF.....	323
パフォーマンス.....	323
EVF/LCD プースト設定.....	324
自動電源 OFF 温度.....	324
セットアップメニュー（保存設定）.....	325
コマ NO.....	325
ファイル名編集.....	326
フォルダ選択.....	326
著作権情報.....	327
位置情報記録.....	327

10 ショートカット機能 329

ショートカット機能について.....	330
マイメニュー.....	331
マイメニュー設定.....	331
クイックメニュー.....	333
クイックメニュー画面.....	333
設定の確認と変更.....	335
クイックメニューの割り当て変更.....	336
ファンクション機能.....	339
ファンクションボタン.....	339
タッチファンクション.....	343
レンズファンクションボタン.....	345

11 オプション品・外部機器の使い方	349
交換レンズ	350
レンズの各部名称	350
交換レンズのお手入れ	351
レンズキャップの取り外し方	351
レンズフードの取り付け方	352
絞りリング付きレンズについて	353
絞りリングなしレンズについて	354
手ブレ補正対応レンズについて	354
フォーカスリングの移動により MF 撮影が可能なレンズについて	355
電動ズームレンズについて	356
クリップオンフラッシュ	357
フラッシュを設定する	358
シンクロターミナル	359
クリップオンフラッシュ	360
コマンダー（光通信）	363
12 資料	367
カメラで使えるアクセサリ	368
カメラで使えるソフトウェア・サービス	370
スマートフォン用アプリケーション	370
RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKPIX	370
FUJIFILM RAW Converter	371
Capture One	371
FUJIFILM X Acquire	371
FUJIFILM X RAW STUDIO	372
Frame.io Camera to Cloud	372
お取り扱いにご注意ください	373
お手入れについて	387
センサークリーニング	388
ファームウェアの更新	389
ファームウェアのダウンロード	389
ファームウェアの更新方法	389

トラブルシューティング /FAQ	392
電源とバッテリー	392
メニューなどの設定時	394
撮影時	395
再生時	400
接続時	401
無線通信	403
その他	404
警告表示	405
標準撮影枚数 / 記録時間	410
主な仕様	411
索引	419
ソフトウェアのお問い合わせ	426
アフターサービスについて	427

付属品一覧

ご使用の前に箱の中のものを確認してください。

- 充電式バッテリー NP-W126S (1 個)
- 専用 USB ケーブル (約 0.6m 1 本)
- ボディキャップ (1 個) (本体に装着)
- ショルダーストラップ (1 本)
- ヘッドホン用アダプター (1 個)
- 使用説明書 (基本操作編)
- 保証書 (1 部)



ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください (📖 42)。



- レンズキットをお買い上げいただいたときは、交換レンズが付属していることをご確認ください。
- ヘッドホン用アダプターは USB 端子 (Type-C) をヘッドホン端子 (φ 3.5mm) に変換するときに使用します。
- このカメラで使用できるソフトウェアについては、📖 370 をご覧ください。

本書について

この説明書には、富士フイルムデジタルカメラ X-T50 の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本書で使われている記号について



カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。



カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。



参照ページを記載しています。

画面のイラストや写真について

- 本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。
- 本書に掲載している写真は、機能を説明するためのもので、実際の機種で撮影したものとは限りません。

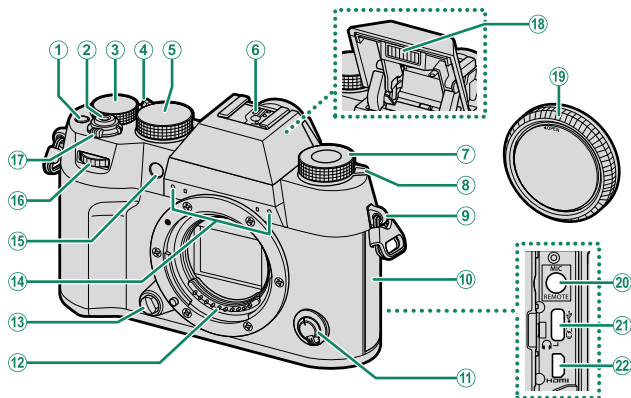
表記について

- このカメラでは、市販の SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを総称して「**メモリーカード**」と表記します。
- このカメラは、ファインダーと液晶モニターを装備しています。本書では、ファインダーを「**EVF**」、液晶モニターを「**LCD**」と表記する場合があります。
- メニューなどのカメラの表示は**太字**で表記しています。
- 本書では、スマートフォンとタブレットを併せて「**スマートフォン**」と表記する場合があります。

1

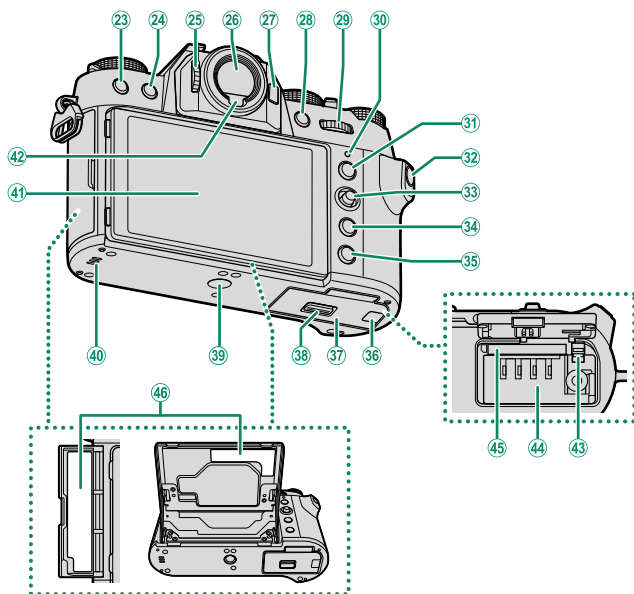
このカメラの概要

カメラの各部名称と機能



- | | |
|---|--|
| ① Fn1 ボタン.....339 | ⑬ レンズ取り外しボタン..... 37 |
| ② シャッターボタン..... 53 | ⑭ マイク..... 60、219 |
| ③ 露出補正ダイヤル..... 7、100 | ⑮ AF 補助光ランプ.....159 |
| ④ オートモード切換レバー..... 8 | セルフタイマーランプ.....174 |
| ⑤ シャッタースピードダイヤル.....4、72、74、79、81 | タリーランプ.....205 |
| ⑥ ホットシュー.....358 | ⑯ フロントコマンドダイヤル..... 9、312 |
| ⑦ フィルムシミュレーションダイヤル.....5 | ⑰ 電源レバー..... 45 |
| ⑧  (フラッシュポップアップ) レバー.....121 | ⑱ フラッシュ.....121 |
| ⑨ ストラップリング..... 36 | ⑲ ボディキャップ..... 37 |
| ⑩ 端子カバー | ⑳ マイク / リモートリリース端子 (Φ 3.5mm).....62、78、221 |
| ⑪ フォーカスモード切換レバー..... 84 | ㉑ USB 端子 (Type-C)..... 42、262 |
| ⑫ レンズ信号接点 | ㉒ HDMI マイクロ端子 (Type D)..... 55 |

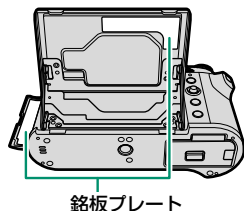
! ㉒ 別売のリモートリリース RR-100 を使用するときは、市販の 3 極 φ 2.5mm → 3 極 φ 3.5mm 変換アダプターが必要です。



- | | | | |
|---|-------------|---|------------|
| ②③ DRIVE ボタン | 7 | ③⑤ DISP/BACK (表示 / 戻る) ボタン | 21、230 |
| ⏮ (消去) ボタン | 57 | 📶 (Bluetooth) ボタン | 258 |
| ②④ ▶ (再生) ボタン | 54 | ③⑥ DC カブラーカバー | |
| ②⑤ 視度調節ダイヤル | 13 | ③⑦ バッテリーカバー | 39 |
| ②⑥ ファインダー (EVF) | 14、18、20、28 | ③⑧ バッテリーカバーロック | 39 |
| ②⑦ Fn2 ボタン | 339 | ③⑨ 三脚用ねじ穴 | |
| ②⑧ AFON ボタン | 103、339 | ④① スピーカー | 64、299 |
| ②⑨ リアコマンドダイヤル | 9、232、312 | ④① チルト式液晶モニター (LCD) | 13、16、18 |
| ③① インジケーターランプ | 12、205 | タッチパネル | 28、170、216 |
| タリーランプ | 205 | ④② アイセンサー | 19 |
| ③① AEL (AE ロック) ボタン | 103、339 | ④③ バッテリー取り外しつまみ | 40 |
| ③② Q (クイックメニュー) ボタン | 333 | ④④ バッテリー挿入部 | 39 |
| ③③ フォーカスレバー | 4、89、310 | ④⑤ メモリーカードスロット | 39 |
| ③④ MENU/OK (メニュー / 決定) ボタン | 26 | ④⑥ 銘板プレート | 4 |

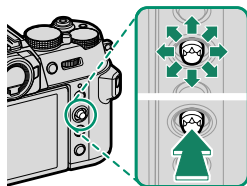
銘板プレート

銘板プレートにはCMIIT ID、シリアル番号などが印刷されていますので取り外さないでください。



フォーカスレバー

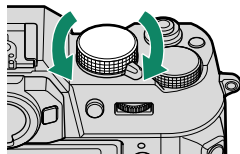
フォーカスレバーを八方向に動かしたり、中央を押したりしてフォーカスエリアを設定できます。メニューを表示しているときは、メニュー項目の選択に使用できます。



- フォーカスレバーの設定は、フォーカスレバーを中央に長押しするか、
操作ボタン・ダイヤル設定 > フォーカスレバー設定で変更できます。
- AF** フォーカス設定 > **カメラアイコン** フォーカスポイント循環で、フォーカスエリアを画面の一番端まで移動したときに、画面端で止まるか、反対側の端に回り込むかを設定できます。

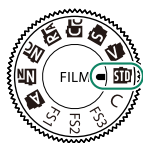
シャッタースピードダイヤル

シャッタースピード (S.S.) ダイヤルで、シャッタースピードを設定できます。



フィルムシミュレーションダイヤル

フィルムシミュレーションダイヤルを回してアイコンを指標に合わせると、フィルムシミュレーションを設定できます。



フィルムシミュレーションダイヤル	内容
STD (PROVIA/ スタンダード) V (Velvia/ ビビッド) S (ASTIA/ ソフト) C (クラシッククローム) RA (REALA ACE) N (クラシックネガ) NR (ノスタルジックネガ) A (ACROS)	それぞれのフィルムシミュレーションで撮影できます。 A ACROS で撮影する場合は 画質設定 > フィルムシミュレーションダイヤル設定 で使用するフィルターを設定してください。
FS1 FS2 FS3	画質設定 > フィルムシミュレーションダイヤル設定 で設定したフィルムシミュレーションで撮影できます。静止画撮影時と動画撮影時で個別に設定できます。
C (カスタム)	フィルムシミュレーションダイヤルでフィルムシミュレーションを設定せずに、 画質設定 > フィルムシミュレーション や フィルムシミュレーション で設定したフィルムシミュレーションで撮影します。コマンドダイヤルでフィルムシミュレーションの設定を変更することもできます (312)。

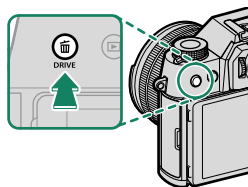


以下の設定はフィルムシミュレーションダイヤルを**C**に合わせているときのみ有効です。

- **画質設定** > フィルムシミュレーションまたは **フィルムシミュレーション**の設定
- **Q** メニューのフィルムシミュレーションの設定
- フィルムシミュレーションを割り当てたファンクションボタンによる設定
- **画質設定** > **カスタム登録 / 編集** や **動画設定** > **カスタム登録 / 編集** で登録した **フィルムシミュレーション**の設定

DRIVE ボタン

DRIVE ボタンを押すと、ドライブモード選択画面が表示され、ドライブモードを変更できます。

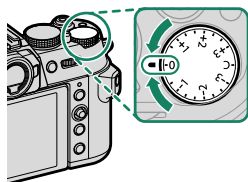


ドライブモード		📖
	1 コマ撮影	68
	CH 高速連写	109
	CL 低速連写	109
	ISO ブラケットिंग	105
	ホワイトバランス BKT	105
	ブラケットिंग	106

ドライブモード		📖
	HDR	111
	多重露出	113
	Adv. モード	116
	動画	119
		60

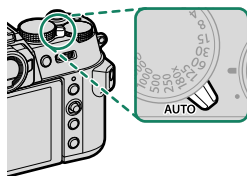
露出補正ダイヤル

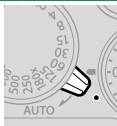
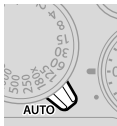
露出補正ダイヤルで、露出を補正できます。



オートモード切換レバー

オートモード切換レバーの位置で撮影できるモードが異なります。



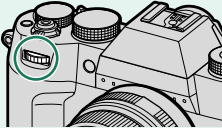
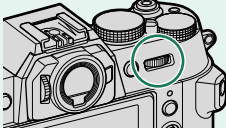
オートモード 切換レバーの位置	撮影モード	
	プログラムシフトができるオートモード (P : プログラム)、シャッタースピードや絞り値を自分で設定して撮影できる S (シャッタースピード優先)、 A (絞り優先)、 M (マニュアル) モードで撮影できます。	72、 74、 79、 81
	カメラが撮影シーンを自動的に認識する AUTO や、自分好みに撮影シーンを決められる各種シーンで撮影できます (ドライブモードが ISO 、 WB 、 BKT 、 HDR のときを除く)。 AUTO や各種シーンはフロントコマンドダイヤルを回して変更できます。	68



撮影モードや撮影条件によっては機能が制限される場合があります。

コマンドダイヤル

フロントコマンドダイヤルまたはリアコマンドダイヤルで、以下の操作ができます。

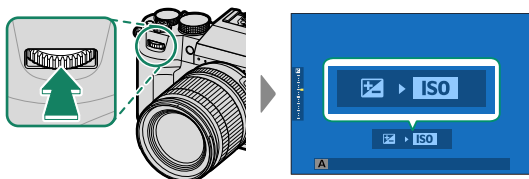
	フロントコマンドダイヤル	リアコマンドダイヤル
 回転	 - メニュータブ、ページの切り替え - 絞り値の変更 - シーン選択 (オートモード撮影時) - フィルムシミュレーションの変更 - 露出補正 - ISO 感度の変更 - 前後の画像を表示 (再生時)	 - メニュー項目の選択 - プログラムシフト - シャッタースピードの変更 - 露出補正 - クイックメニューの設定値を変更 - フォーカスエリアのサイズ変更 - 画像を再生ズーム (再生時) - 画像をマルチ再生 (再生時)
 中央押し	- フロントコマンドダイヤル回転に割り当てる機能の切り替え (10)  操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定 の設定切り替え (長押し)	- ピント位置拡大表示* - マニュアルフォーカス時に MF アシスト の設定切り替え (長押し)* - ピント位置拡大表示 (再生時)

* ファンクションボタンに**フォーカスチェック**が割り当てられているときのみ

 コマンドダイヤルを回す方向は、 **操作ボタン・ダイヤル設定** > **コマンドダイヤル回転方向** で設定できます。

フロントコマンドダイヤルの機能の切り替え

撮影時にフロントコマンドダイヤルの中央を押すごとに、**操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定**で設定した機能を切り替えることができます。



設定できる機能は次の通りです。

機能	説明
S.S.(プログラムシフト)	シャッタースピードを設定できます。撮影モードがPのときはプログラムシフトができます。
絞り	絞りの設定がA（オート）で、 操作ボタン・ダイヤル設定 > 絞りリング設定 (A) がコマンドのとき、または絞りリングなしレンズを装着しているときに絞り値を設定できます。
露出補正	露出補正ダイヤルがCの位置のときに露出を補正できます。
ISO	ISO感度を設定できます。
フィルムシミュレーション	フィルムシミュレーションダイヤルがCのときにフィルムシミュレーションを設定できます。



- オートモード切換レバーが**AUTO**のときはフィルムシミュレーションと**AUTOモード設定**の切り替えになります（[p.70](#)）。
- 撮影モードやドライブモードによっては設定できない機能があったり、設定しても機能が無効になったりする場合があります。

リアコマンドダイヤルの機能の切り替え

撮影時にリアコマンドダイヤルを回したときの機能を **操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定**のリアコマンドダイヤルで設定できます。設定できる機能は次の通りです。

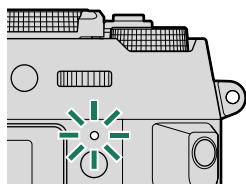
機能	説明
S.S.(プログラムシフト)	シャッタースピードを設定できます。撮影モードが P のときはプログラムシフトができます。
絞り	絞りの設定が A (オート) で、 操作ボタン・ダイヤル設定 > 絞りリング設定 (A) がコマンドのとき、または絞りリングなしレンズを装着しているときに絞り値を設定できます。
露出補正	露出補正ダイヤルが C の位置のときに露出を補正できます。
ISO	ISO 感度を設定できます。
フィルムシミュレーション	フィルムシミュレーションダイヤルが C のときにフィルムシミュレーションを設定できます。



- オートモード切換レバーが **AUTO** のときは自動的に **露出補正** に切り替わります。
- 撮影モードやドライブモードによっては設定できない機能があったり、設定しても機能が無効になったりする場合があります。

インジケータランプ

インジケータランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。



インジケータランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	AF 警告、シャッター低速警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	電源オン時：メモリーカードに画像を記録中、または 表示設定 > 撮影画像表示が OFF 以外のときに確認画面を表示しています（続けて撮影できます）。 電源オフ後：画像をスマートフォンに転送しています。*
橙色点灯	メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できません）。
橙色点滅	フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

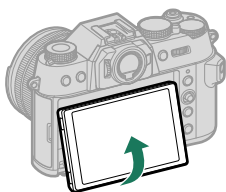
* 転送予約した画像がある場合



- 画面にも、警告表示が表示されます。
- ファインダーを覗いているときは、インジケータランプは点灯 / 点滅しません。
- 動画設定 > タリーランプで、動画の記録中に点灯するランプをインジケータランプから AF 補助光ランプに変えたり、点灯または点滅の設定を変更できます。
- インターバルタイマー撮影中で画面の表示が消えているときは、インジケータランプが緑色に点滅します。

液晶モニター

液晶モニターをチルトすると、液晶モニターを見やすい角度に調整して撮影できます。液晶モニターをチルトしているときは、指などが挟まらないようにご注意ください。また、内側の配線などには触れないでください。故障の原因となります。

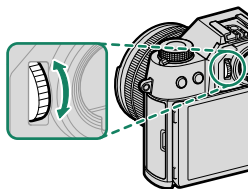


液晶モニターはタッチパネルとして操作できます。タッチパネルでは以下の操作ができます。

- タッチ操作による撮影 (29)
- フォーカスエリアの変更 (28)
- タッチファンクション (31)
- 動画専用操作モード (30)
- 再生時の画面操作 (33)

視度調節ダイヤル

ファインダー内の表示が見えにくいときは、ファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを回し、ファインダーの表示がもっともはっきり見えるように調節してください。

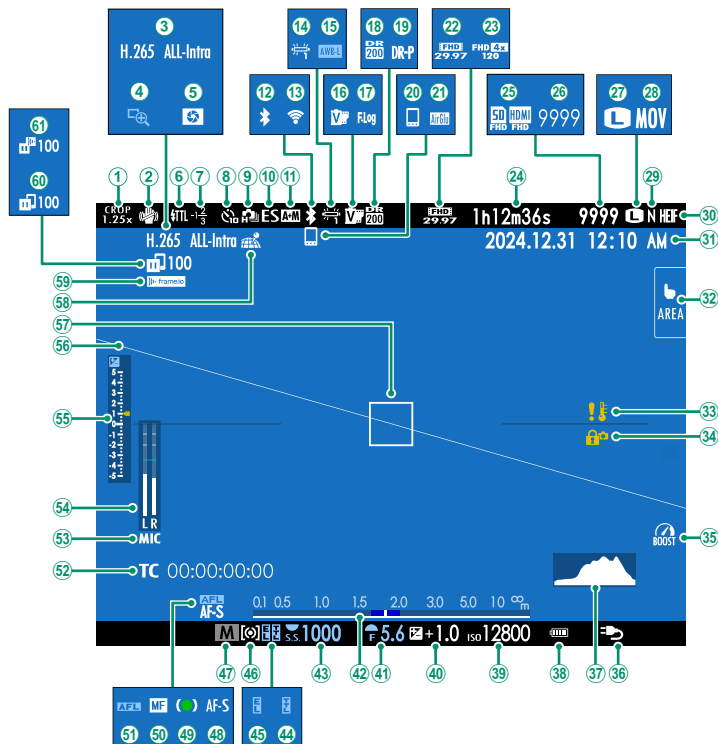


撮影時の表示画面

撮影時は、ファインダー（EVF）/ 液晶モニター（LCD）に次の情報が表示されます。

❗ 説明のため情報はすべて表示しています。

EVF の表示画面



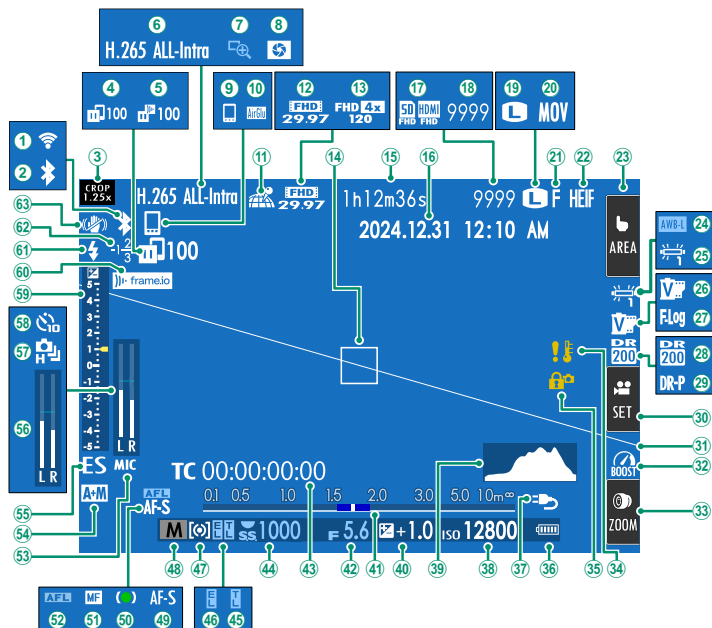
① クロップ倍率.....	199	③① 日付・時刻.....	47、49、291
② プレ防止 ^{*2}	182	③② タッチパネルモード.....	28、170
③ 動画圧縮方式.....	196	③③ 温度警告.....	40、409
④ フォーカスチェック.....	95、166	③④ ボタンロック ^{*3}	322
⑤ 被写界深度確認.....	80、94	③⑤ ブーストモード.....	323
⑥ フラッシュ (TTL モード).....	360	③⑥ 給電状態.....	44
⑦ 調光補正.....	360	③⑦ ヒストグラム.....	24
⑧ セルフタイマー.....	174、195	③⑧ バッテリー残量表示.....	46
⑨ 連写モード.....	109	③⑨ ISO 感度.....	97
⑩ シャッター方式.....	176	④① 露出補正.....	100
⑪ AF+MF ^{*2}	164	④② 絞り値.....	73、79、81
⑫ Bluetooth ON/OFF.....		④③ 距離指標バー ^{*2}	94
⑬ 無線 LAN 接続.....		④④ シャッタースピード.....	73、74、81
⑭ ホワイトバランス.....	134	④⑤ TTL ロック.....	185、342
⑮ AWB ロック.....	318	④⑥ AE ロック.....	103、318
⑯ フィルム シミュレーション.....	130	④⑦ 測光モード.....	99
⑰ F-Log/HLG 撮影.....	200	④⑧ 撮影モード.....	68
⑱ ダイナミックレンジ.....	138	④⑨ フォーカスモード ^{*2}	84
⑲ D レンジ優先.....	139	④⑩ 合焦マーク ^{*2}	85
⑳ Bluetooth 接続先.....	258	⑤① マニュアルフォーカス ^{*2}	84、92
㉑ AirGlu BT 接続.....	225	⑤② AF ロック.....	103、318
㉒ 動画モード.....	60、193	⑤③ タイムコード.....	223
㉓ ハイスピード撮影.....	194	⑤④ マイク入力チャンネル.....	190、222
㉔ 動画の記録可能時間／ 記録経過時間.....	60	⑤⑤ マイクレベル ^{*2}	219
㉕ 動画出力先.....	195	⑤⑥ 露出インジケータ.....	81、100
㉖ 撮影可能枚数 ^{*1}	410	⑤⑦ 電子水準器.....	25
㉗ 画像サイズ.....	126	⑤⑧ AF フレーム.....	88、102
㉘ ファイル形式.....	196	⑤⑨ 位置情報取得状態.....	258、327
㉙ 画質モード.....	127	⑤⑩ Frame.io 接続状態.....	273
③① 画像記録 HEIF.....	129	⑥① 画像転送状況.....	258、279
		⑥② Frame.io 画像転送状況.....	270

*1 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

*2  表示設定 > 情報表示拡大モード (EVF) を ON にすると、非表示になります。

*3 MENU/OK ボタン長押しでボタンロックをしているときに表示されます。ロックを解除するときは MENU/OK ボタンを再度長押しします。

LCD の表示画面



① 無線 LAN 接続	③② ブーストモード	323
② Bluetooth ON/OFF	③③ タッチズーム ^{*3}	32
③ クロップ倍率	③④ 温度警告	40、409
④ 画像転送状況	③⑤ ボタンロック ^{*4}	322
⑤ Frame.io 画像転送状況	③⑥ バッテリー残量表示	46
⑥ 動画圧縮方式	③⑦ 給電状態	44
⑦ フォーカスチェック	③⑧ ISO 感度	97
⑧ 被写界深度確認	③⑨ ヒストグラム	24
⑨ Bluetooth 接続先	④① 露出補正	100
⑩ AirGlu BT 接続	④② 距離指標バー ^{*2}	94
⑪ 位置情報取得状態	④③ 絞り値	73、79、81
⑫ 動画モード	④④ タイムコード	223
⑬ ハイスピード撮影	④⑤ シャッタースピード	73、74、81
⑭ AF フレーム	④⑥ TTL ロック	185、342
⑮ 動画の記録可能時間／ 記録経過時間	④⑦ AE ロック	103、318
⑯ 日付・時刻	④⑧ 測光モード	99
⑰ 動画出力先	④⑨ 撮影モード	68
⑱ 撮影可能枚数 ^{*1}	④⑩ フォーカスモード ^{*2}	84
⑲ 画像サイズ	⑤① 合焦マーク ^{*2}	85
⑳ ファイル形式	⑤② マニュアルフォーカス ^{*2}	84、92
㉑ 画質モード	⑤③ AF ロック	103、318
㉒ 画像記録 HEIF	⑤④ マイク入力チャンネル	190、222
㉓ タッチパネルモード ^{*3}	⑤⑤ AF+MF ^{*2}	164
㉔ AWB ロック	⑤⑥ シャッター方式	176
㉕ ホワイトバランス	⑤⑦ マイクレベル ^{*2}	219
㉖ フィルム シミュレーション	⑤⑧ 連写モード	109
㉗ F-Log/HLG 撮影	⑤⑨ セルフタイマー	174、195
㉘ ダイナミックレンジ	⑤⑩ 露出インジケータ	81、100
㉙ D レンジ優先	⑥① Frame.io 接続状態	273
㉚ 動画専用操作モード ^{*3}	⑥② フラッシュ (TTL モード)	360
㉛ 電子水準器	⑥③ 調光補正	360
	⑥④ ブレ防止 ^{*2}	182

*1 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

*2 **表示設定 > 情報表示拡大モード (LCD)** を ON にすると、非表示になります。

*3 タッチ操作で切り替えることができます。

*4 **MENU/OK** ボタン長押しでボタンロックをしているときに表示されます。ロックを解除するときは **MENU/OK** ボタンを再度長押しします。

EVF と LCD の切り替え

表示設定 > VIEW MODE 設定でアイセンサー、EVF（ファインダー）、LCD（液晶モニター）の設定を切り替えます。撮影時と再生時でそれぞれ設定できます。

VIEW MODE 設定を割り当てたファンクションボタンを押して EVF と LCD の表示を切り替えることもできます。

撮影時

設定	内容
 アイセンサー	ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、表示が自動的にファインダーに切り替わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
 LCD ONLY	液晶モニターにのみ表示します。
 EVF ONLY	ファインダーにのみ表示します。
 EVF ONLY + 	ファインダーに目を近づけたときだけアイセンサーの働きにより、ファインダーに自動的に表示されます。
 ・  アイセンサー + LCD 撮影画像表示	撮影時はファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、自動的にファインダー表示になり、撮影後に目を離すと液晶モニター表示で撮影画像を確認できます。セットアップメニューの 表示設定 > 撮影画像表示 で設定された内容で液晶モニターに表示されます。動画撮影時は選択できません。

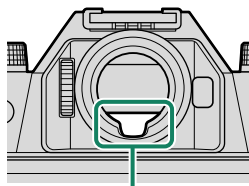
セットアップメニューの **表示設定 > VIEW MODE 設定 > 撮影時**で **Q** ボタンを押すと、切り替わる項目を選べます。

再生時

設定	内容
 アイセンサー	ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、表示が自動的にファインダーに切り替わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
 LCD ONLY	液晶モニターにのみ表示します。
 EVF ONLY	ファインダーにのみ表示します。

アイセンサーについて

- 目以外のものを近づけたり、直射日光が当たったりしても、アイセンサーが反応することがあります。
- 液晶モニターをチルトしているときはアイセンサーが無効になります。



アイセンサー

EVF/LCD の明るさ・鮮やかさ調整

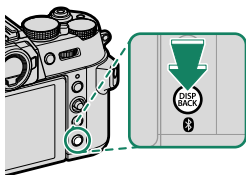
屋外で使用するときは、太陽光などの影響によって画面が見えにくくなる場合があります。その場合は、**[表示設定] > EVF 明るさ、EVF 鮮やかさ**でファインダー（EVF）の明るさや鮮やかさを調整し、**[表示設定] > LCD 明るさ、LCD 鮮やかさ**で液晶モニター（LCD）の明るさや鮮やかさを調整します。

縦表示について

[表示設定] > 縦横自動回転表示を **ON** にすると、カメラを縦向きで撮影するときにファインダー（EVF）または液晶モニター（LCD）の情報表示が縦向きになります。

情報表示の切り替え

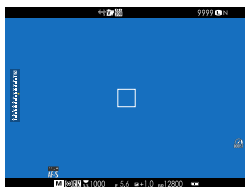
撮影モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに
表示が切り替わります。



EVF と LCD は、それぞれ個別に表示の切り替えを行ってください。EVF の表示を切り替えるときは、ファインダーを覗きながら **DISP/BACK** ボタンを押してください。

ファインダー（EVF）

スタンダード

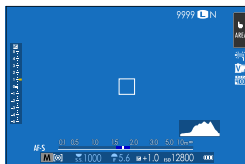


情報表示なし



液晶モニター（LCD）

スタンダード



情報表示なし



INFO 画面（静止画撮影時のみ）

画面の表示について

撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目は、**表示設定 > 画面のカスタマイズ**で選択できます。

1 セットアップメニューから **表示設定 > 画面のカスタマイズ**を選びます。

2 表示したい項目を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

画面に表示する項目には、**✓** が表示されます。**✓** が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

- | | |
|----------------------|------------------|
| ● フレーミングガイド | ● ブレ防止 |
| ● AF フレーム | ● タッチパネルモード |
| ● 合焦マーク | ● ホワイトバランス |
| ● AF 時の距離指標 | ● フィルムシミュレーション |
| ● MF 時の距離指標 | ● ダイナミックレンジ |
| ● ヒストグラム | ● ブーストモード |
| ● ライブビューハイライト警告 | ● 撮影可能枚数 |
| ● 撮影モード | ● 画像サイズ & 画質モード |
| ● 絞り / シャッター速度 / ISO | ● 動画モード & 録画時間 |
| ● 情報表示背景 | ● デジタルテレコン |
| ● 露出補正表示 | ● 通信状況 |
| ● 露出補正ゲージ | ● マイクレベル |
| ● フォーカスモード | ● ガイダンスメッセージ |
| ● 測光 | ● 記録メディア無し時ガイダンス |
| ● シャッター方式 | ● 日時表示 |
| ● フラッシュ | ● バッテリー残量表示 |
| ● 連写モード | ● 画面枠 |

3 各項目を設定し、**DISP/BACK** ボタンを押します。

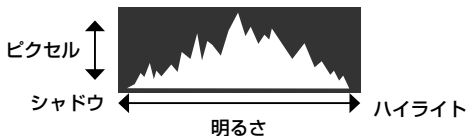
設定が保存されます。

画面枠について

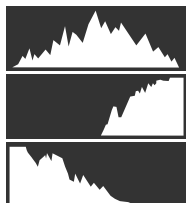
背景が黒いときなど、撮影範囲がわかりにくいときに画面枠をオンにすると、撮影画面内の縁に枠が表示されます。

ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ / 縦軸：ピクセル数）に表したものです。被写体によってグラフ形状は異なります。

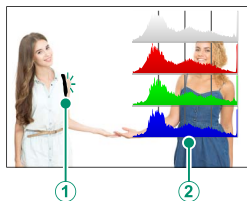


- **適正露出の場合**：全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。
- **露出オーバーの場合**：ハイライトのピクセル数が多く、右に偏ります。
- **露出アンダーの場合**：シャドウのピクセル数が多く、左に偏ります。



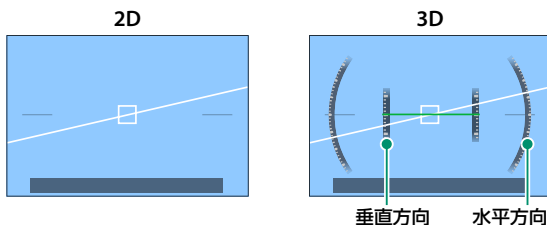
ヒストグラムを割り当てたファンクションボタンを押すと、RGB ヒストグラムとライブビューハイライト警告表示（高輝度部分が点滅）になります（[311](#)、[339](#)）。

- ① 高輝度部分が点滅
- ② RGB ヒストグラム表示



電子水準器について

カメラの傾きを表示します。**表示設定 > 電子水準器設定**で表示の設定を切り替えることができます。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときに使用します。

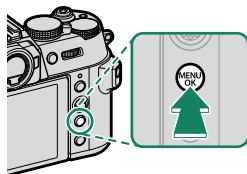


- **OFF の場合**：電子水準器を表示しません。
- **2D の場合**：水平方向の傾きを白い線で表示します。カメラが水平になると、線が緑色で表示されます。カメラのレンズ面を上下に向けたときは、表示が消えることがあります。
- **3D の場合**：水平方向と垂直方向の傾きを表示します。

 **電子水準器切替**を割り当てたファンクションボタンを押して、2D 表示と 3D 表示を切り替えることができます。

メニューの使い方

MENU/OK ボタンを押すと、メニューが表示されます。

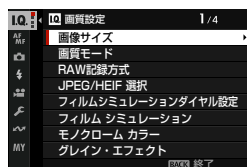


メニュー画面について

メニュー画面は静止画撮影時 / 動画撮影時 / 再生時によって表示が異なります。

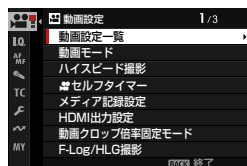
静止画撮影時

ドライブモード選択画面で**動画**以外を選んでいるときは、静止画撮影メニューが表示されます。



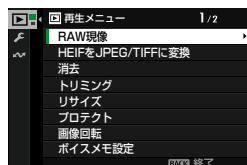
動画撮影時

ドライブモード選択画面で**動画**を選んでいるときは、動画撮影メニューが表示されます。



画像再生時

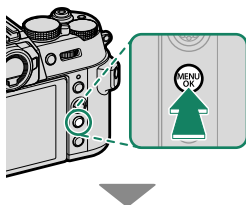
画像再生時は再生メニューが表示されます。



メニュータブへの移動

使用するメニュータブへの移動は以下の手順で行います。

- 1 MENU/OK ボタンを押して、メニューを表示します。**



- 2 フォーカスレバーを左に動かしてタブ選択に移ります。**



タブ

- 3 フォーカスレバーで使用する項目のメニュータブを選びます。**

- 4 フォーカスレバーを右に動かしてメニューに戻ります。**



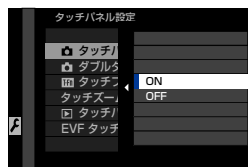
メニュー画面表示中は、フロントコマンドダイヤルでタブ、ページの切り替え、リアコマンドダイヤルで項目の選択ができます。

タッチ操作について

このカメラでは、液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用できます。

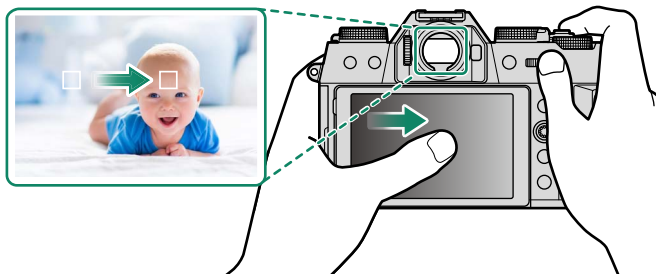
撮影時のタッチ操作について

タッチパネルを使用するときは、**操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > タッチパネル設定**を ON にします。



EVF 使用時のタッチ操作

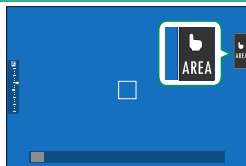
ファインダー（EVF）を使用しているときに液晶パネル（LCD）をタッチパネルとして使用して、フォーカスエリアを変更できます。**操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > EVF タッチパネル有効範囲**で動作範囲を設定できます。



- **AF** フォーカス設定 > **顔検出 / 瞳 AF** 設定が顔検出 ON のときは、ピンントを合わせる顔を選べます。
- **AF** フォーカス設定 > **被写体検出 AF** 設定が被写体検出 ON のときは、ピンントを合わせる被写体を選べます。

LCD 使用時のタッチ操作

撮影画面のタッチパネルモードアイコンをタッチすることにより、タッチ操作を変更できます。LCD 使用時は次のタッチ操作が行えます。



タッチパネルモード	意味
 ショット	シャッターボタンを押す代わりに、ピントを合わせたいところの画面をタッチして撮影します。連写撮影では、画面を押し続けている間、連続撮影します。
 AF  AF OFF	- フォーカスモードが S (AF-S) のときは、タッチした場所にピントを合わせ、AF ロックします。AF ロックを解除するには、AF OFF アイコンをタッチします。 - フォーカスモードが C (AF-C) のときは、タッチした被写体にピントを合わせ続けます。ピント合わせの動作を解除するには、AF OFF アイコンをタッチします。 - フォーカスモードが M (MF) のときは、ワンブッシュ AF の動作になり、タッチした場所にピントを合わせます。
 エリア選択	フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動し、ピントを合わせる位置や拡大表示の位置が変更できます。
 OFF	タッチパネルモードを無効にします。



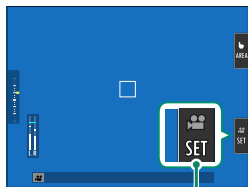
- タッチパネルの動作は AF モードによって異なります。
- ピント位置拡大中は、タッチパネルの動作が異なります (p.171)。



- 操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > タッチパネル設定が OFF のときは**、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。
- フォーカス設定 > タッチパネルモード**でもタッチ操作を切り替えることができます。動画撮影時のタッチ操作については、「動画撮影時のタッチ操作 (タッチパネルモード: p.216)」をご覧ください。

動画専用操作モード

撮影メニューの  動画設定 > 動画専用操作モード  を ON にするか、撮影画面の動画専用モードボタンを押すと、コマンドダイヤルとタッチ操作で次の撮影時の設定を変更できます。動画撮影時に、静止画撮影とは別に露出を設定したい場合や、カメラの操作音を記録したくないときに便利です。



動画専用モードボタン

- シャッタースピード
- 絞り
- 露出補正
-  感度
- 内蔵マイクレベル設定／外部マイクレベル設定
- 風音低減
- ヘッドホン音量
-  フィルム シミュレーション
-  ホワイトバランス
-  ブレ防止モード
-  ブレ防止モードブースト

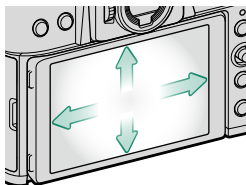


- 動画専用操作モードをオンにすると絞りリングの操作は無効になります。
- 動画専用操作モードのときに動画専用モードボタンを押すと、撮影の設定を変更したり、動画専用操作モードをオフにしたりすることができます。
- **外部マイクレベル設定**は外部マイク接続時のみ設定できます。

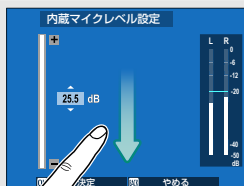
タッチファンクション

このカメラでは、画面を左右上下にフリックすることで、ファンクションボタンと同様に機能呼び出すことができます（ 339）。

- **T-Fn1**（画面を上フリック）
- **T-Fn2**（画面を左フリック）
- **T-Fn3**（画面を右フリック）
- **T-Fn4**（画面を下フリック）



- 割り当てた機能によっては、設定画面を表示後、項目の設定をタッチ操作で行えます。

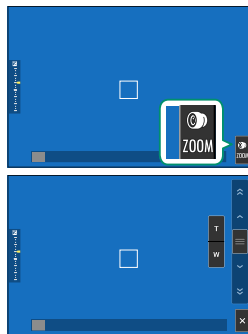


- タッチファンクションは工場出荷時の設定ではオフになっています。タッチファンクションを使用する場合は、 **操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > Tfn タッチファンクションを ON にしてください。**

タッチズーム

タッチズームに対応しているレンズを使用しているときは、画面をタッチしてズーム操作を行うことができます。撮影画面でタッチズームボタンをタッチすると、タッチズームがオンになります。

タッチズームはそれぞれのボタンで操作します。



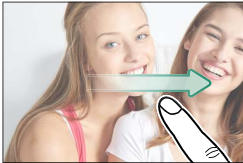
ボタン	意味
 タッチズーム	タッチズームをオンにします。
T ボタン	タッチすると望遠側または広角側に操作できます。長押しすると、一定速度でズームできます。
W ボタン	
 シーソースイッチ	シーソースイッチを任意の位置に移動させると、その位置に応じた速度、方向でズームします。
 X ボタン	タッチズームをオフにします。



操作ボタン・ダイヤル設定 > レンズズーム / フォーカス設定 > 定速ズーム (Fn) で T ボタン、W ボタンのズーム速度を変更できます。

再生時のタッチ操作について

❏ 操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > ㊦ タッチパネル設定が ON のときは、1 コマ再生時に以下のタッチ操作ができます。

スワイプ	ダブルタップ
 画面上を指で掃くように動かすと、前後の画像を表示できます。	 画面を2回タッチすると、ピントを合わせた位置を拡大表示できます。
マルチタッチ（ピンチアウト）	ドラッグ
 画面上に2本の指を置き、指の間隔を広げるように動かし、画像を拡大表示できます。	 拡大表示中に、表示される画像の範囲を移動できます。
マルチタッチ（ピンチイン）	
 画面上に2本の指を置き、指の間隔を狭めるように動かし、画像を縮小表示できます。 ❏ 元の表示画像より縮小した画像は表示できません。	

[illegible]

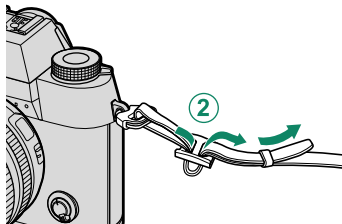
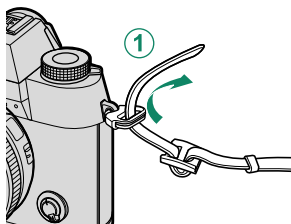
撮影の準備

2

ストラップを取り付ける

カメラにストラップを取り付けます。

ショルダーストラップは、次のようにストラップリング（2箇所）に取り付けます。

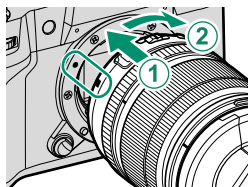


! ストラップの取り付け方を間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。

レンズを取り付ける

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM X マウント対応のレンズが使用できます。

カメラのボディキャップとレンズのリアキャップを外してカメラとレンズの指標に合わせて (①)、矢印の方向にレンズをゆっくり回しながら (②) カメラにレンズを取り付けます。



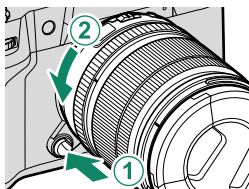
- レンズを取り付けるときは、ゴミやほこりの付着に注意してください。
- カメラ内部には触れないでください。
- 「カチッ」とはまるまで、レンズを回してください。
- レンズを取り付けるときは、レンズ取り外しボタンを押さないでください。

レンズの取り外し方

カメラの電源をオフにしてからレンズ取り外しボタンを押して (①)、矢印の方向にレンズをゆっくり回してください (②)。



- レンズを取り外してカメラを保管するときは、ゴミやほこりの付着を防ぐためにボディキャップとレンズキャップを取り付けてください。



別売アクセサリーについて

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM X マウント対応のアクセサリーが使用できます。



レンズを取り付けたり取り外したりするとき（レンズ交換）は、以下のことに
ご注意ください。

- ゴミやほこりの付着に注意してください。
- 直射日光など強い光源が当たらないところで行ってください。光源がカメラ内部に入り込むと、カメラ内部で焦点を結んで故障の原因になります。
- レンズキャップを取り付けて行ってください。
- 絞りリングなど、可動する部分を持ってレンズを回さないでください。
- レンズの使い方については、レンズの説明書をご覧ください。

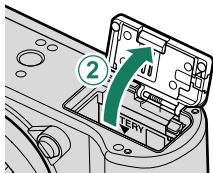
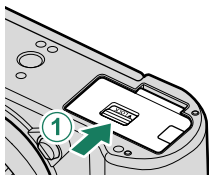
バッテリーとメモリーカードを入れる

カメラにバッテリーとメモリーカードを入れます。

1 バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開けます。



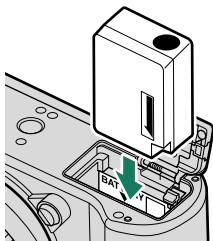
- カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。



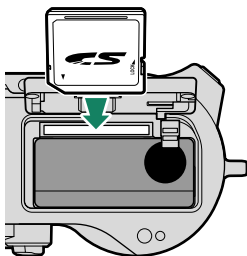
2 バッテリーを図のように入れます。



- バッテリーの向きを間違えるとカメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。
- バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。

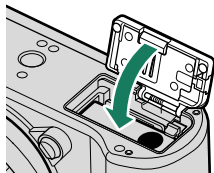


3 メモリーカードを入れます。



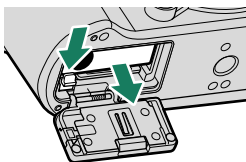
4 バッテリーカバーを閉め、バッテリーカバーロックをスライドさせます。

! バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。



バッテリーを取り出すときは

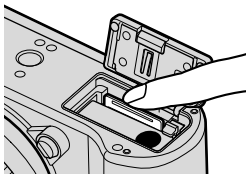
カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。



! 高温環境下で使用するするとバッテリーが熱くなっている場合があります。取り出すときは注意してください。

メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開けます。メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を離すと、ロックが外れて取り出せます。



- !** メモリーカードを取り出すときは、カードの中央を押してください。
- メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に離すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに離してください。
- 画面に **!** が表示されたときは、メモリーカードが熱くなっていることがあります。しばらくたってからメモリーカードを取り出してください。

使用可能なメモリーカード

- このカメラは、SD/SDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。また、バスインターフェースは UHS-I/UHS-II に対応しています。
- 高速連写撮影をするときは、UHS-II のメモリーカードをおすすめします。
- 動画撮影をするときは、設定によって使用できるメモリーカードが異なります（ 63）。
- 対応メモリーカードについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは <https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/> を参照してください。

 ● メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。

- メモリーカードにデータを記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フィルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- メモリーカードにラベルなどをはらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラでメモリーカードをフォーマットすると、初回撮影時に画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パーソナルコンピュータやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。

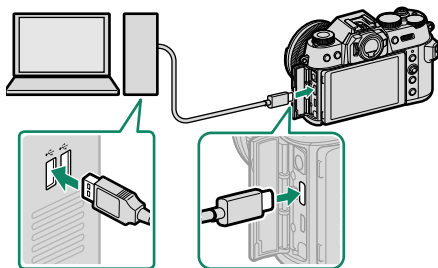


バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください。

❗ このカメラに付属されているバッテリーは NP-W126S です。

- このカメラは、USB 充電に対応しています。パーソナルコンピュータメーカーが動作保証する OS および USB インターフェイスで使用できます。



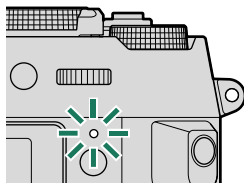
充電するときは、パーソナルコンピュータの電源をオンにしてください。

- ❗
- カメラの電源がオンのときは充電できません。
- 付属の USB ケーブルを接続します。
- USB ハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとパーソナルコンピュータを接続してください。
- 充電中にパーソナルコンピュータが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、パーソナルコンピュータの休止状態（スリープ状態）を解除したあと、USB ケーブルを接続しなおしてください。
- パーソナルコンピュータの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。
- 充電時間の目安は約 300 分です（入力 5V/500mA の場合）。

- コンセントから充電したい場合は、別売のバッテリーチャージャー BC-W126S をご使用ください。

充電状態の表示

インジケータランプでバッテリーの充電状態を示します。



インジケータランプ	バッテリーの状態
点灯	充電中
消灯	充電完了
点滅	充電異常



- 付属の USB ケーブルは、他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」を参照してください。
- 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前(1～2日前)には、バッテリーを充電してください。
- 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- 低温時および高温時は充電時間が長くなることがあります。
- ネットワーク / USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン 設定 > Bluetooth ON/OFF** が **ON** のときはバッテリーの持続時間が短くなります。



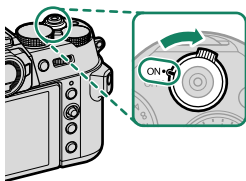
- 充電中にカメラの電源をオンにすると充電は中断され、給電になります。給電中はバッテリーが少しずつ消費されます (p.288)。
- 画面に給電状態アイコンが表示されます。



電源をオンにする / オフにする

カメラの電源をオンにします。

電源レバーを **ON** に合わせると、電源がオンになります。**OFF** に合わせると、電源がオフになります。



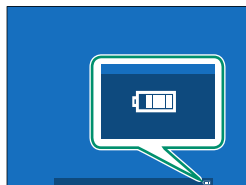
! レンズやファインダーに指紋が付かないようにご注意ください。ファインダーがクリアに見えない、または撮影画像の画質低下の原因になります。

- 📺** 撮影中に **▶** (再生) ボタンを押すと、再生モードになります。
 - 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
 - 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。
- 🔋 消費電力設定 > 自動電源 OFF** では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッターボタンを半押しまたは電源レバーを **OFF** にしてから再度 **ON** にすると、撮影モードでオンになります。

バッテリー残量の表示

画面の表示で、バッテリー残量を確認できます。

画面に表示されるバッテリー残量表示の目盛でバッテリー残量を表します。



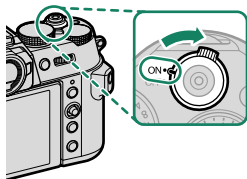
表示	意味
	バッテリーの残量は十分にあります。
	バッテリーの残量は約 80% です。
	バッテリーの残量は約 60% です。
	バッテリーの残量は約 40% です。
	バッテリーの残量は約 20% です。
 (赤点灯)	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを交換してください。

初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにすると、言語や日時を初期設定として設定できます。以下の手順で初期設定を行ってください。

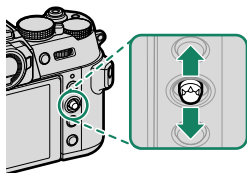
1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。



2 言語を設定します。

フォーカスレバーで使用する言語を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



3 地域の設定画面が表示されます。

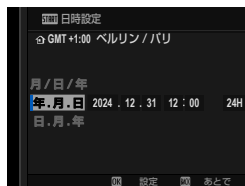
フォーカスレバーでお住まいの地域とサマータイムの設定をしてから**設定完了**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



 地域を設定しないときは **DISP/BACK** ボタンを押して設定をスキップしてください。

4 日時を設定します。

MENU/OK ボタンを押すと、次の画面に進みます。



5 スマートフォンアプリケーションに関する画面が表示されます。

- 画面に表示される QR コードをスマートフォンで読み取ると、スマートフォンアプリケーションをダウンロードできます。



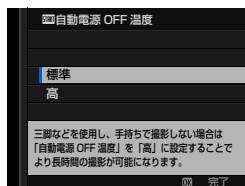
- MENU/OK** ボタンを押すと、次の画面に進みます。



スマートフォンアプリケーションを使用すると、撮影画像の転送やカメラの操作をワイヤレスで行うことができます (📖 258)。

6 自動電源 OFF 温度の設定画面が表示されます。

- カメラの温度が上昇したときに自動で電源をオフにする温度を設定できます。
- MENU/OK** ボタンを押すと、撮影画面が表示されます。



7 メモリーカードをフォーマット (初期化) します (📖 290)。

⚠ 未使用のメモリーカードや、パーソナルコンピューターやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください。

- ⚠ バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

言語を変更する

言語を変更するときは、以下の手順で変更します。

- 1  **基本設定** >  **言語/LANG.** を選びます。
- 2 言語を設定します。
フォーカスレバーで使用する言語を選びます。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押します。
設定した言語表示になります。

日時を変更する

日時設定を変更するときは、以下の手順で変更します。

- 1  **基本設定** > **日時設定** を選びます。
- 2 日時を設定します。
フォーカスレバーの左右で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、フォーカスレバーの上下で設定する数字を選びます。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押します。
日時が設定されます。

[illegible]

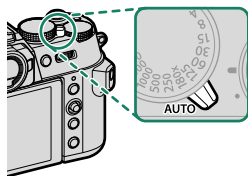
基本的な撮影と再生

3

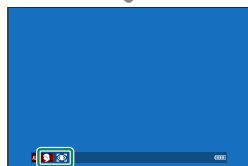
静止画を撮影する

ここでは、撮影の基本的な流れを説明します。

- 1 オートモード切換レバーを **AUTO** の位置にすると、**AUTO** の撮影画面が表示されます。



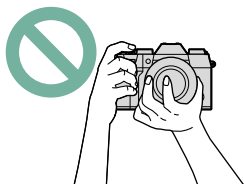
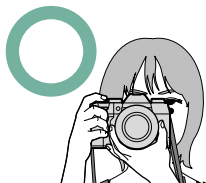
カメラが認識した最適なシーンと、ピントを合わせている被写体が表示されます。



! **AUTO** (**AUTO**) で撮影するときは、常にピント合わせを続けるためレンズの駆動音がします。また、バッテリーの消耗が早くなりますので、残量にご注意ください。

2 カメラを構えます。

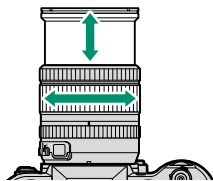
- 手ブレを防ぐため、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- レンズや AF 補助光ランプに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。



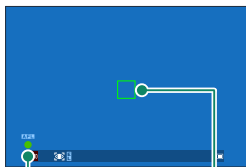
3 構図を決めます。

ズームリングがあるレンズを使用している場合

ズームリングを回して構図を調整します。広い範囲を写したいときは左方向、被写体を大きく写したいときは右方向に、ズームリングを回してください。



4 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントと露出を合わせます。



合焦マーク

フォーカスフレーム

- **ピントが合うと**、フォーカスフレームが緑色に点灯し、合焦マークが緑色に点灯します。
- **ピントが合わないときは**、フォーカスフレームが赤色に変わり、**!AF** が画面に表示され、合焦マークが白色に点滅します。



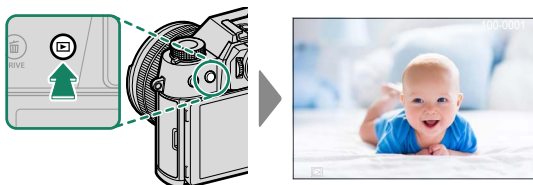
- 暗い被写体のピントを合わせやすくするために AF 補助光が発光する場合があります。
- シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。
- レンズのマクロ領域から標準撮影距離範囲の全領域で、ピントが合います。

5 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。

静止画を再生する

撮影した画像を再生します。

▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示（1 コマ再生）されます。



1 つ前の画像を見るにはフォーカスレバーを左に動かします。次の画像を見るにはフォーカスレバーを右に動かします。フォーカスレバーを動かしたままにすると、早送りします。



- フロントコマンドダイヤルを回しても前後の画像を表示できます。
- 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに （プレゼントアイコン）が表示されます。他のカメラで撮影した画像はきれいに表示されなかったり、拡大表示できなかったりすることがあります。

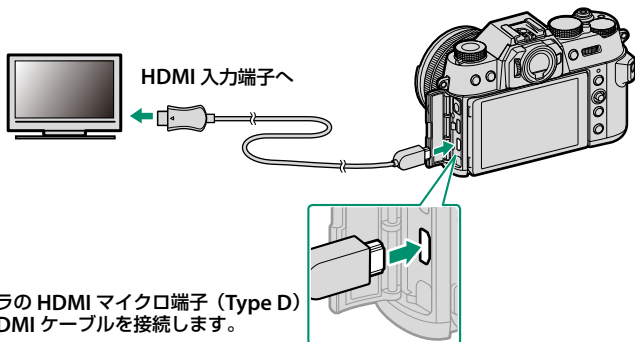
HDMI 出力

市販の HDMI ケーブルで HDMI 機器とカメラを接続して撮影画面や再生画面を出力できます。

HDMI 機器との接続

市販の HDMI ケーブルで HDMI 機器とカメラを接続します。

- 1 カメラの電源をオフにします。
- 2 市販の HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。



- 3 テレビの入力を HDMI 入力に切り替えます。
テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。
- 4 カメラの電源をオンにします。
テレビの画面に液晶モニターの内容が表示されます。再生モードではカメラに表示されません (56)。



- ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- HDMI ケーブルは、長さが 1.5 m 以内のものをご使用ください。

撮影画面の出力

ライブビューや動画をテレビに表示したり、HDMI 入力で録画できる外部レコーダーに保存したりできます。

再生画面の出力

撮影した静止画や動画をテレビなどに表示できます。カメラの電源をオンにして （再生）ボタンを押すと、カメラの液晶モニターが消え、画像がテレビで再生されます。



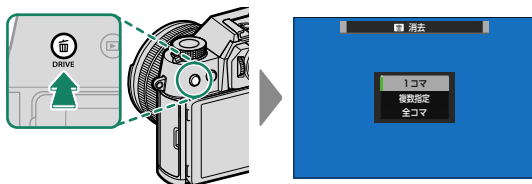
- HDMI ケーブルで接続しているときは、テレビの画面には記録した画像と音声出力されます。
- テレビによっては、動画再生開始時に画面が一時的に黒くなる場合があります。
- 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。

画像を消去する

1 コマ再生時に  ボタンを押すと、画像を消去できます。

 誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパーソナルコンピュータにコピーしておいてください。

1 1 コマ再生中に  ボタンを押して、1 コマを選びます。



2 消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

- **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- **MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

-  ● プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (P.242)。
- **再生メニュー** > **消去**でも、画像を消去できます。複数指定 / 全コマ消去による消去方法は **再生メニュー** > **消去**をご覧ください (P.238)。

[illegible]

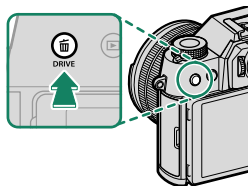
動画の撮影と再生

4

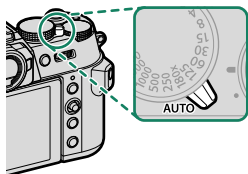
動画を撮影する

ここでは、オートモードの動画を撮影する流れを説明します。

- 1 **DRIVE** ボタンを押してドライブモード選択画面を表示させ、動画を選びます。

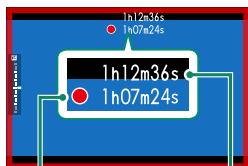


- 2 オートモード切換レバーを **AUTO** の位置にします。



- 3 シャッターボタンを全押しします。
動画撮影が開始されます。

- 撮影中は、● が表示されます。
- 動画撮影中は画面の外周が赤色で、ハイスピード撮影中は緑色で表示されます。
- 動画撮影の残り時間（カウントダウン）と撮影時間（カウントアップ）が表示されます。



動画撮影の撮影時間

動画撮影の残り時間

- 4 もう一度シャッターボタンを押すと、撮影が終了します。

残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。



- 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようにご注意ください。
- 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。
- 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。



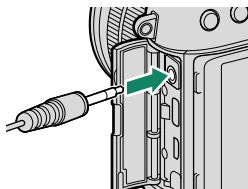
- 以下の点に気を付けることで、より長く撮影することができます。
 - できるだけ直射日光を避ける
 - 使用しないときはこまめに電源を切る
- ヘッドホンなどで音を聞きながら撮影する場合は USB 端子を使用します。付属のヘッドホン用アダプターで USB 端子から変換する必要があります。
- 動画の記録中は背面のインジケータランプが点灯します。**☑ 動画設定 > タリーランプ**で、点灯するランプ（インジケータランプまたは AF 補助光ランプ）の切り替えや点灯または点滅の設定を変更できます。動画撮影中は ± 2 の範囲で露出補正が可能で、ズームリングがあるレンズを使用している場合は、ズームリングでズーム操作を行えます。
- **☑ 動画設定 > REC 枠表示**を **OFF** に設定すると画面の外周の色表示をオフにできます。
- 動画撮影中も以下の操作が行えます。
 - 感度の変更（オートモード切換レバーが ● の位置の時）
 - 次の操作による AF のやり直し（オートモード切換レバーが ● の位置の時）
 - シャッターボタンの半押し
 - ファンクションボタンに **AF-ON** が割り当てられているボタンの操作
 - タッチパネル操作
 - **ヒストグラム**や**電子水準器切替**を割り当てたファンクションボタンを押して、ヒストグラムや水準器を表示
- 撮影モードや撮影の設定によっては、動画撮影できない場合や設定が反映された動画が撮影されない場合があります。
- 動画撮影時にフォーカスエリアを変更するには、**☑ フォーカス設定 > フォーカスエリア選択**を選んでから、フォーカスレバーとリアコマンドダイヤルを操作します（☞ 88）。

温度保護機能について

カメラやバッテリーの温度が上昇すると、カメラを保護するために自動的に電源がオフになる場合があります。温度警告が表示された場合は、画像にノイズが多くなる可能性があります。一度、電源をオフにし、しばらくたってからご使用ください。

外部マイクについて

このカメラでは、外部マイクを使用できます。外部マイクはプラグインパワーを必要としない $\phi 3.5\text{ mm}$ ピンで取り付けるものをご使用ください。詳しくはステレオマイクの使用説明書をご覧ください。



XLR マイクアダプターについて

このカメラではティアック株式会社製 XLR マイクアダプター (TASCAM CA-XLR2d-F) を使用できます。詳しくは以下の TASCAM のウェブサイトをご覧ください。

<https://tascam.jp/jp/product/ca-xlr2d/>

動画の設定について

動画の設定は静止画撮影メニューの **動画設定** または動画撮影メニューで変更できます (図 26)。

- 静止画撮影メニューの **動画設定** では、**動画リリース** を割り当てたファンクションボタンを押して動画を撮影するときの簡単な設定ができます (図 187)。
- 動画撮影メニューでは、ドライブモード選択画面で**動画**を選んでからシャッターボタンを押して撮影するときの設定ができます (図 192)。
- **動画モード** で動画サイズやフレームレートなどを変更できます。
- **メディア記録設定** でファイル形式やビットレート、動画の記録先などを変更できます。
- オートモード切換レバーが ● の位置のときは、動画撮影時のピント合わせの方法をフォーカスモード切換レバーで設定できます。フォーカスモードを **S** にしても、**フォーカス設定** > **顔検出 / 瞳 AF 設定** が **顔検出 ON** または **被写体検出 AF 設定** が **被写体検出 ON** のときは、自動的に **C** (コンティニュアス AF) になります。また、フォーカスモードが **M** のときは、**顔検出 ON** や **被写体検出 ON** にしても顔検出や被写体検出は行われません。

- !** ● 静止画撮影メニューの **動画設定** は動画撮影メニューの設定と共通です。片方の設定を変更すると、もう片方の設定も自動的に変更されます。
- **動画設定** > **メディア記録設定** の設定によって使用できるメモリーカードが異なります。
 - ビットレートが 360Mbps の場合はビデオスピードクラス V60 以上のメモリーカードをご使用ください。
 - ビットレートが 100Mbps または 200Mbps の場合は UHS スピードクラス 3 以上のメモリーカードをご使用ください。

背景ボケを生かした動画について

絞りをできるだけ開放側に設定することでボケを生かした動画を撮影できます。絞りを **A** 以外に設定し、絞り値を調整します。

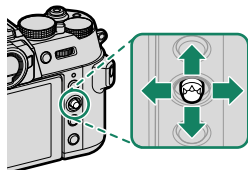
動画を再生する

撮影した動画をカメラで再生します。

▶ ボタンを押して画像が再生されているときに動画を選択すると、が表示されます。動画を選択してからフォーカスレバーを下に押すと、動画を再生できます。

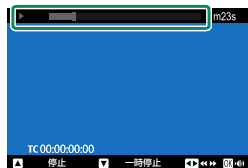


動画再生時の操作は、フォーカスレバーで行います。



	1 コマ再生中	▶ 再生中	⏏ 一時停止中
上	情報表示の切り替え	停止	
下	再生	一時停止	再生
左右	前後の画像に移動	再生速度	コマ送り

動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。





スピーカーを指などでふさがないようにください。音が聞き取りにくくなります。



- 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。フォーカスレバーで動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、**音設定 > 再生音量**でも設定できます。
- ヘッドホンなどで音を聞く場合は USB 端子を使用します。付属のヘッドホン用アダプターで USB 端子から変換する必要があります。
- カメラとテレビを HDMI ケーブルで接続してから **▶** ボタンを押すと、撮影した動画をカメラのかわりにテレビで見ることができます (p.55)。

動画の再生速度について

フォーカスレバーの左右で、再生速度を変更できます。再生速度は再生アイコンの **▶** (**◀**) の数で表示されます。**▶** (**◀**) の数が多いほど速度が速くなります。



再生アイコン

[illegible]

5

撮影に関する設定

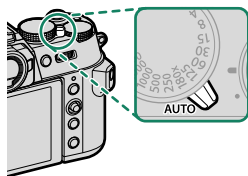
撮影モードを変更する

シャッタースピードと絞り値の設定を変更すると、**P**、**S**、**A**、**M**で撮影できます。オートモード撮影では、カメラが撮影シーンや被写体を自動的に認識する **AUTO** で撮影、または自分で好みの撮影シーンを決めて撮影することができます。

AUTO (オートモード)

シーンに最適な撮影モードやピントを合わせる被写体をカメラが自動的に認識して撮影します。

オートモード切換レバーを **AUTO** の位置にすると、**AUTO** の撮影画面が表示されます。



カメラが認識した最適なシーンのシーンアイコンと、ピントを合わせている被写体のアイコンが表示されます。



被写体アイコン
シーンアイコン

アイコン	説明	
シーン アイコン	• : 風景 • : 夜景 • : 夜景（三脚） • : マクロ • : 夕焼け • : 青空	• : 緑 • : 人物 • : 逆光 & 人物 • : 動体 • : 人物 & 動き • : 逆光人物 & 動き
	• : 人物 • : 動物 • : 鳥 • : クルマ	• : バイク & 自転車 • : 飛行機 • : 電車



- シーンによっては認識されたシーンが実際と異なる場合があります。また、撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンとして認識される場合があります。認識されたシーンが実際と異なる場合は適切なシーンポジションを選択してください。
- シーンによっては画像処理のため保存に時間がかかる場合があります。



カメラがシーンを認識できない場合は、シーンアイコンは表示されません。

シーンポジションの選択

オートモード切換レバーを **AUTO** の位置に合わせてからフロントコマンドダイヤルを回すと、いろいろな撮影シーンに合わせてカメラの設定を最適な状態にするシーンポジションを選択できます。選べるシーンポジションは次の通りです。

シーン ポジション	機能
 AUTO	シーンに最適な撮影モードや被写体をカメラが自動的に認識して撮影します。
 人物	人物の撮影に適しています。
 美肌	肌をなめらかに撮影します。
 風景	昼間の風景撮影に適しています。
 スポーツ	動いている被写体の撮影に適しています。
 夜景	夕景や夜景の撮影に適しています。
 夜景（三脚）	スローシャッターでの夜景撮影に適しています。
 花火	スローシャッターで打ち上げ花火を色鮮やかに撮影します。
 夕焼け	夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。
 スノー	白く輝く雪景色での撮影に適しています。
 ビーチ	日差しの強い浜辺での撮影に適しています。
 水中	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。
 パーティー	室内での結婚式やパーティーの撮影で使います。
 花	花を色鮮やかに撮影します。
 文字の撮影	書類やホワイトボードなどを撮影するときに使います。

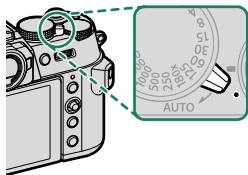


- **撮影設定 > AUTO モード設定**でもシーンポジションを選べます。
- **花火**を選んでいるときは、シャッタースピードダイヤルが**2**、**1**、**T**の場合にリアコマンドダイヤルでシャッタースピードを変更できます。

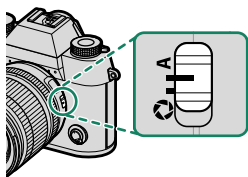
プログラム (P) 撮影

カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることもできます。

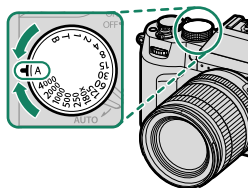
- 1 オートモード切換レバーを ● の位置にします。



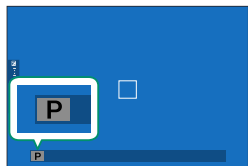
- 2 レンズの絞りモードスイッチを A に合わせます。



- 3 シャッタースピードダイヤルを A に合わせます。



表示画面に **P** が表示されます。



- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードおよび絞り値が「—」と表示されます。
- 絞りリングなしレンズを使用しているときは、**操作ボタン・ダイヤル設定 > 絞り設定をオート**に設定してください。

プログラムシフトの設定

リアコマンドダイヤルを回すと、同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることができます。



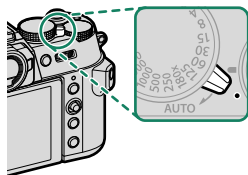
- 次のとき、プログラムシフトは使用できません。
 - **フラッシュ設定 > フラッシュ機能設定**の発光モードが **TTL** のとき
 - **画質設定 > ダイナミックレンジ**が **AUTO** のとき
 - 動画を撮影しているとき

電源をオフにすると、設定したプログラムシフトは解除されます。

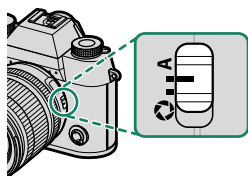
シャッタースピード優先 (S) 撮影

設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。

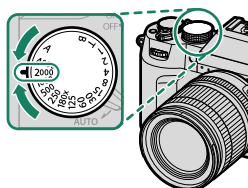
- 1 オートモード切換レバーを ● の位置にします。



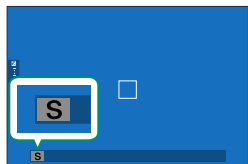
- 2 レンズの絞りモードスイッチを A に合わせます。



- 3 シャッタースピードダイヤルを回してシャッタースピードを設定します。



表示画面に **S** が表示されます。





- 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。
- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「---」と表示されます。
- 絞りリングなしレンズを使用しているときは、**操作ボタン・ダイヤル設定 > 絞り設定をオート**に設定してください。

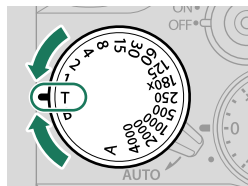


- リアコマンドダイヤルでシャッタースピードを $\frac{1}{3}$ 段きざみで微調整できます。
- シャッターボタンを半押ししている間や **AFON** ボタンを押している間もシャッタースピードを変更できます。
- シャッタースピードを 1 秒以上に設定したときは、撮影中にカウントダウンで残りの露光時間が表示されます。
- 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**画質設定 > 長秒時ノイズ低減**を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。
- 長時間露光撮影中にカメラが動くとピントがずれるので、三脚のご使用をおすすめします。
- フロントコマンドダイヤルの設定は **操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定**で変更できます。

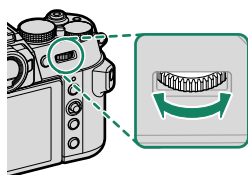
タイム撮影 (T)

シャッタースピードを **T** に設定すると、タイム撮影ができます。カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

- 1 シャッタースピードを **T** に設定します。



- 2 リアコマンドダイヤルで露光時間を設定します。



- 3 シャッターボタンを全押しすると、設定した時間シャッターが開きます。

露光時間を 1 秒以上に設定したときは、撮影中にカウントダウンで残りの露光時間が表示されます。

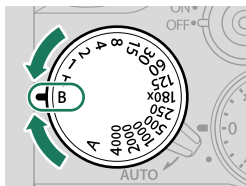


長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**画質設定 > 長秒時ノイズ低減** を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

バルブ撮影 (B)

シャッタースピードを **B** に設定すると、バルブ撮影ができます。カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

1 シャッタースピードを **B** に設定します。



2 シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開きます。

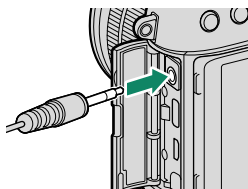
- シャッターが開くのは、最大 60 分間です。
- 撮影中は、経過時間が表示されます。
- シャッターボタンから指を離すとシャッターが閉じて撮影を終了します。撮影を終了すると、撮影した画像の処理を行います。処理が終わるまでの時間が表示されます。

! ドライブモードで **1 コマ撮影** と多重露出撮影以外を選んでいるときや、**☑ 撮影設定 > シャッター方式** で電子シャッターを選んでいるときは、バルブ撮影はできません。

- 📷**
- 絞りを **A** (オート) に設定している場合は、シャッタースピードは 30 秒に固定されます。
 - 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**📷 画質設定 > 長秒時ノイズ低減** を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

リモートリリースを使用する

長時間露光撮影時には、リモートリリースが便利です。マイク/リモートリリース端子に、市販のφ 2.5mm → 3.5mm 変換アダプターを介して、別売のリモートリリース RR-100 や市販の電子式リモートリリースを取り付けます。



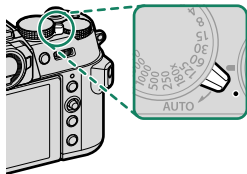
 マイク/リモートリリース端子にリモートリリースを取り付けると、設定確認の画面が表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、**マイク/リモートリリース設定**を  **リモートリリース**に設定してください。

マイク/リモートリリースの
設定を確認してください
OK 決定 **BACK** スキップ

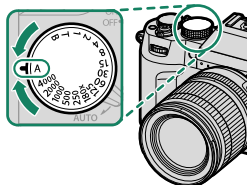
絞り優先（A）撮影

設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。

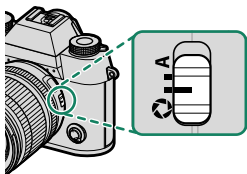
- 1 オートモード切換レバーを ● の位置にします。



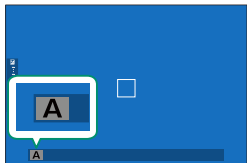
- 2 シャッタースピードダイヤルを A に合わせます。



- 3 レンズの絞りモードスイッチを  に合わせます。



表示画面に **A** が表示されます。



4 レンズの絞りリングを回して、絞り値を設定します。



- 絞りリングなしレンズのときは、フロントコマンドダイヤルで絞り値を設定します。
- 絞りリングに **A** ポジションがあるレンズで、**A** ポジションに設定しているときや、絞りリングなしレンズのときは、フロントコマンドダイヤルで絞り値を設定します。
- フロントコマンドダイヤルの設定は **操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定** で変更できます。



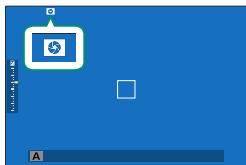
- 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。
- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「---」と表示されます。



シャッターボタンを半押ししている間も絞りを変更できます。

被写界深度を確認するには

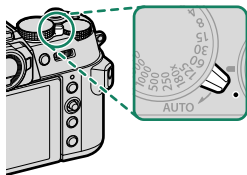
被写界深度を確認するには、ファンクションボタンに**被写界深度確認**を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、**S** が表示され、そのときの絞り値の被写界深度がスルー画で確認できます (p.339)。



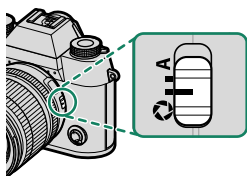
マニュアル (M) 撮影

マニュアルでは、シャッタースピードや絞り値を撮影者が設定できます。意図的に「オーバー（明るい）」または「アンダー（暗い）」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。マニュアルで撮影するには、露出インジケータを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。

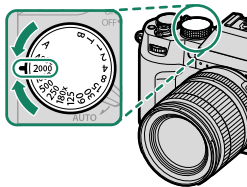
- 1 オートモード切換レバーを ● の位置にします。



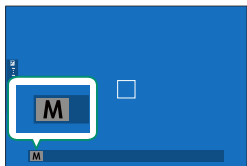
- 2 レンズの絞りモードスイッチを  に合わせます。



- 3 シャッタースピードダイヤルを回してシャッタースピードを A 以外に設定します。



表示画面に **M** が表示されます。



4 シャッタースピードダイヤルを回してシャッタースピードを設定し、レンズの絞りリングを回して絞り値を設定します。



- 露出インジケータを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。
- 絞りリングなしレンズのときは、フロントコマンドダイヤルで絞り値を設定します。
- 絞りリングに **A** ポジションがあるレンズで、**A** ポジションに設定しているときや、絞りリングなしレンズのときは、フロントコマンドダイヤルで絞り値を設定します。
- フロントコマンドダイヤルの設定は **操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定** で変更できます。

露出設定プレビューについて

表示設定 > マニュアル時モニター露出 / WB 反映 が **露出反映 / WB 反映** のときは、露出を反映した画像が画面に表示されます。

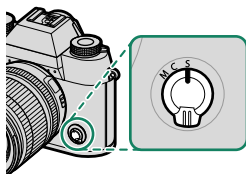


フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は、**マニュアル時モニター露出 / WB 反映** を **露出反映 / WB 反映** 以外にしてください。

オートフォーカス撮影

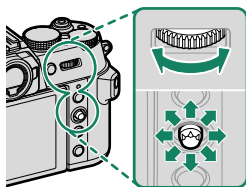
ここでは、カメラが自動的にピントを合わせて撮影するときの設定について説明しています。

- 1 フォーカスモード切換レバーを **S** または **C** に設定します (84)。



- 2 撮影メニューの **AF** フォーカス設定 > AF モードから AF モードを選びます (86)。

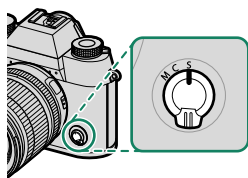
- 3 撮影メニューの **AF** フォーカス設定 > フォーカスエリア選択を選び、フォーカスエリアの位置やサイズを変更します (88)。



- 4 撮影します。

フォーカスモード

フォーカスモードは、フォーカスモード切換レバーで設定します。



フォーカスモードの種類

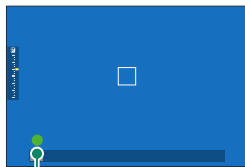
フォーカスモード	内容
S (AF-S)	シングル AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが一度だけ自動的にピントを合わせます。スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。
C (AF-C)	コンティニュアス AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが常にピントを合わせ続けます。動きのある被写体の撮影に適しています。
M (マニュアルフォーカス)	意図した場所にピントを手動で合わせます。オートフォーカスの苦手な被写体を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します (92)。



- レンズ側で **M** (マニュアルフォーカス) を設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカスモード切換レバーを **S** または **C** に設定していても **M** (マニュアルフォーカス) で撮影できます。
- フォーカスモードが **S** または **C** のときは、 **フォーカス設定 > プリ AF** を **ON** にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも常にピントを合わせ続けます。

合焦マークについて

合焦マークでピントの状況を確認できます。



合焦マーク

合焦マーク	状況
()	ピントが合うところを探しています。
● (緑点灯)	S のときにピントが合って固定されています。
(●) (緑点灯)	C のときにピントが合っています。被写体の動きに合わせてピント位置が変化します。
○ (白点滅)	ピントが合っていません。
MF	M のときに表示されます。

AF モードの選択

フォーカスモードと AF モードの組み合わせで、さまざまな撮影シーンに応じたフォーカス設定を選択できます。

AF モードの設定方法

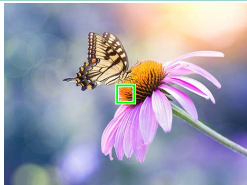
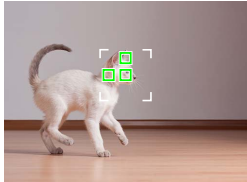
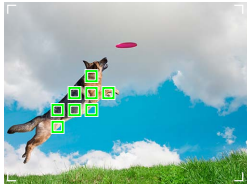
1 MENU/OK ボタンを押して、撮影メニューを表示します。

2  フォーカス設定 > AF モードを選びます。

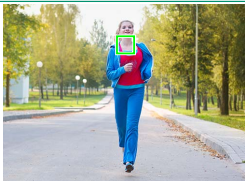
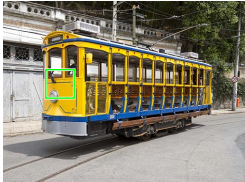
3 設定する AF モードを選びます。

AF モードの種類

● フォーカスモードが S (AF-S) のとき

設定	用途例	作例
 シングル ポイント	被写体を 1 点のスポットで捉えるモードで、基本的な AF モードです。フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアにピントを合わせます。	
 ゾーン	シングルポイントでは捉えにくい、やや動きのある被写体やスナップなどに向くモードです。フォーカスエリア選択で設定したゾーンにピントを合わせます。	
 ワイド	画面内にあるコントラストが高い被写体に自動でピントを合わせるモードです。ピントの合った位置に AF エリアが表示されます。	
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと (p.88、90)、  フォーカス設定 > AF モードオール設定で設定したフォーカスエリアを選択できます。	

● フォーカスモードが C (AF-C) のとき

設定	用途例	作例
 シングル ポイント	前後直線的な動きをスポットで捉えるモードです。フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアにピントを合わせ続けます。	
 ゾーン	ある程度予測可能な動きに向けた AF モードです。フォーカスエリア選択で設定したゾーンに常にピントを合わせ続けます。	
 トラッキング	画面内を広く動く被写体に向くモードです。被写体の移動に合わせて全フォーカスエリア内をカメラが自動で追尾します。	
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと (88、90)、 フォーカス設定 > AF モード オール設定 で設定したフォーカスエリアを選択できます。	

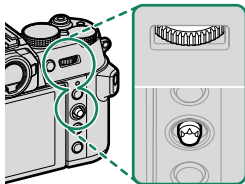
フォーカスエリアの変更

フォーカスエリアの変更方法

- 1 **MENU/OK** ボタンを押して、撮影メニューを表示します。
 - 2  **フォーカス設定 > フォーカスエリア選択**を選び、フォーカスエリア選択画面を表示します。
 - 3 フォーカスレバーとリアコマンドダイヤルでフォーカスエリアを変更します。
-  タッチ操作によるフォーカスエリアの変更は「撮影時のタッチ操作について」をご覧ください (📖 28)。

フォーカスエリアの操作

フォーカスエリアの移動はフォーカスレバーで、サイズ変更はリアコマンドダイヤルでそれぞれ操作します。**AFモード**の設定によって操作が異なります。



AF モード	フォーカスレバー		リアコマンドダイヤル	
	 8 方向移動	 中央押し	 回す	 中央押し
	移動した方向に フォーカスエリア が移動	フォーカスエリア が中央に戻る	サイズ変更 (6 段階)	100% に戻る
				
			なし	



-  **ワイド/トラッキング**のフォーカスエリアは、フォーカスモードが**C**のときのみ有効です。
- DISP/BACK** ボタンを押してフォーカスエリアを中央に戻すこともできます。
- AFモード**が  **オール**の場合は、フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと、 **シングルポイント**（サイズ6段階）、 **ゾーン**（サイズ3段階）、**ゾーンカスタム1**、**ゾーンカスタム2**、**ゾーンカスタム3**、 **ワイド/トラッキング**の順にフォーカスエリアを切り替えることができます。 **フォーカス設定 > AFモードオール設定**で切り替わる項目を選べます。

フォーカスエリアの選択画面

フォーカスエリアの選択画面は AF モードの設定によって異なります。



- 小さな四角 (□) ひとつがフォーカスエリアポイントで、枠で囲んだエリアがフォーカスエリアです。
- ゾーンカスタム 1、ゾーンカスタム 2、ゾーンカスタム 3 は フォーカス設定 > ゾーンカスタム設定で設定できます。

フォーカス設定 > フォーカス点数切り替えでフォーカスエリアポイントの点数を 117 と 425 から選べます。	117 のフォーカスエリアポイントを 3×3、5×5、7×7、ゾーンカスタム 1、ゾーンカスタム 2、ゾーンカスタム 3 から選べます。	コンティニュース AF でトラッキングしたい被写体の位置にフォーカスエリアを移動できます。

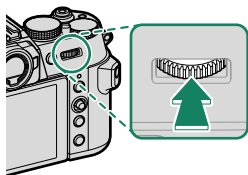
オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

- 鏡や車のボディなど光沢のあるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合（コントラストの強い背景の前にある被写体など）

拡大表示してピントを確認する

リアコマンドダイヤルの中央を押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。もう一度リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置はフォーカスエリア選択で変更できます。



通常表示



拡大表示

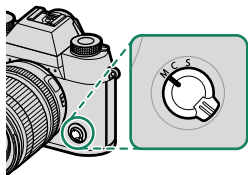


- フォーカスモードが **S** のときは、拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。
- 拡大表示中にフォーカスレバーを動かすと、拡大表示のままフォーカスエリアを移動できます。
- フォーカスモードが **S** のときは、**AF モード** を シングルポイントに設定してください。
- フォーカスモードが **C** または **フォーカス設定 > プリ AF** が **ON** のときは、拡大表示できません。
- リアコマンドダイヤルの中央押しは、 **操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定** で他の機能を割り当てることができます。また拡大表示の機能を他のボタンに割り当てすることもできます (p.339)。

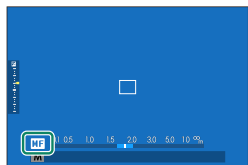
マニュアルフォーカス撮影

意図した場所にピントを手動で合わせて撮影する方法を説明します。

- 1 フォーカスモード切換レバーを **M** に設定します。

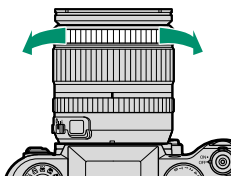


画面に **MF** が表示されます。



- 2 フォーカスリングを回してピントを合わせます。

フォーカスリングを時計回りに回すと遠距離側に、反時計回りに回すと近距離側にピントが合います。



- 3 撮影します。



- ・フォーカスリングを回す方向は、**操作ボタン・ダイヤル設定 > レンズズーム / フォーカス設定 > フォーカスリング回転方向**で設定できます。
- ・レンズ側で **M**（マニュアルフォーカス）を設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカスモード切換レバーを **S** または **C** に設定していても **M**（マニュアルフォーカス）で撮影できます。

マニュアルフォーカス時の AF ロック機能について

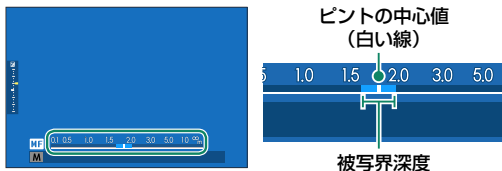
- AF ロックまたは **AF-ON** が割り当てられているファンクションボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。ピントを合わせる位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。フォーカスエリアのサイズはリアコマンドダイヤルで変更できます。素早くピントを合わせたいときに便利です。
-  **フォーカス設定** >   **ワンブッシュ AF 時の動作**で、AF ロックを割り当てたファンクションボタンの動作を変更できます。**AF-S**（シングル AF）のときはボタンを押すとオートフォーカスでピントを合わせます。**AF-C**（コンティニユアス AF）のときはボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。

ピントの確認方法

マニュアルフォーカス撮影では、以下の方法でピントを確認できます。

距離指標を目安にする

白い線はピントの中心値を、青いバーは被写界深度を示します。距離指標の単位は、**表示設定 > 距離指標の単位**でメートルとフィートを切り替えられます。



- 距離指標を表示するには、以下の設定が必要です。
 - 表示設定 > 画面のカスタマイズ**で「AF 時の距離指標」「MF 時の距離指標」に ☒ を入れる。
 - DISP/BACK** ボタンを押して、**スタンダード**（情報表示あり）画面に切り替える。
- 被写界深度のスケール（ゲージ）の基準を **フォーカス設定 > 被写界深度スケール**で設定できます。**フィルム基準**はプリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にし、**ピクセル基準**はパーソナルコンピューターなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。

拡大表示して確認する（フォーカスチェック）

フォーカス設定 > フォーカスチェックを **ON** にすると、フォーカスリングを回したときに自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。



拡大表示中にフォーカスレバーを動かすと、拡大表示のままフォーカスエリアを移動でき、リアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。ただし、MFアシストに**デジタルスプリットイメージ**または**デジタルマイクロプリズム**を設定しているときは、フォーカスエリアの移動および倍率の変更はできません。

画面に表示された画像で確認する

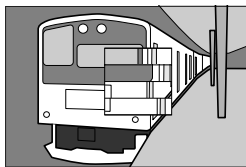
ピントの確認方法を静止画撮影メニューの **フォーカス設定 > MFアシスト** (165) または動画撮影メニューの **フォーカス設定 > MFアシスト** (214) で選べます。



- ・静止画撮影時と動画撮影時で使用できるピントの確認方法が異なります。
- ・リアコマンドダイヤルの中央を長押しすると、**MFアシスト**の設定を切り替えることができます。

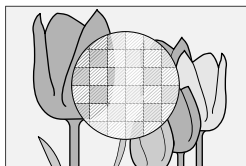
デジタルスプリットイメージ

画面中央部にスプリットイメージが表示されます。スプリットイメージの上部、中央部、下部に3本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回して、フォーカスを調整してください。



デジタルマイクロプリズム

ピントがずれているときは像のボケが強調されて格子模様になり、ピントが合うと格子模様が消えて像が明確になります。



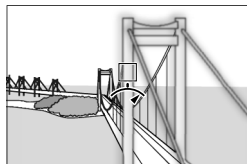
● フォーカスピーキング

コントラストの高い輪郭部分が強調されます。フォーカスリングを回して、撮影したい被写体が強調されるように調整してください。



● フォーカスメーター

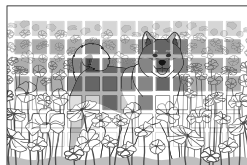
フォーカスエリアの下に矢印が表示され、被写体の前後どちらにピントが合っているかを示します。矢印が左を指しているときは被写体より手前に、右を指しているときは被写体の後ろにピントが合っています。矢印が真上を指すようにフォーカスを調整してください。



操作ボタン・ダイヤル設定 > レンズ ズーム/フォーカス設定 > フォーカスリング回転方向を 反時計回りに設定すると、矢印の表示は左右逆になります。

● フォーカスマップ

フォーカスエリアポイントに四角の指標が表示され、ピントが合っているポイントと合っていないポイントを色で示します。被写体にピントが合っているポイントや被写体と同じ距離のポイントには緑色の指標が表示されます。ピントの位置よりも手前のポイントには黄色の指標、後ろのポイントには青色の指標が表示されます。



- 動画撮影メニューの **フォーカス設定 > MF アシスト**で指標の色をモノクロに変更できます。このとき、ピントの位置よりも手前のポイントには白色の指標、後ろのポイントには黒色の指標が表示されます。
- オートフォーカスが苦手な被写体では指標が表示されないことがあります (p.90)。

ISO 感度を変更

光に対する ISO 感度を変更できます。

 **撮影設定 > 感度**で ISO 感度を設定します。

設定	説明
AUTO1 AUTO2 AUTO3	被写体の明るさに応じて ISO 感度が自動的に設定されます。 AUTO1、AUTO2、AUTO3 にそれぞれ異なった 基準 ISO 感度、上限 ISO 感度、低速シャッター限界 を設定できます (98)。
125 ~ 12800	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。
L (64) L (80) L (100) H (25600) H (51200)	拡張感度を設定できます。標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。



- ISO 感度は、カメラの電源をオフにしても保持されます。
-  **操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定**で、フロントコマンドダイヤルまたはリアコマンドダイヤルで ISO 感度を変更できるようにすることができます。

ISO 感度の設定について

ISO 感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて ISO 感度設定を使い分けてください。

AUTO 設定について

AUTO1、AUTO2、AUTO3 を選ぶと、それぞれ異なった値の**基準 ISO 感度**、**上限 ISO 感度**、**低速シャッター限界**を設定できます。

設定	設定値	工場出荷時の設定値		
		AUTO1	AUTO2	AUTO3
基準 ISO 感度	125 ～ 12800	125		
上限 ISO 感度	400 ～ 12800	800	3200	12800
低速シャッター限界	1/4000 ～ 30 秒、AUTO	AUTO		

基準 ISO 感度と**上限 ISO 感度**を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的に ISO 感度を設定します。また、**低速シャッター限界**では、ISO 感度が自動で切り替わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できます。



- **上限 ISO 感度**よりも**基準 ISO 感度**を高く設定している場合は、**上限 ISO 感度**で設定されている ISO 感度で撮影されます。
- **基準 ISO 感度**と**上限 ISO 感度**の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、**低速シャッター限界**で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。
- **低速シャッター限界**を **AUTO** にすると、レンズの焦点距離に応じてカメラが自動的に低速シャッター限界の値を設定します（手ブレ補正の ON/OFF によって、設定は変わりません）。

測光モードを変更

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

 **撮影設定 > 測光**で使用する測光モードを設定します。

 測光モードを変更するときは、**フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定と被写体検出 AF 設定を OFF にしてください。**

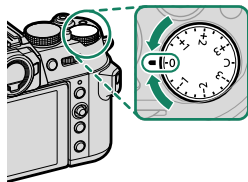
設定	説明
 マルチ	被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、  （マルチ）をおすすめします。
 中央部重点	撮影画面の中央部を重点的に測光して露出値を決定します。
 スポット	画面の約 2% 部分の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。
 アベレージ	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

 **フォーカス設定 > 測光 & フォーカスエリア運動**を **ON** にしているときは、フォーカスフレームの位置を測光します（ 167）。

露出補正

画像の明るさを調整できます。

露出補正ダイヤルを回して、露出を補正します。



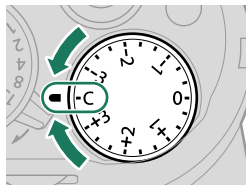
- モードによって補正段数が制限されることがあります。
- 露出補正の結果は撮影画面に反映されます。ただし、以下の設定では反映されないことがあります。
 - 露出補正量が±3段を超えたとき
 - ダイナミックレンジを **200**200%、**400**400% に設定したとき
 - D レンジ優先を強または弱に設定したとき

この場合、シャッターボタンを半押しすると、補正した明るさを液晶モニターまたはファインダーで確認できます。

なお、動画モードにおいて **ダイナミックレンジ** を **200**200%、**400**400% に設定、または、F-Log 撮影の場合も露出補正が反映されないことがあります。この場合は撮影モードをマニュアル（**M**）にして直接露出を指定することで対応してください。

C (カスタム) について

露出補正ダイヤルを **C** の位置にしてフロントコマンドダイヤルを回すと、露出が設定できます。



- フロントコマンドダイヤルによる露出補正では、**± 5** の範囲で補正が可能になります。
- フロントコマンドダイヤルを押すと、フロントコマンドダイヤルの機能を切り替えることができます (📖 312)。

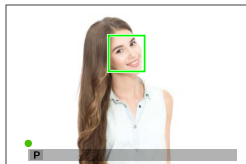
AE/AF ロック撮影

シャッターボタンを半押しすると、明るさとピントが固定されます。

1 AE/AF ロックしたい被写体に AF フレームを合わせます。

2 シャッターボタンを半押しします。

被写体に露出とピントが合い、AF フレームが緑点灯します。



3 そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。

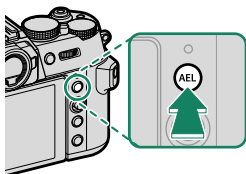


シャッターボタンによる AE/AF ロック撮影を行う場合は、**操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AF、半押し AE** を **ON** にしておく必要があります。

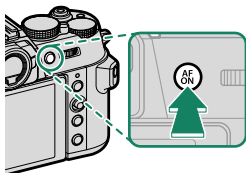
ボタンによる AE/AF ロック

AEL ボタンを使用すると、AE ロックのみを行えます（工場出荷時の設定）。**AFON** ボタンに **AF LOCK** のみを割り当てた場合、**AFON** ボタンを使用すると、AF ロックのみを行えます。

- **AEL** ボタンまたは **AFON** ボタンで AE ロック / AF ロックしたときは、シャッターボタンを半押ししてもロックは解除されません。
-  **操作ボタン・ダイヤル設定 > AE/AF-LOCK 設定を押下切替**にすると、**AEL** ボタンまたは **AFON** ボタンから指を離しても AE ロックや AF ロックは解除されなくなります。解除するときは、もう一度ボタンを押します。



AEL ボタン (AE ロック)



AFON ボタン

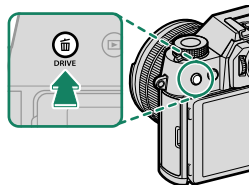
-  AE ロック中にフォーカスレバーでフォーカスポイントの位置を変更することができます。
- **AEL** ボタンや **AFON** ボタンには  **操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で他の機能を割り当てることができます。また使用するボタンは変更できます（ 339）。

ブラケティング撮影

一度シャッターボタンを押すと、それぞれの設定値を変えながら複数枚連続で撮影するブラケティング撮影ができます。

1 DRIVE ボタンを押します。

ドライブモード選択画面が表示されます。



2 フォーカスレバーの上下でブラケティングの種類を選びます。

ドライブモード		ドライブモード	
[ISO] ISO ブラケティング	105	BKT ブラケティング	106
[WB] ホワイトバランス BKT	105		

3 フォーカスレバーの左右で変化量などの設定値を選びます。

4 MENU/OK ボタンを押します。

ブラケティングの種類と設定が決定されます。

5 撮影します。

ISO ISO ブラケティング

撮影した1枚の画像から、設定したISO感度を変化させて3枚の画像を作成します。変化させるISO感度はドライブモード選択画面で $\pm 1/3$ 、 $\pm 2/3$ 、 ± 1 から選べます。

WB ホワイトバランス BKT

一度シャッターボタンを押すと、「センター（ノーマル）」、「ブルー（プラス）」、「アンバー（マイナス）」の3枚の画像を作成します。設定したホワイトバランスから ± 1 、 ± 2 、 ± 3 ステップの幅をドライブモード選択画面で設定できます。

BKT ブラケットング

AE ブラケットング

画像の明るさ（露出）を「適正」、「オーバー（明るい）」、「アンダー（暗い）」に変えながら選んだ撮影コマ数分連続撮影します。 **撮影設定 > AE ブラケットング設定**で1コマ/連続撮影やステップ幅、撮影順序などを設定できます。

 アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えると、設定した**ステップ数**で撮影されません。

フィルムシミュレーション BKT

撮影した1枚の画像から、それぞれ設定したフィルムシミュレーションの設定に変化させて3枚の画像を作成します。変化させるそれぞれのフィルムシミュレーションの設定は  **撮影設定 > フィルムシミュレーション BKT**で設定します。

ダイナミックレンジ BKT

一度シャッターボタンを押すと、ダイナミックレンジの設定を「100%」、「200%」、「400%」の順に変えながら、3枚連続で撮影します。

 ISO感度を固定値に設定しているときは自動的にISO500以上になります。ダイナミックレンジブラケットングを解除すると、ISO感度は元の設定に戻ります。

FOCUS フォーカス BKT

一度シャッターボタンを押すと、設定に応じてピントを変えながら連続で撮影されます。**撮影設定 > フォーカス BKT 設定**で撮影の方法を**マニュアル**または**AUTO**から選べます。



- ・撮影中は、ズーム操作を行わないでください。
- ・三脚のご使用をおすすめします。

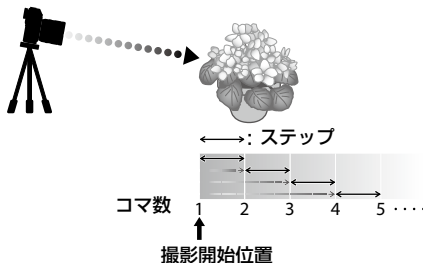
マニュアル

マニュアルを選ぶと、次の項目を手動で設定できます。

サブメニュー	内容
コマ数	撮影するコマ数を選びます。
ステップ	ピントの変化量を選びます。
撮影間隔	次の撮影までの時間を選びます。

コマ数 / ステップとピント位置の関係について

コマ数 / ステップとピント位置の関係は図のようになります。



- ・ピント位置は、撮影開始位置から無限遠側に向かって移動します。
- ・ステップの数値が小さいとピント位置の間隔は狭くなり、大きいと広がります。
- ・ピント位置が無限遠に到達すると、コマ数の設定に関わらず撮影を終了します。

AUTO

AUTO を選べるとコマ数とステップをカメラが自動で設定します。

- 1 撮影メニューから **撮影設定 > フォーカス BKT 設定** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 2 **AUTO** を選んでから、撮影間隔を設定します。

撮影画面が表示されます。

- 3 被写体のもっとも手前にピントを合わせて **MENU/OK** ボタンを押します。

距離指標上に **A** が設定されます。

 もっとも遠い方を先に設定しても、ピントを合わせる範囲は変わりません。



- 4 被写体のもっとも遠い方にピントを合わせて **DISP/BACK** ボタンを押します。

距離指標上に **B** が設定され、ピントを合わせる範囲 (**A** と **B** の間) が設定されます。

 **DISP/BACK** ボタンの代わりに **MENU/OK** ボタンを押して再度 **A** を設定することもできます。



- 5 撮影します。

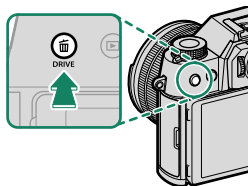
カメラがコマ数とステップを自動で設定します。撮影コマ数は撮影画面に表示されます。



連続撮影（連写）

シャッターボタンを押し続けている間、連続撮影します。動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

- 1 **DRIVE** ボタンを押してドライブモード選択画面を表示させます。



- 2 **CH** 高速連写、**CL** 低速連写のいずれかを選び、シャッターボタンを押すと連続撮影します。

シャッターボタンから指を離すか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

- ❗ 連写中にファイル No. が 9999 を超えると、次のフォルダにまたがって記録されます。
- 連写中にメモリーカードの容量が不足すると、記録可能枚数分まで記録されます。ただし、連写モードによっては、空き容量がないときは撮影できない場合があります。
- 連写枚数が増えると、連写速度が遅くなる場合があります。
- シャッタースピード、ISO 感度、シーン、フォーカスモードによっては、連写速度が変わる場合があります。
- 撮影条件によっては、連写速度が低下したり、フラッシュが発光しなかったりする場合があります。
- 連続撮影では、撮影した画像を記録する時間が長くなる場合があります。
- ☑ **撮影設定 > シャッター方式** の設定によって選べる連写の種類が異なります。

ピントや露出について

- ピントを自動で変えながら撮影したいときは、フォーカスモードを **C** に設定してください。
- 露出を自動で変えながら撮影したいときは、 **操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AE** を **OFF** にしてください。

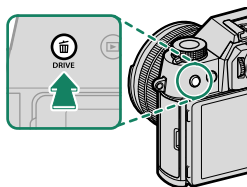


絞りや ISO 感度、露出補正などの撮影条件によっては、露出の自動調整が有効にならない場合があります。

HDR 撮影

一度シャッターボタンを押すと明るさの異なる 3 枚の画像を撮影し、1 枚の画像に合成します。白飛びや黒つぶれの少ない画像を撮影できます。

- 1 **DRIVE** ボタンを押してドライブモード選択画面を表示させ、**HDR** を選びます。



- 2 明るさの変化量を設定します。

設定	説明
HDR AUTO	ダイナミックレンジを 200% から 800% の間で自動で設定します。
HDR200	ダイナミックレンジを 200% に設定します。
HDR400	ダイナミックレンジを 400% に設定します。
HDR800	ダイナミックレンジを 800% に設定します。
HDR800+	ダイナミックレンジがもっとも広くなるようにカメラが最適な設定を行います。

- 3 撮影します。
合成された画像が撮影されます。



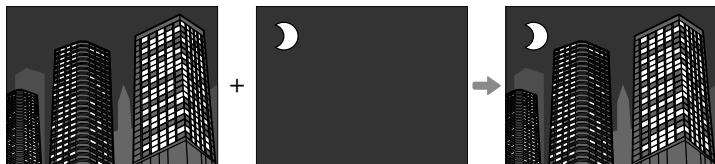
- 撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- 被写体が動いたり構図が変わったりする場合や、被写体の明るさが変わる場合は、意図したとおりの画像が撮影できないことがあります。
- 画像の周辺部分がわずかにトリミングされ、解像度が若干低下します。
- ダイナミックレンジが広がるほど、画像にノイズが増えます。状況に応じてダイナミックレンジ設定を使い分けてください。
- 拡張感度は使用できません。
- HDR の設定と ISO 感度の設定によっては、シャッタースピードが設定した値にならないことがあります。
- フラッシュは発光しません。



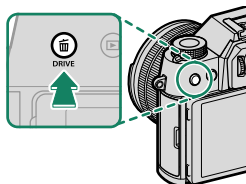
HDR 撮影で合成された画像には再生時に  アイコンが表示されます。

多重露出撮影

複数の画像を重ねて1つの画像に合成します。



- 1** **DRIVE** ボタンを押してドライブモード選択画面を表示させ、多重露出を選びます。



- 2** 画像をどのように合成するかを選びます。

設定	説明
加算	撮影した画像の露出を加算して合成します。合成する枚数に応じてマイナスの露出補正をしてください。
加算平均	重ね合わせた画像の露出が適正になるように自動的に露出を補正して合成します。同じ構図で撮影したときは背景が適正露出になるように補正されます。
比較 (明)	重ね合わせた画像の同じ位置を比較して、もっとも明るい部分が残るように合成します。色や明るさによって色が混ざることがあります。
比較 (暗)	重ね合わせた画像の同じ位置を比較して、もっとも暗い部分が残るように合成します。色や明るさによって色が混ざることがあります。

- 3** 1枚目の画像を撮影します。

4 MENU/OK ボタンを押します。

2 枚目の撮影画面になります。



- 1 枚目の画像を撮り直す場合はフォーカスレバーを左に動かしてください。
- **DISP/BACK** ボタンを押すと、1 枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。

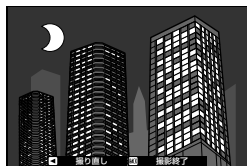
5 2 枚目の画像を撮影します。

1 枚目の画像が撮影画面に薄く表示されているので、その画像を見ながら 2 枚目の画像の位置を調整してください。



6 MENU/OK ボタンを押します。

2 枚の画像を合成した画像が表示されて、次の画像の撮影画面になります。



- 2 枚目の画像を撮り直す場合はフォーカスレバーを左に動かしてください。
- **DISP/BACK** ボタンを押すと、撮影した画像が合成され、多重露出撮影を終了します。

7 繰り返し撮影します。

一度に 9 枚までの画像を合成できます。

8 撮影が終わったら **DISP/BACK** ボタンを押します。

撮影した画像を合成した画像が保存されて、多重露出撮影を終了します。

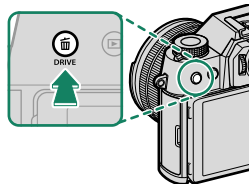


オートモード切換レバーが **AUTO** のときに、フロントコマンドダイヤルの機能に ISO 感度が割り当てられている場合は、**AUTO1**、**AUTO2**、**AUTO3** のいずれかの感度を設定できます（ 98）。

パノラマ撮影

カメラを動かしながら撮影した複数の画像を合成し、高画質な1枚のパノラマ写真を作成します。

- 1 **DRIVE** ボタンを押してドライブモード選択画面を表示させ、**Adv.** > パノラマを選びます。



- 2 撮影する角度（撮影画角）を選びます。

フォーカスレバーを左に動かし、撮影画角変更画面を表示させ、撮影する画角の大きさを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 3 撮影方向を選びます。

フォーカスレバーを右に動かし、撮影方向選択画面を表示させ、撮影する方向を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 4 シャッターボタンを全押しします。

撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

- 5 矢印方向にカメラを動かします。

ガイドの終端までカメラが動くと撮影が終了し、パノラマ写真が保存されます。



うまく撮影するには

- 一定の速度でゆっくりと小さな円を描くようにカメラを動かします。
- ガイドの方向にまっすぐカメラを動かします。
- うまいかいないときは、移動速度を変えてください。
- カメラがブレないように脇をしめて撮影してください。
- 三脚を使うと、よりきれいに撮影できます。
- ズーム位置を広角側に設定して、レンズの焦点距離を 35 mm（35 mm フィルム判で 50 mm 相当）以下で撮影することをおすすめします。



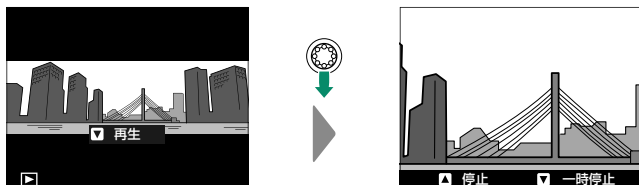
- 撮影中にシャッターボタンをもう一度全押しすると、撮影が停止します。このときに撮影された画像が保存されないことがあります。
- 撮影を中断したタイミングによっては、撮影した最後の部分が記録されないことがあります。
- 複数の写真を合成するため、つなぎ目がきれいに記録されない場合があります。
- 暗いシーンでは、写真がブレる場合があります。
- カメラを動かす速度が速すぎたり、遅すぎたりしたときは、撮影が中断される場合があります。設定した方向と異なる方向にカメラを動かしたときも撮影が中断されます。
- 撮影シーンによっては、設定した角度どおりに撮影できない場合があります。
- 以下の場合はパノラマ撮影には適していません。
 - 被写体が動いている
 - 被写体とカメラの距離が近すぎる
 - 空や芝生など、同じような模様が続く風景
 - 波や滝など常に模様が変化する風景
 - 明るさが大きく変動するシーン
- 露出は、最初にシャッターボタンを半押しした時点で固定されます（**操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AE が ON のとき**）。



オートモード切換レバーが **AUTO** のときに、フロントコマンドダイヤルの機能に ISO 感度が割り当てられている場合は、**AUTO1**、**AUTO2**、**AUTO3** のいずれかの感度を設定できます（**98**）。

パノラマ画像の再生

1 コマ再生時にパノラマ写真を選択してフォーカスレバーを下に動かすと、パノラマ写真を再生できます。横方向に撮影したパノラマ写真は左から右に、縦方向に撮影した写真は下から上に表示されます。



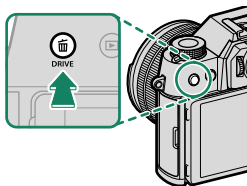
- パノラマ写真を1コマ再生しているときは、リアコマンドダイヤルを回して拡大/縮小表示できます。
- パノラマ再生時の操作は、フォーカスレバーで行います。

	1コマ再生中	再生中	一時停止中
上	—	停止	
下	再生	一時停止	再生
左右	前後の画像を表示	再生方向の変更	コマ送り

アドバンストフィルター撮影

さまざまなフィルター効果を加えて撮影できます。

- 1 **DRIVE** ボタンを押してドライブモード選択画面を表示させ、**Adv.>** アドバンストフィルターを選びます。



- 2 使用したいアドバンストフィルターを選びます。

- 3 撮影します。



オートモード切換レバーが **AUTO** のときは、フロントコマンドダイヤルで **AUTO1**、**AUTO2**、**AUTO3** のいずれかの感度を設定できます (p.98)。

アドバンストフィルターの種類

設定	説明
 トイカメラ	レトロな雰囲気のあるトイカメラ風な写真に仕上がります。
 ミニチュア	ジオラマ風に上下をぼかします。
 ポップカラー	コントラストと彩度を強調します。
 ハイキー	全体的に階調を明るくし、コントラストを抑えます。
 ローキー	全体を暗く落ち着いた感じつつ、ハイライト部分を強調します。
 ダイナミックトーン	ダイナミックな階調表現で、幻想的な効果を加えます。
 ソフトフォーカス	全体にぼかしを加え、やわらかな雰囲気を与えます。
 パートカラー (レッド)	特定の色域（カッコ内の色）だけを残し、残りをモノクロにします。
 パートカラー (オレンジ)	
 パートカラー (イエロー)	
 パートカラー (グリーン)	
 パートカラー (ブルー)	
 パートカラー (パープル)	

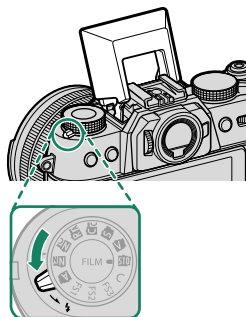


被写体やカメラの設定によっては、画像が粗くなったり意図したような明るさや色味にならなかったりする場合があります。

フラッシュ撮影

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

- 1 **⚡**（フラッシュポップアップ）レバーを矢印の方向に引いて、フラッシュをポップアップします。



- 2 撮影メニューの **⚡** フラッシュ設定 > フラッシュ機能設定を選びます。

ポップアップ式フラッシュの設定画面が表示されます。



- !** フラッシュをポップアップしていない場合や、ホットシューに何も接続されていない場合、またはカメラに対応したクリップオンフラッシュ以外が接続されている場合は、シンクロターミナルの設定画面が表示されます (p. 359)。必ずフラッシュをポップアップしてから設定してください。

- 3** フラッシュの設定を変更します (📖 121)。
フォーカスレバーで変更する項目を選び、リアコマンドダイヤルで設定値を変更します。



- 4** DISP/BACK ボタンを押します。
フラッシュモードが設定されます。

- ❗
- ご使用の交換レンズや撮影距離によっては、フラッシュのケラレが発生することがあります。
 - フラッシュポップアップ部に触れると、エッジでケガをすることがありますのでご注意ください。
 - 電子シャッターを使用しているときやパノラマ撮影などを行っているときは、フラッシュは発光しません。
 - 撮影モードが **S** (シャッタースピード優先) または **M** (マニュアル) のときは、シャッタースピードを同調速度 $1/180$ 秒よりも長い時間に設定してください。

- 📷
- TTL モードでは、フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。
 - 📷 **基本設定 > 電子音 & フラッシュ** を **OFF** にしているときは、フラッシュは発光しません。

フラッシュ機能設定

ポップアップ式フラッシュでは、以下の項目を設定できます。



項目	設定 / 説明
① モード (発光モード)	フラッシュの発光モードを選びます。 ● TTL: TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整し、TTL モードで TTL 撮影の発光モードを選択します。 ● M: 被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。発光量でフル発光 (1/1) から 1/64 発光までの発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合があります。実際の撮影画像で確認してください。 ● ⚡ (プライマリーフラッシュ): スタジオフラッシュなど、主灯 (プライマリーフラッシュ) の発光に同期して発光可能なセカンダリーフラッシュをコントロールするときに選択します。 ● ⏻ OFF (OFF): フラッシュを使用しません。
② 調光補正 / 発光量 (発光強度)	フラッシュの調光補正または発光量を設定します。設定値は選択している発光モードによって異なります。

項目	設定 / 説明
③ TTL モード	TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード（P、S、A、M）によって選択可能な設定が異なります。 ● 閃光（フラッシュ発光 AUTO）：被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に 閃光 が表示されます。 ● 閃光（スタンダード）：一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。 ● 閃光（スローシンクロ）：夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
④ 同調モード	フラッシュが発光するタイミングを選びます。 ● FRONT（先幕）：シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。 ● REAR（後幕）：シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。

赤目補正について

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象を「赤目現象」といいます。赤目現象を補正したいときは、**閃光** フラッシュ設定 > 赤目補正を赤目抑制発光に設定します。

フラッシュ使用時のシャッタースピードについて

フラッシュ撮影したときのシャッタースピード同調速度は $1/180$ 秒以下です。

別売フラッシュについて

このカメラでは、別売の富士フイルム製クリップオンフラッシュが使用できます。

他社製のフラッシュをお使いになる時のご注意

カメラのホットシューに 300V 以上の電圧がかかるフラッシュは使用できません。TTL 非対応のフラッシュを使用する場合は、発光モードを **M** にしてください。

撮影メニュー

6

画質設定（静止画）

静止画撮影時の画質に関する機能を設定できます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
IQ（画質設定）タブを選びます。



メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

画像サイズ

記録する画像の大きさを変更できます。

設定値

L 3:2	(7728 × 5152)	L 4:3	(6864 × 5152)
L 16:9	(7728 × 4344)	L 5:4	(6432 × 5152)
L 1:1	(5152 × 5152)		

設定値

M 3:2	(5472 × 3648)	M 4:3	(4864 × 3648)
M 16:9	(5472 × 3080)	M 5:4	(4560 × 3648)
M 1:1	(3648 × 3648)		

設定値

S 3:2	(3888 × 2592)	S 4:3	(3456 × 2592)
S 16:9	(3888 × 2184)	S 5:4	(3264 × 2592)
S 1:1	(2592 × 2592)		

スポーツファインダーモードによる撮影、または連写で **1.29X クロップ** の連写速度を選んでいる場合の画像サイズは以下のとおりです。

設定値			
M 3:2	(6000 × 4000)	M 4:3	(5328 × 4000)
M 16:9	(6000 × 3376)	M 5:4	(4992 × 4000)
M 1:1	(4000 × 4000)		



画像サイズは、カメラの電源をオフにしたり、撮影モードを切り替えたりしても保持されます。

画質モード

用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

設定	説明
FINE	圧縮率を低くして画質を優先するモードです。
NORMAL	圧縮率を高くして撮影枚数を優先するモードです。
FINE+RAW	FINE で撮影した JPEG 画像や HEIF 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
NORMAL+RAW	NORMAL で撮影した JPEG 画像や HEIF 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
RAW	RAW ファイルのみを保存します。

ファンクションボタンを使って RAW 画像を撮影する

画質モードで **FINE**、**NORMAL** を選択していても、ファンクションボタンに **RAW** を割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで RAW 画像を撮影できます（ 339）。再度ファンクションボタンを押すか、撮影すると、元の設定（左列）に戻ります。

設定されている 画質モード	ファンクションボタン (RAW を割り当て済み) を押した場合
FINE	FINE+RAW
NORMAL	NORMAL+RAW
FINE+RAW	FINE
NORMAL+RAW	NORMAL
RAW	FINE

RAW 記録方式

RAW 画像の記録方式を設定できます。

設定	説明
非圧縮	データを圧縮せずに RAW 画像を保存します。
ロスレス圧縮	データを圧縮して RAW 画像を保存します（データを完全に復元できます）。「FUJIFILM RAW Converter ^{*1} 」、「Capture One ^{*1} 」、「RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPix ^{*2} 」、「FUJIFILM X RAW STUDIO」などロスレス圧縮 RAW の現像に対応したソフトウェアを使うとデータを欠落せずに現像できます。記録した画像は 非圧縮 と同等の画質になり、ファイルサイズは約 30～90% になります。
圧縮	データを非可逆圧縮して RAW 画像を保存します（データには完全に復元できません）。記録した画像は 非圧縮 とほぼ同等の画質になり、ファイルサイズは約 25～35% になります。

*1 対応時期については Capture One 社のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.captureone.com/>

*2 対応時期については以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/support/compatibility/software/raw-file-converter-ex-powered-by-silkipix/>

JPEG/HEIF 選択

記録する画像のファイル形式を JPEG と HEIF で切り替えることができます。

設定	説明
JPEG	JPEG で撮影します。再生互換性に優れたファイル形式です。
HEIF	HEIF で撮影します。圧縮効果に優れた保存形式ですが、画像の再生や転送できる環境が限られています。



- 多重露出のときは、**HEIF** に設定していても自動的に **JPEG** に切り替わります。
- HEIF** を選んでいるときは、**明瞭度** の設定は無効になります。また、**色空間** は **sRGB** になります。
- HEIF 画像は拡張子が「.HIF」のファイルとしてメモリーカードに保存されます。このファイルをパーソナルコンピュータで再生する場合は、ファイルの拡張子を「.HEIC」に変更してください。ただし、カメラとパーソナルコンピュータを USB 接続して画像を転送する場合、拡張子は自動的に「.HEIC」に変更されます。

フィルムシミュレーションダイヤル設定

フィルムシミュレーションダイヤルを **FS1**、**FS2**、**FS3**、 **ACROS** に合わせたときのフィルムシミュレーションやフィルターを設定できます。

FS1、FS2、FS3

フィルムシミュレーションダイヤルの **FS1**、**FS2**、**FS3** に使用したいフィルムシミュレーションを割り当てることができます。 **ACROS** や **モノクロ** を選んだときは、使用するフィルターも選べます。

ACROS

フィルムシミュレーションダイヤルを **ACROS** に合わせたときのフィルターを設定できます。

フィルム シミュレーション

撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。表現意図に応じてフィルムを選ぶ感覚で、色再現や階調表現を使い分けることができます。

設定	説明
 AUTO	シーンに応じて、カメラが自動で最適なフィルムシミュレーションに設定します。オートモード切換レバーが AUTO の位置のときに選べます。
 PROVIA/ スタンダード	標準的な発色と階調で人物・風景など幅広い被写体に適します。
 Velvia/ ビビッド	高彩度な発色とメリハリある階調表現で風景・自然写真に最適です。
 ASTIA/ ソフト	落ち着いた発色とソフトな階調でしっとりとした表現に適します。
 クラシッククローム	発色をおさえ暗部のコントラストを高めることで落ち着いた表現に適します。
 REALA ACE	標準的な発色とメリハリのある階調であらゆるシーンに適します。
 PRO Neg. Hi	コントラストを高めたややメリハリのあるポートレート撮影に適します。
 PRO Neg. Std	ニュートラルな階調で画像加工に最適です。肌の質感を再現したいポートレート撮影に適します。
 クラシックネガ	深い色とメリハリのある階調で、被写体をしっかりとした立体感で表現します。
 ノスタルジックネガ	アンバーに味付けされたハイライトと色乗りの良いシャドウで、印刷された写真のような雰囲気表現します。
 ETERNA/ シネマ	落ち着いた発色と豊かなシャドウトーンで動画に適します。
 ETERNA ブリーチバイパス	低彩度かつ高コントラストの独特な発色で撮影できます。動画撮影にも適します。

設定	説明
 ACROS	質感豊かでシャープな表現のモノクロです。さらに Ye、R、G のフィルターを選んでコントラストを調整します。 ● ACROS + Ye フィルター：コントラストをやや強調し、青空が少し濃くなります。 ● ACROS + R フィルター：コントラストを強調し、青空が濃くなります。 ● ACROS + G フィルター：唇、肌の調子を出し、ポートレートに適します。
 モノクロ	モノクロで表現します。さらに Ye、R、G のフィルターを選んでコントラストを調整します。 ● モノクロ + Ye フィルター：コントラストをやや強調し、青空が少し濃くなります。 ● モノクロ + R フィルター：コントラストを強調し、青空が濃くなります。 ● モノクロ + G フィルター：唇、肌の調子を出し、ポートレートに適します。
 セピア	セピア調で表現します。

- フィルムシミュレーション設定時も、トーンやシャープネスなどの変更が可能です。
- この設定はショートカット機能でも設定できます（ 330）。
- フィルムシミュレーションについては、以下のウェブサイトも併せてご覧ください。
<https://fujifilm-x.com/products/film-simulation/>

モノクローム カラー

フィルムシミュレーションの **ACROS** または **モノクロ** で撮影したモノクロの色調を、赤みがかかった温かみのある温黒調（ウォームトーン）や、青みがかかった冷たさを感じる冷黒調（クールトーン）に調整できます。**WARM** から **COOL**、または **G**（緑）から **M**（マゼンタ）の2つの軸で調整できます。



グレイン・エフェクト

画像にザラっとした粒状の質感を与えます。

強度

設定	説明
強	濃い粒状を与えます。
弱	薄い粒状を与えます。
OFF	使用しません。

粒度

設定	説明
大	粒の粗い質感を与えます。
小	粒の細かい質感を与えます。

カラークローム・エフェクト

赤や緑、黄色などの飽和しがちな彩度の高い色情報を階調豊かに表現します。

設定	説明
強	強い効果を与えます。
弱	弱い効果を与えます。
OFF	使用しません。

カラークローム ブルー

青系の色情報を階調豊かに表現します。

設定	説明
強	強い効果を与えます。
弱	弱い効果を与えます。
OFF	使用しません。

スムーズスキン・エフェクト

人物の肌をなめらかに補正します。

設定	説明
強	強い効果を与えます。
弱	弱い効果を与えます。
OFF	使用しません。

ホワイトバランス

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

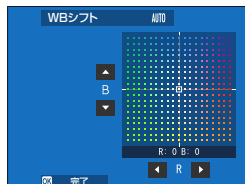
設定	説明
 AUTO ホワイト優先	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。白熱電球下で白色が再現されやすくなります。
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、 AUTO をおすすめします。
 AUTO 雰囲気優先	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。白熱電球下で、より温かみのある雰囲気を出します。
 カスタム 1	白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを設定します。
 カスタム 2	
 カスタム 3	
 色温度設定	色温度を設定します。
 晴れ	晴天の屋外での撮影用です。
 日陰	曇天や日陰などでの撮影用です。
 蛍光灯 1	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
 蛍光灯 2	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
 蛍光灯 3	白色蛍光灯の下での撮影用です。
 電球	電球、白熱灯の下での撮影用です。
 水中	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。



- 人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られない場合は、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランスをお使いください。
- フラッシュ発光時は、**AUTO**/ **AUTO ホワイト優先** /  **AUTO 雰囲気優先** /  **水中** 設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください。
- この設定はショートカット機能でも設定できます (図 330)。

WB シフト

ホワイトバランスを選んだあとに、**MENU/OK** ボタンを押すと、WB シフト画面が表示され、シフト量を調整できます。フォーカスレバーでホワイトバランスのシフト量を調整します。



- ホワイトバランスを選んだあとに、**DISP/BACK** ボタンを押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。
- フォーカスレバーでシフト量を調整するときは、フォーカスレバーによる斜め移動はできません。

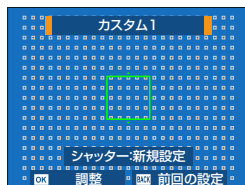
カスタムホワイトバランス

カスタムホワイトバランスでは、自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

- 白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。

1 ホワイトバランスの設定画面からカスタムホワイトバランス（ $\Omega_1/\Omega_2/\Omega_3$ ）を選びます。

2 白い紙などの被写体を画面内に表示します。



- **MENU/OK** ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。
- カスタムホワイトバランスを取得するエリアのサイズや位置を変更することもできます。

3 シャッターボタンを全押しして設定します。



前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに **DISP/BACK** ボタンを押します。

4 「GOOD!」と表示されたら、MENU/OK ボタンを押して決定します。

- 「OVER」または「UNDER」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。
- 「OVER」と表示されたときは -（マイナス）側に露出補正してから、再度測定してください。
- 「UNDER」と表示されたときは +（プラス）側に露出補正してから、再度測定してください。



K 色温度を設定する

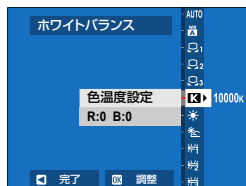
光源の色温度に合わせて設定します。



色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。

- 1 ホワイトバランスの設定画面から **K** を選びます。

色温度が表示されます。



- 2 フォーカスレバーで色温度を調整し、**MENU/OK** ボタンを押します。

WB シフト画面が表示されます。

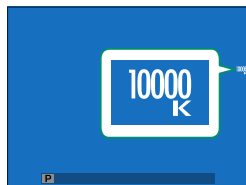


- ・リアコマンドダイヤルを回して 10K きざみで調整することもできます。
- ・色温度は 2500K から 10000K の間で調整できます。
- ・シフト量を調整しないときは、色温度を選んだあとに **DISP/BACK** ボタンを押してください。

- 3 フォーカスレバーでホワイトバランスのシフト量を調整します。

- 4 **MENU/OK** ボタンを押します。

色温度が設定されます。設定した色温度が画面に表示されます。



色温度について

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度（単位：K [ケルビン]）で表したものです。色温度が低いほど赤味を帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。

ダイナミックレンジ

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、逆光や明暗差の大きなシーンで白とびを抑えて、より見た目に近い画像を撮影できます。

設定		おすすめ用途
AUTO (自動調整)	 100%	コントラストのある画像が撮影できます。 
	 200%	
 400%		明暗差が大きいシーンでの、白とびを抑えます。

 ダイナミックレンジが広くなるほど、画像にノイズが増えます。状況に応じてダイナミックレンジ設定を使い分けてください。

-  ダイナミックレンジが **AUTO** のときは、 **100%** または  **200%** で自動調整され、シャッターボタンを半押しすると絞りとシャッタースピードが表示されます。
-  **200 %** は ISO 感 度 が ISO 250 以 上 ISO 12800 以 下、 **400 %** は ISO 500 以 上 ISO 12800 以 下 のと き に 設 定 で き ま す。

D レンジ優先

明暗差の大きいシーンで、白とびと黒つぶれの両方を抑えるよう階調を補正して自然な印象の画像を撮影します。

設定	説明
AUTO	明暗差に応じて、自動的に階調を補正します。
強	階調補正を強くします。明暗差の大きいシーンに適しています。
弱	階調補正を弱くします。明暗差のやや大きいシーンに適しています。
OFF	階調補正を行いません。



- **弱**は ISO 感度が ISO 250 以上 ISO 12800 以下、**強**は ISO 500 以上 ISO 12800 以下のときに設定できます。
- **D レンジ優先**が **OFF** 以外に設定されている場合、**トーンカーブ**、**ダイナミックレンジ**は自動的に設定されるため、変更することができなくなります。

トーンカーブ

トーンカーブを参考にしながら、ハイライト部やシャドウ部の調子をそれぞれ設定できます。硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。



設定	設定値
ハイライト	-2 ~ +4
シャドウ	-2 ~ +4

カラー

画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは「+」側に、薄くしたいときは「-」側に設定します。

設定値								
-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4

シャープネス

画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは「+」側に、ソフトにしたいときは「-」側に設定します。

設定値								
-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4

高感度ノイズ低減

高い解像感を優先するかノイズの少なさを優先するか、撮影者が重視するポイントによって、高感度における質感描写の調整ができます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは「+」側に、画像の輪郭を残したいときは「-」側に設定します。

設定値								
-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4

明瞭度

ハイライト部とシャドウ部の階調をなるべく保ったまま、画像をはっきりとさせます。画像をはっきりとさせたいときは「+」側に、ソフトにしたいときは「-」側に設定します。

設定値										
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5

 0以外の値に設定して撮影した場合、画像処理のため保存に時間がかかります。

 オートモード切換レバーが **AUTO** の位置のときは自動的に設定されます。

長秒時ノイズ低減

ON にすると、長時間露光撮影時のノイズを低減できます。

設定値	
ON	OFF

❗ ON にすると、画像処理のため保存に時間がかかります。

点像復元処理

ON にすると、レンズごとの焦点距離、絞り値、画面中心から周辺までのデータを高精度に処理することで、絞り込み時の回折ボケやレンズ周辺部のわずかなボケを補正します。画像のすみずみまで高いシャープネスやリアルな立体感が得られます。

設定値	
ON	OFF

色空間

画像の使用目的に合わせて、カラースペースを選択できます。

設定	説明
sRGB	一般的なディスプレイの基準色再現域で、通常の撮影では sRGB に設定します。
Adobe RGB	より広い色再現域を持つ色空間で、商用印刷用途などに適しています。

ピクセルマッピング

撮影画像や動画の輝点が気になってきたときなどに実行すると、輝点が軽減されます。

1 撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、 **画質設定タブ**を選びます。

2 **ピクセルマッピング**を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押して、**ピクセルマッピング**を実行します。



- 実行しても、思うように軽減されないことがあります。
- 十分に充電されたバッテリーをご使用ください。
- カメラの温度が高いときはピクセルマッピングは実行できません。
- 処理には数十秒程度かかることがあります。

カスタム選択

 **カスタム登録 / 編集**で保存した**カスタム 1 ～ 7**の設定を呼び出します。

設定値			
選択しない	カスタム 1	カスタム 2	カスタム 3
カスタム 4	カスタム 5	カスタム 6	カスタム 7



カスタム設定を使用しない場合は、**選択しない**を選びます。

📷 カスタム登録 / 編集

自分好みの撮影メニューの設定を組み合わせで保存できます。保存した設定は、**📷 画質設定 > 📷 カスタム選択**で呼び出せます。

カスタム設定を作成する

カスタム設定を新規に作成できます。

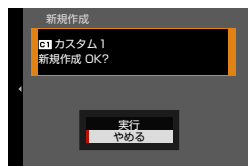
- 1 撮影メニューから **📷 画質設定 > 📷 カスタム登録 / 編集** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 2 C1 ~ C7 のうち、新規作成の場所を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



- 3 実行を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。
選んだ場所に現在のカメラの設定が登録されます。



カスタム設定の内容を変更する

作成したカスタム設定の内容を変更して保存できます。

- 1 撮影メニューから **📷 画質設定 > 📷 カスタム登録 / 編集** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



動画の設定を変更する場合は、動画撮影メニューの **📷 動画設定 > 📷 カスタム登録 / 編集** で変更します。

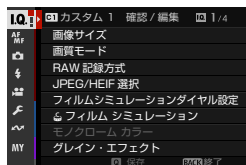
- 2 設定を変更したいカスタムを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- 3 確認 / 編集を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- 4 撮影メニューの一覧からカスタム登録したいメニューの項目を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。
選んだ項目の設定ができます。



- 5 **MENU/OK** ボタンを押すと、項目の設定を終了して撮影メニューの一覧に戻ります。

続けて別の項目を設定することができます。

静止画撮影メニューの **画質設定** > カスタム登録内容の自動更新や動画撮影メニューの **動画設定** > カスタム登録内容の自動更新をしないに設定している場合、設定を変更した項目には赤い丸が表示され、自動的に保存されません。

- 設定を変更した項目を選んで **Q** ボタンを押すと、選んだ項目を個別に保存できます。
- 手順 3 の画面に戻り、**変更を保存** を選ぶと、設定を変更した項目をすべて保存できます。**変更をリセット** を選ぶと、変更をすべて保存せずに元の設定に戻します。
- 赤い丸が付いた変更中のカスタムをコピーした場合に、変更中のカスタムがコピーの対象となります。

カスタム設定をコピーする

選んだカスタム設定の内容を複製したり、別のカスタム設定に上書きしたりできます。カスタム設定の名前を変更している場合、コピー先のカスタム名はコピー元のカスタム名と同じになります。

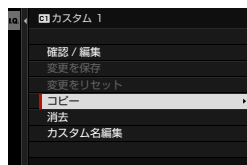
- 1 撮影メニューから 画質設定 > カスタム登録 / 編集を選び、MENU/OK ボタンを押します。

動画の設定を変更する場合は、動画撮影メニューの 動画設定 > カスタム登録 / 編集で変更します。

- 2 コピー元のカスタム設定を選び、MENU/OK ボタンを押します。



- 3 コピーを選び、MENU/OK ボタンを押します。



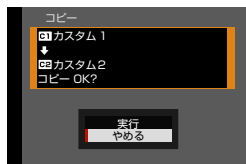
- 4 C1 ~ C7 から、コピーしたい場所を選び、MENU/OK ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

すでに作成されているカスタム設定を選ぶと、そのカスタム設定に登録されている内容を上書きします。



- 5 実行を選んで MENU/OK ボタンを押します。**
カスタム設定が複製または上書きされます。



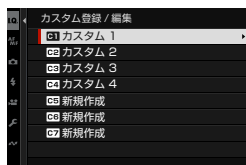
カスタム設定を消去する

選んだカスタム設定を消去します。

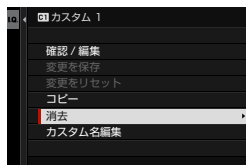
- 1 撮影メニューから 画質設定 > カスタム登録 / 編集を選び、MENU/OK ボタンを押します。**

動画の設定を変更する場合は、動画撮影メニューの 動画設定 > カスタム登録 / 編集で変更します。

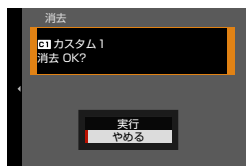
- 2 消去したいカスタム設定を選び、MENU/OK ボタンを押します。**



- 3 消去を選び、MENU/OK ボタンを押します。**
確認画面が表示されます。



- 4 実行を選んで MENU/OK ボタンを押します。**
選んだカスタム設定が消去されます。



カスタム設定の名前を変更する

カスタム設定の名前を変更できます。

- 1 撮影メニューから  画質設定 >  カスタム登録 / 編集を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

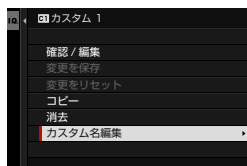


動画の設定を変更する場合は、動画撮影メニューの  動画設定 >  カスタム登録 / 編集で変更します。

- 2 名前を変更したいカスタム設定を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- 3 カスタム名編集を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- 4 カスタム設定の名前を入力して設定を選びます。
カスタム設定の名前が変更されます。

カスタム登録内容の自動更新

カスタム登録の内容を自動更新できます。

設定	説明
する	カスタム設定（カスタム 1 ～ 7）の内容を変更すると、設定内容が自動的に更新されます。
しない	カスタム登録の内容を自動更新しません。カスタム登録内容を変更する場合は手動で行います（ P.144 ）。

カメラアイコン マウントアダプター設定

マウントアダプターを装着したときの設定を行います。レンズ 1 ～ レンズ 6 に個別に設定を保存することができます。

- 歪曲収差補正、色シェーディング補正、周辺光量補正は、M マウントアダプター使用時に設定できます。
- 動画の設定も同時に変更されます（[P.210](#)）。

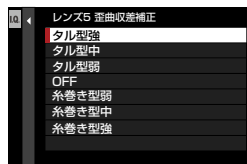
焦点距離設定

使用するレンズの実焦点距離を設定します。



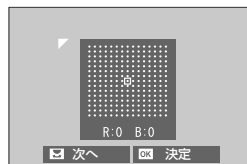
歪曲収差補正

画像の周辺部が歪んでしまう「歪曲収差」を補正できます。**タル型**と**糸巻き型**の補正を、それぞれ**強**、**中**、**弱**の3段階で補正できます。



色シェーディング補正

画像中央部と周辺部の色の違いなど（シェーディング）を画像の四隅それぞれ個別に補正できます。



- 1 リアコマンドダイヤルを回して、補正場所（画面の四隅）を選びます。三角マークで表示される隅をそれぞれ補正できます。
- 2 フォーカスレバーで補正值（色・量）を設定します。画像中央部と周辺部の色の差がなくなるように調整してください。
 - **レッド/シアン（横軸方向）**：-9 ～ +9 の範囲でレッドとシアンの縁取りを補正します。
 - **ブルー/イエロー（縦軸方向）**：-9 ～ +9 の範囲でブルーとイエローの縁取りを補正します。



色シェーディング補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

周辺光量補正

画像の周辺光量を補正できます。補正量は、**-5 ～ +5 と 0（ゼロ）**の計 11 段階から選べます。



- プラス側に補正すると周辺光量が上がり、オールドレンズでの補正に有効です。
- マイナス側に補正すると周辺光量が下がり、古いレンズやピンホールカメラで撮影したような効果が得られます。

 周辺光量補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

レンズ名編集

レンズ名を編集できます。

フォーカス設定（静止画）

静止画撮影時のフォーカスに関する機能を設定できます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
AF MF（フォーカス設定）タブを選びます。



メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

フォーカスエリア選択

フォーカスモードが **S** または **C** のときのピントを合わせるエリアの位置を変更できます。フォーカスモードが **M** のときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます（[図 88](#)）。

AF モード

フォーカスモードが **S** または **C** のときの AF モードを設定します（[図 86](#)）。

ゾーンカスタム設定

AF モードがゾーンのときのフォーカスエリアの範囲を変更できます。

サブメニュー

ゾーンカスタム 1

ゾーンカスタム 2

ゾーンカスタム 3

AF モードオール設定

AF モードがオールのときに選べるフォーカスエリアを設定します。撮影スタイルに合わせて、使用したいフォーカスエリアだけを設定できます。フォーカスモードが **S**（AF-S）または **C**（AF-C）のときでそれぞれ設定できます。

サブメニュー

AF-S

AF-C

AF-C カスタム設定

フォーカスモードを **C** に設定したときのピントの追従性を設定します。シーンに応じた **SET 1 ～ 5** を選びます。**SET 6 カスタム**で設定値を任意で設定することもできます。



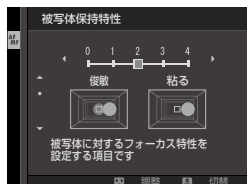
設定	説明
SET 1 汎用性の高い 基本的な設定	動きのある被写体全般に適応する標準的な設定です。
SET 2 障害物があるとき や、フレームアウト しやすいとき	ロックしている被写体にピントを合わせ続けようとします。被写体がフォーカスエリアから外れてしまったり、被写体以外がフォーカスエリアに入ってしまうシーンに適しています。
SET 3 急加速 / 急減速する 被写体向け	急激な加速や減速に反応してピントを合わせようとします。被写体の速度変化が大きいシーンに適しています。
SET 4 急に現れる 被写体向け	フォーカスエリア内に入ってきたものに対して即座にピントを合わせようとします。急に現れる被写体や被写体を切り替えながら撮影する場合に適しています。
SET 5 前後左右に激しく 動く被写体向け	被写体の速度変化が大きく、さらに上下左右にも動いてフォーカスエリアから外れやすいシーンに適しています。
SET 6 カスタム	被写体保持特性、速度変化特性、ゾーンエリア特性をお好みで設定できます。 SET 1 ～ 5 で設定されている設定値を参考にして各特性を設定してください（ P.154 、 P.156 ）。

各設定の特性について

それぞれの設定は、**被写体保持特性**、**速度変化特性**、**ゾーンエリア特性**の設定値で構成されています。

被写体保持特性

AF エリアに距離差のある被写体以外のものが入ってきた場合、それまで追っていた被写体を保持するかどうかを決める特性です。設定値が大きいほどピントを合わせようとしている被写体を長く捉えようとします。



設定値

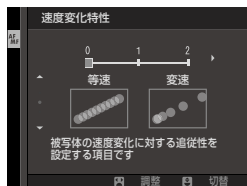
0	1	2	3	4
---	---	---	---	---



- 数値が大きいほど、意図しない被写体にピントが合ってしまうと、ピントを合わせたい被写体になかなか切り替わらない場合があります。
- 数値が小さいほど、AF エリアに入ってきた意図しない被写体に切り替わる場合があります。

速度変化特性

被写体が速度変化した場合の被写体位置の予測度合いを決める特性です。数値が大きいほど急速な動きに反応し、ピント精度を上げようとします。



設定値

0	1	2
---	---	---



- 数値が大きいほど、光の反射やコントラストがない被写体などの AF が苦手な被写体ではピントが不安定になる場合があります。

ゾーンエリア特性

ゾーン AF エリア内のどのエリアを優先してピントを決めるかを定める特性です。



設定	説明
手前	常に手前のエリアを優先してピントを選びます。
オート	初回 AF ではゾーン中央付近の被写体にピントを合わせ（ロック）、そのあとはロックした被写体が含まれるエリアを自動で選びます。
中央	常に中央のエリアを優先してピントを選びます。

! ゾーンエリア特性は AF モードに **[Z]** ゾーンを選んでいるときのみ有効です。

SET 1 ～ 5 の特性について

SET 1 ～ 5 の特性の各設定値は以下のように設定されています。

AF-C カスタム設定	被写体保持特性	速度変化特性	ゾーンエリア特性
SET 1	2	0	オート
SET 2	3	0	中央
SET 3	2	2	オート
SET 4	0	1	手前
SET 5	3	2	オート

SET 6 カスタムの設定手順

- 1 AF-C カスタム設定の SET 6 カスタムを選びます。



- 2 被写体保持特性、速度変化特性、ゾーンエリア特性の設定値を設定します。
フォーカスレバーで設定する項目を選び、フロントコマンドダイヤルで設定値を変更します。設定画面で  ボタンを押すと、設定をリセットします。
- 3 DISP/BACK ボタンで設定を決定します。

縦 / 横位置 AF モード切替

カメラを横向きで撮影するとき、縦向きで撮影するときの AF モードを別々に設定できます。

設定	説明
OFF	横向きと縦向きを同じ位置に設定します。
フォーカスエリアのみ	フォーカスエリアの位置のみ別々に設定します。
ON	縦向きと横向きをそれぞれ別々に設定します。

AF ポイント表示

AF フォーカス設定 > AF モードがゾーンまたはワイド / トラッキングのときのフォーカスエリアポイント枠を表示するかどうかを設定できます。

設定値	
ON	OFF

フォーカスポイント循環

フォーカスエリアを画面の一番端まで移動したときに、画面端で止まるか、反対側の端に回り込むかを設定できます。

設定	説明
する	フォーカスエリアが画面の一番端に移動すると、反対側の端に回り込みます。
しない	フォーカスエリアが画面端で止まります。

フォーカス点数切り替え

AF モードがシングルポイントのときやマニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のフォーカスエリアポイントの点数を変更できます。

設定	説明
117 点 (9 × 13)	117 点 (9 × 13) のフォーカスエリアポイントから選べます。
425 点 (17 × 25)	425 点 (17 × 25) のフォーカスエリアポイントから選べます。

プリ AF

ONにすると、シャッターボタンを半押ししていないときも AF サーチを実行します。常に AF サーチが行われるため半押し後のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときに有効です。

設定値	
ON	OFF

 **ON**にすると、バッテリーの消耗が早くなります。

AF 補助光

ONにすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF 補助光が発光します。AF 補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

設定値	
ON	OFF

-  ・シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。
- ・被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。
- ・人の目に近づけて発光させないでください。

顔検出 / 瞳 AF 設定

顔検出を使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物の明るさが適正になるように撮影できます。また、**瞳 AF** で、左右どちらの目にピントを合わせるかを選べます。



設定	説明
顔検出 ON	顔検出を使用します。さらに瞳 AF の動作を選べます。 ● 瞳 AF OFF：顔検出のみ行い、瞳 AF は行いません。 ● 瞳 AF AUTO：顔を検出したときにカメラが自動的に左右のどちらかの目にピントを合わせます。 ● 瞳 AF 右目優先：顔を検出したときに優先して右目にピントを合わせます。 ● 瞳 AF 左目優先：顔を検出したときに優先して左目にピントを合わせます。
OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。

- ❗
- 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
 - 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。
 - 顔検出 ON に設定すると、被写体検出 AF 設定は自動的に OFF になります。



- オートモード切換レバーが **AUTO** で、**AUTO モード設定**が **AUTO AUTO** のときは、カメラが自動で顔を選びます。瞳 AF がオンのときは瞳を選びます。
- フォーカスエリア内やフォーカスエリアの近くに顔を検出すると、顔の上に白い枠が表示されます。
- フォーカスエリア内に複数の顔を検出した場合は、カメラが自動で顔を選択します。
- 画面をタッチしてフォーカスエリアを移動すると、ピントを合わせる顔を変更できます。**AF モード**が **ワイド**のときはフォーカスレバー操作でピントを合わせる顔を変更することもできます。
- **操作ボタン・ダイヤル設定 > フォーカスレバー設定のフォーカスレバー※** が **AF ポイント ダイレクト移動**や**フォーカスエリア選択**のときは、フォーカスレバーや EVF 使用時のタッチパネル操作で変更することもできます（[図 28](#)）。
- 目にピントが合っているときに**右目 / 左目切替**を割り当てたファンクションボタンを押すと、ピントを合わせる目を切り替えることができます。
- ピントを合わせた顔が撮影画面から外れると、顔が撮影画面に戻ることを一定時間待つため、顔以外の場所に白い枠が残ることがあります。
- 撮影条件によっては連写後に選択した顔が解除されることがあります。
- 縦位置撮影時も顔を検出できます。
- メガネをかけた状態や髪の毛で目が隠れている状態など瞳を検出できない場合があります。瞳を検出できず目にピントを合わせることができない場合は、顔を検出して顔にピントを合わせます。
- この設定はショートカット機能でも設定できます（[図 330](#)）。

被写体検出 AF 設定

動物や乗り物など、あらかじめ設定された種類の被写体を検出し、その被写体にピントを合わせるかどうかを設定できます。

設定	説明
被写体 検出 ON	被写体検出を使用します。さらに検出する被写体の種類を選べます。 ●  動物：犬、猫を検出して追尾します。 ●  鳥：鳥、昆虫を検出して追尾します。 ●  クルマ：主にモータースポーツの車両や、車両のフロント部分を検出して追尾します。 ●  バイク & 自転車：バイクや自転車のライダーを検出して追尾します。 ●  飛行機：飛行機のコックピットや機首、ボディ、ドローンを検出して追尾します。 ●  電車：鉄道車両の運転室や車両前面を検出して追尾します。
OFF	被写体検出を使用しません。



被写体検出 ON に設定すると、 **顔検出 / 瞳 AF 設定**は自動的に OFF になります。



- オートモード切換レバーが **AUTO** で、**AUTO モード設定**が **AUTO AUTO** のときは、カメラが自動で被写体を選びます。
- フォーカスエリア内やフォーカスエリアの近くに被写体を検出すると、被写体の上に白い枠が表示されます。
- フォーカスエリア内に複数の被写体を検出した場合は、カメラが自動で被写体を選択します。
- 画面をタッチしてフォーカスエリアを移動すると、ピントを合わせる被写体を変更できます。**AF モード**が **ワイド**のときはフォーカスレバー操作でピントを合わせる被写体を変更することもできます。
- **操作ボタン・ダイヤル設定 > フォーカスレバー設定のフォーカスレバー** ※が **AF ポイント ダイレクト移動**や**フォーカスエリア選択**のときは、フォーカスレバーやEVF 使用時のタッチパネル操作で変更することもできます（[図 28](#)）。
- ピントを合わせた被写体が撮影画面から外れると、被写体が撮影画面に戻ることを一定時間待つため、被写体以外の場所に白い枠が残ることがあります。
- 撮影条件によっては連写後に選択した被写体が解除されることがあります。
- 縦位置撮影時も被写体を検出できます。
- この設定はショートカット機能でも設定できます（[図 330](#)）。

AF+MF

ONに設定すると、AF ロック状態（シャッターボタンを半押ししたときなど）でフォーカスリングを回したときに AF ロックが解除され、マニュアルフォーカスで撮影できます。

設定値

ON

OFF



- 距離指標付レンズをお使いの場合はレンズ側を距離指標モード（MF）に設定すると、この機能を使用できます。このとき、レンズの距離指標は無効になります。
- 距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスリングをあらかじめ距離指標の中央の位置にセットしてください（フォーカスリングの距離指標を最短距離または無限遠にセットすると、ピントが合わない場合があります）。



- フォーカスリングを回してから一定時間カメラを操作しないと、自動的に設定されているフォーカスモードに戻ります。
- MF アシストのデジタルスプリットイメージとデジタルマイクロプリズムは使用できません。**

AF+MF 時のフォーカス位置拡大表示について

フォーカス設定 > フォーカスチェックを **ON** にしてフォーカスリングを回すと、**AF モード**が**シングルポイント**のときにエリア選択位置でフォーカス位置を拡大表示できます。拡大倍率はリアコマンドダイヤルを回して切り替えます。

MF アシスト

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のピント確認方法を設定します（📖 95）。

設定	説明
デジタル スプリット イメージ	画面中央部にスプリットイメージが表示されます。 スプリットイメージの上部、中央部、下部に3本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回して、フォーカスを調整できます。スプリットイメージは モノクロ 、 カラー のいずれかを選べます。
デジタル マイクロ プリズム	ピントがずれているときは像のボケが強調されて格子模様になり、ピントが合うと格子模様が消えて像が明確になります。
フォーカス ピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーキングレベルの組み合わせを選べます。
OFF	通常表示です（MF アシストを使用しません）。



リアコマンドダイヤルの中央を長押しすると、**MF アシスト**の設定を切り替えることができます。

MF アシストフォーカスリング連動

ON にすると、マニュアルフォーカス時にフォーカスリングを回したときのみ **MF アシスト** で設定した表示が表示されます。

設定値	
ON	OFF



フォーカスリングを回してから一定時間カメラを操作しないと、**MF アシスト** が終了します。

フォーカスチェック

ON にすると、マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）にフォーカスリングを回すと自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。

設定値	
ON	OFF



- リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。
- 拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。

測光 & フォーカスエリア連動

ON にすると、**測光**が**マルチ**または**スポット**のときにフォーカスフレームの位置に連動して測光します。

設定値	
ON	OFF

ワンプッシュ AF 時の動作

フォーカスモードが **M** のときの AF ロックまたは **AF-ON** を割り当てたファンクションボタンによるピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
AF-S	ボタンを押すと、オートフォーカスでピントを合わせます。
AF-C	ボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。

 動画の設定も同時に変更されます（ 215）。

被写界深度スケール

被写界深度のスケール（ゲージ）の基準を変更できます。

設定	説明
ピクセル基準	パーソナルコンピューターなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。
フィルム基準	プリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にします。

 動画の設定も同時に変更されます（[P.215](#)）。

レリーズ優先 / フォーカス優先

シャッターボタンを全押ししたときの動作を設定できます。フォーカスモードが **AF-S** のときと、**AF-C** のときでそれぞれ個別に設定できます。

設定	説明
レリーズ	ピントが合っていないくてもすぐに撮影できます。シャッタータイミングを優先したいときに設定します。
フォーカス	ピントが合うまで撮影できません。ピントを合わせてから撮影したいときに設定します。

 **AF+MF が ON** のときは、設定にかかわらずピントが合っていないくてもすぐに撮影できます。

フォーカスリミッター

ピントを合わせる距離を制限して、ピントを合わせるスピードを速くします。

設定	説明
OFF	フォーカスリミッターを使用しません。
カスタム	最短距離と最長距離を指定してピントを合わせる範囲を設定できます。 ● 実行：設定した範囲で撮影します。 ● 設定：2つの対象物を指定して、その間の範囲にピントを合わせるように設定します。
プリセット1	あらかじめ設定されている範囲でピントを合わせて撮影します。
プリセット2	

-  ● ピントを合わせる範囲を、使用するレンズの最短撮影距離よりも手前に設定した場合、フォーカスリミッターは無効になります。
- フォーカスリミッターで設定、表示される距離は、実際の距離と異なる場合があります。
- 撮影距離範囲切り換えスイッチがあるレンズを装着すると、カメラとレンズの両方の設定が有効になります。それぞれのピントを合わせる範囲が重なるように設定してください。

-  ● **カスタム**設定時は次の操作もできます。
- タッチパネルで2つの対象物をタッチして指定することもできます。
 - 対象物を選ぶかわりにフォーカスリングを回して無限遠に合わせると、最長距離を無限遠に設定できます。
- 動画の設定も同時に変更されます（ 215）。

タッチパネルモード

液晶モニター（LCD）のタッチ操作で、ピント合わせやフォーカスエリア選択ができるように設定できます。

タッチパネルモード	意味
 ショット	シャッターボタンを押す代わりに、画面のピントを合わせたいところをタッチして撮影します。連写撮影では、画面を押し続けている間、連続撮影します。
 AF	- フォーカスモードが S (AF-S) のときは、タッチした場所にピントを合わせ、AF ロックします。AF ロックを解除するには、AF OFF アイコンをタッチします。 - フォーカスモードが C (AF-C) のときは、タッチした被写体にピントを合わせ続けます。ピント合わせの動作を解除するには、AF OFF アイコンをタッチします。 - フォーカスモードが M (MF) のときは、ワンプッシュ AF の動作になり、タッチした場所にピントを合わせます。
 AF OFF	
 エリア選択	フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動し、ピントを合わせる位置や拡大表示の位置が変更できます。
 OFF	タッチパネルモードを無効にします。



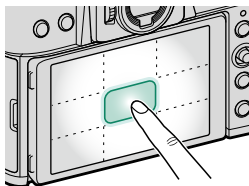
- タッチパネルの動作は AF モードによって異なります。
-  **操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 >  タッチパネル設定** が **OFF** のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。

ピント位置拡大中のタッチパネルの動作

ピント位置拡大中（フォーカスチェックがオンのとき）は、タッチパネルの動作が異なります。

■ 画面の中央をタッチしたときの動作

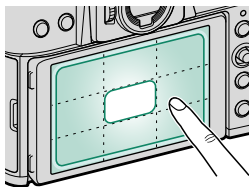
画面の中央をタッチしたときは、以下のように動作します。



タッチパネルモード	動作
ショット	AF-S/MF：撮影
AF	AF-S：AF
	MF：ワンブッシュ AF
エリア選択	AF-S：AF
	MF：ワンブッシュ AF
OFF	AF-S/MF：OFF

■ 画面の中央以外の場所をタッチしたときの動作

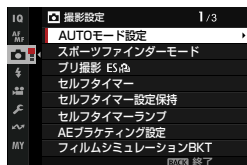
タッチパネルモードや静止画 / 動画撮影の状態に関わらず、シングルタッチすると常に拡大表示する位置が移動するだけで、他の動作は行いません。



撮影設定（静止画）

静止画撮影時の設定を設定できます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
（撮影設定）タブを選びます。



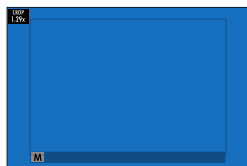
 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

AUTO モード設定

オートモード切替レバーが **AUTO** のときのシーンポジションを選べます（ 68）。

スポーツファインダーモード

撮影画面をクロップし、枠内を撮影します。
スポーツや鳥など動く被写体を撮影する場合に
便利です。



設定	説明
ON	画面内に画角 1.29 倍相当のフレーム（枠）が表示され、フレーム（枠）内をクロップして撮影します。
OFF	クロップ撮影しません。



- 撮影メニューの  画質設定 > 画像サイズは **M** サイズのみ選べます。
- 電子シャッターで撮影可能なモードのときは使用できません。

プリ撮影 ES

シャッターボタンを全押ししてから撮影画像がメモリーカードに記録されるまでのタイムラグを抑えるために、シャッターボタンを半押ししたときから電子シャッターによる撮影を開始し、全押し直前の画像から連写した画像をメモリーカードに記録します。

設定値		
ON		OFF
 - 連写設定が CH（高速連写）で ES 電子シャッター のときにプリ撮影を行います（図 176）。 - フラッシュは発光しません。		

セルフタイマー

シャッターボタンを全押ししてからセルフタイマーが開始されるまでの時間を設定できます。

- 画面には、シャッターがきれるまでの秒数が表示されます。
- タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。



設定	説明
🕒 2 秒	シャッターボタンを全押ししてから 2 秒後にシャッターがきれます。シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐときなどに使用します。セルフタイマー開始と同時にカメラ前面のセルフタイマーランプが点滅します。
🕒 10 秒	シャッターボタンを全押ししてから 10 秒後にシャッターがきれます。撮影者を含めた集合写真を撮影するときなどに使用します。カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。
OFF	セルフタイマーを使用しません。



- シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならなかったりすることがあります。
- セルフタイマー設定は、電源をオフにすると自動的に解除されます。

セルフタイマー設定保持

ON にすると、電源をオフにしてもセルフタイマーの設定が維持されます。

設定値	
ON	OFF

セルフタイマーランプ

ON にすると、セルフタイマー撮影中にセルフタイマーランプが点滅します。
夜景を撮影するときなどは **OFF** に設定してください。

設定値	
ON	OFF

AE ブラケットング設定

AE ブラケットング撮影の撮影コマ数などを設定できます。

サブメニュー	内容
コマ数 / ステップ数設定	AE ブラケットングで撮影するコマ数と明るさの変化量（ステップ数）を設定できます。 • コマ：撮影するコマ数を選びます。 • ステップ：明るさの変化量を選びます。
1 コマ / 連続	• 1 コマ：シャッターボタンを押すたびに 1 枚ずつ撮影します。 • 連続：シャッターボタンを 1 度押すと、コマ数 / ステップ数設定の設定にしたがって連続撮影します。
撮影順序設定	AE ブラケットングの撮影順序を設定できます。

フィルムシミュレーション BKT

フィルムシミュレーション BKT 撮影する 3 枚の画像に対するフィルムシミュレーションの設定をそれぞれ（フィルム 1、フィルム 2、フィルム 3）設定します（ 130）。

フォーカス BKT 設定

フォーカス BKT 撮影の方法を**マニュアル**か**AUTO**で選べます（ 107）。

測光

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します（ 99）。

シャッター方式

使用するシャッター方式を変更できます。電子シャッターを使用すると、シャッター音を消して撮影することもできます。

設定	説明
MS メカニカルシャッター	メカニカルシャッターで撮影します。
ES 電子シャッター	電子シャッターで撮影します。
EF 電子先幕シャッター	電子先幕シャッターで撮影します。
ME メカニカル + 電子	カメラが状況に応じて メカニカル または 電子シャッター で撮影します。
 電子先幕 + メカニカル	カメラが状況に応じて 電子先幕 または メカニカル で撮影します。
 電子先幕 + メカニカル + 電子	カメラが状況に応じて 電子先幕 、 メカニカル 、 電子シャッター のいずれかを使って撮影します。

ES 電子シャッター、**ME** メカニカル + 電子、 **電子先幕 + メカニカル + 電子**のいずれかに設定すると、シャッタースピードダイヤルでシャッタースピードを**4000**にしたあとにリアコマンドダイヤルで、より高速のシャッタースピードを選べます。



- 電子シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。
 - 動いている被写体を撮影すると、画像が歪んで撮影される場合があります。
 - 高速シャッター使用時においても、手持ち撮影すると画像が歪んで撮影される場合があります。三脚のご使用をおすすめします。
 - 瞬間的な光や、蛍光灯などの照明下では、帯状のムラが撮影されることがあります。
 - シャッター音を消して撮影できますが（ 297）、被写体のプライバシーや肖像権などに十分ご配慮の上、お客様の責任でお使いください。
- 電子先幕シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。
 - シャッタースピードが高速になるほど露光ムラが大きくなり、被写体のボケ像が欠けて写ることがあります。



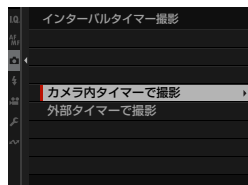
電子シャッター使用時は、以下の機能制限があります。

- ISO 感度は 125 ～ 12800 に制限されます。
- 電子シャッターで撮影されるときは、長秒時ノイズ低減は機能しません。
- フラッシュは発光しません。

インターバルタイマー撮影

設定した時間ごとに自動撮影するインターバルタイマー撮影の**撮影間隔**と**撮影回数**を設定できます。

- 1 撮影メニューから **撮影設定** > **インターバルタイマー撮影**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- 2 カメラ内タイマーで撮影を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。



タイマー付きリモートリリースで撮影するときは**外部タイマーで撮影**を選んでください。撮影画面に戻り、リモートリリースで撮影ができます。

- 3 撮影間隔と撮影回数を設定し、**MENU/OK** ボタンを押します。

開始時間設定画面が表示されます。



4 開始時間を設定し、MENU/OK ボタンを押します。

インターバルタイマー撮影が開始されます。



! バルブ撮影、多重露出撮影のインターバルタイマー撮影はできません。また、連写でインターバルタイマー撮影すると、1回の撮影は1コマ撮影となります。

- 📌** 三脚のご使用をおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れに注意してください。
- インターバルタイマー撮影中に **▶** ボタンを押すと、撮影した画像を確認できます。もう一度 **▶** ボタンを押すか、撮影の時間になると、撮影画面に戻ります。
- インターバルタイマー撮影中は画面の表示が消えます。撮影の数秒前になると画面表示が復帰します。
- 画面の表示が消えているときにシャッターボタンを押すと、画面表示が復帰します。
- インターバルタイマー撮影中で画面の表示が消えているときは、インジケータランプが緑色に点滅します。
- 撮影回数を ∞ に設定すると、インターバルタイマー撮影設定前の画面に表示されていた撮影可能枚数まで撮影します。

インターバルタイマー撮影露出平準化

ON にすると、インターバルタイマー撮影時にカメラが自動で露出を調整し、直前に撮影された画像と明るさが大きく変化しないようにします。

設定値

ON

OFF



- 被写体の明るさが大きく変化するとき、露出が安定しないように見えることがあります。その場合、**インターバルタイマー撮影の撮影間隔**を短くすることをおすすめします。
- マニュアル（**M**）撮影のときは、**感度**が **AUTO** のときのみ露出の平準化を行います。

インターバルタイマー撮影間隔優先

ON にすると、インターバルタイマー撮影時にシャッタースピードが撮影間隔よりも長くないよう、カメラが自動でシャッタースピードを調整します。

設定値

ON

OFF



シャッタースピードが **A**（オート）のときのみ有効です。

フリッカー低減

蛍光灯などの照明下で画面や画像に発生するちらつき（フリッカー現象）を低減します。

設定	説明
全コマ	全コマでフリッカー低減処理を行います。1コマ目のみでフリッカー低減処理を行う場合に対し、連写速度が遅くなります。
1コマ目のみ	1コマ目のみでフリッカー低減処理を行い、2枚目以降（連写時）はその処理を継続します。連写中にフリッカーが見えてきてしまうことがあります。
OFF	フリッカー低減を行いません。



- フリッカー低減を使用すると、撮影にかかる時間が長くなります。
- 電子シャッターでは、**フリッカー低減が OFF** になります。
- 動画撮影では、使用できません。

フリッカーレス S.S. 設定

ON にすると、LED 照明などで発生するフリッカー現象の影響を低減するために、通常よりもシャッタースピードを細かく設定することができます。

設定値	
ON	OFF



撮影モードが **S** または **M** のときのみ有効です。

ブレ防止モード

手ブレや被写体ブレを軽減します。

設定	説明
 1 ● 常時+ 動き認識	常に手ブレ軽減を行います。また、動くものを認識するとシャッタースピードを制御し、被写体ブレを軽減します。
 1 常時	常に手ブレ軽減を行います。
 2 ● 撮影時+ 動き認識	撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。フォーカスモードが C のときは、シャッターボタン半押し時も手ブレを軽減します。また、動くものを認識するとシャッタースピードを制御し、被写体ブレを軽減します。
 2 撮影時	撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。フォーカスモードが C のときは、シャッターボタン半押し時も手ブレを軽減します。
OFF	手ブレ軽減を使用しません。三脚使用時は OFF にすることをおすすめします。



- 感度を固定値に設定しているときは、動き認識を行いません。また、その他の設定によって動き認識の設定が無効になる場合があります。被写体の速さや明るさによっては、被写体ブレ軽減の効果が得られない場合があります。
- レンズに手ブレ補正のスイッチ（OIS スイッチ）がある場合、レンズ側の設定が優先されます。
- 手ブレ補正機能が動作すると、振動や動作音を感じる場合があります。

感度

光に対する ISO 感度を変更できます（ 97）。

デジタルテレコン

拡大した画像をデジタル超解像処理によって撮影できます。

設定	説明
2.0x	画像を 2 倍に拡大して撮影できます。画像は切り抜かれ、画像サイズが L や M の場合は自動的に S に変更されます。
1.4x	画像を 1.4 倍に拡大して撮影できます。画像は切り抜かれ、画像サイズが L の場合は自動的に M に変更されます。
OFF	デジタルテレコンを使用しません。

 デジタルテレコンを使うと画質が劣化する場合があります。

 連写で 1.29x クロップの連写速度を選んでいるときや、**スポーツファインダーモード**を **ON** にしているときは、デジタルテレコンは使用できません。

ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーションをインストールしておく必要があります。

 スマートフォンアプリケーションについては、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/>

フラッシュ設定（静止画）

静止画撮影時のフラッシュに関する設定を変更できます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
⚡（フラッシュ設定）タブを選びます。



フラッシュ機能設定

フラッシュの発光モードや発光量または発光強度などを設定できます。使用するフラッシュによって設定できる項目が異なります。



各フラッシュの設定は「オプション品・外部機器の使い方」の「クリップオンフラッシュ」をご覧ください（[P.357](#)）。

赤目補正

暗い場所でフラッシュ撮影したときの「赤目現象」を軽減します。

設定	説明
赤目抑制発光	赤目軽減を目的とした予備フラッシュ発光による赤目補正を行います。
OFF	赤目補正を行いません。

赤目抑制発光は、TTL モードで使用できます。

TTL-LOCK モード

TTL ロックの動作方法を設定します。TTL ロックを使用すると、TTL 発光による複数撮影においてフラッシュの発光量を一定にするためにプレ発光による演算結果をロックして撮影条件や調光を保つことができます。

設定	説明
直前の発光条件でロック	カメラが記憶している直前の撮影で使用された TTL 発光の撮影条件でロックします。
調光発光してロック	調光発光して、その調光結果でロックします。



- TTL ロックを使用するには、ファンクションボタンに **TTL-LOCK** を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、TTL ロックを設定したり、解除したりすることができます（[p.339](#)）。
- ロックしていても調光補正はできません。
- **直前の発光条件でロック**を設定していても直前の発光条件がないときは、エラーメッセージが表示されます。

LED ライト設定

フラッシュの LED ビデオライトを静止画撮影時の AF 補助光やキャッチライトとして使用するかどうかを設定できます。LED ライトを搭載したクリップオンフラッシュを使用しているときに設定できます。

設定	説明
キャッチライト	キャッチライトとしてのみ使用します。
AF 補助光	AF 補助光としてのみ使用します。
AF 補助光 + キャッチライト	AF 補助光とキャッチライトとして使用します。
OFF	どちらも使用しません。



フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

コマンダー設定

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのコマンダーフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。

設定	説明
Gr A	A グループに設定します。
Gr B	B グループに設定します。
Gr C	C グループに設定します。
OFF	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。



フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

CH 設定

コマンダーフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。

設定値			
CH1	CH2	CH3	CH4

動画設定（静止画）

静止画撮影時に**動画リリース**を割り当てたファンクションボタンを押して動画を撮影するときの設定ができます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**（動画設定）** タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



動画モード

動画撮影メニューと共通のメニューです（ 193）。設定を変更すると動画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

ハイスピード撮影

動画撮影メニューと共通のメニューです（ 194）。設定を変更すると動画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

メディア記録設定

動画撮影メニューと共通のメニューです（ 195）。設定を変更すると動画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

ブレ防止モード

動画撮影メニューと共通のメニューです（ 202）。設定を変更すると動画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

ブレ防止モードブースト

動画撮影メニューと共通のメニューです（ 202）。設定を変更すると動画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

オーディオ設定

動画撮影時の音声に関する設定を変更できます。

内蔵マイクレベル設定

内蔵マイクの音量を調節できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
マニュアル	マイクレベルを 25 段階から設定できます。
OFF	マイクレベルをオフにします。

外部マイクレベル設定

外部マイクの音量を調節できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
マニュアル	マイクレベルを 25 段階から設定できます。
OFF	マイクレベルをオフにします。

マイク端子設定

マイク / リモートリリース端子に取り付ける機器を設定します。

設定	説明
マイク	外部マイクを直接取り付けるときに選びます。
ライン	ライン出力する外部音声機器を取り付けるときに選びます。

マイクレベルリミッター

マイクへの音声信号の過大入力による音割れを抑制します。

設定値	
ON	OFF

風音低減

動画撮影時に風音によるノイズを低減して録音します。

設定値	
ON	OFF

ローカットフィルター

動画撮影時に低域ノイズをカットして録音します。

設定値	
ON	OFF

ヘッドホン音量

ヘッドホンの音量を設定します。

設定	説明
0	音量をオフに設定します。
1～10	音量を1～10に設定します。

XLR マイクアダプター設定

XLR マイクアダプターを使用しているときに、マイク入力チャンネルなどを設定できます。

サブメニュー	内容
マイク入力チャンネル	カメラの内蔵マイクも使用して 4ch 録音をするか、XLR マイクアダプターのマイクのみで 2ch 録音をするかを設定できます。 • 4ch XLR+ カメラ: カメラの内蔵マイクも使用して、4ch 録音をします。 • 2ch XLR のみ: XLR マイクアダプターに取り付けられた外部マイクのみで 2ch 録音をします。
4ch 音声モニタリング	動画撮影中にヘッドホンなどでモニタリングする音声を設定できます。 • XLR: XLR マイクアダプターに取り付けられた外部マイクの音声をモニタリングします。 • カメラ: カメラの内蔵マイクの音声をモニタリングします。
HDMI4ch 音声出力	HDMI 端子に取り付けられた外部レコーダーに出力する音声を設定できます。 • XLR: XLR マイクアダプターに取り付けられた外部マイクの音声を出力します。 • カメラ: カメラの内蔵マイクの音声を出力します。



- カメラのマイク端子に外部マイクが取り付けられているときは、内蔵マイクの代わりに外部マイクの音声を使用します。
- 4ch 録音は動画のファイル形式が MOV のときのみ行えます。

マイク / リモートリリース設定

動画撮影メニューと共通のメニューです（📖 221）。設定を変更すると動画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

📹 REC 枠表示

動画撮影メニューと共通のメニューです（📖 204）。設定を変更すると動画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

動画設定（動画）

動画撮影に関する設定を変更できます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
（動画設定）タブを選びます。



動画設定一覧

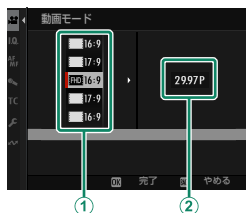
現在の動画撮影の設定を一覧表示します。



動画のクイックメニューが表示されているときに **DISP/BACK** ボタンを押しても表示できます。

動画モード

撮影する動画の画像サイズとアスペクト比、フレームレートを変更できます。



- 1 撮影メニューから **動画設定** > **動画モード** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 2 フォーカスレバーの上下で動画の画像サイズとアスペクト比を選び (①)、フォーカスレバーを右に動かします。
 - **6.2K 16:9** を選ぶと、アスペクト比 16:9 の 6.2K 動画を撮影します。
 - **4K 16:9**、**DCI 17:9** を選ぶと、それぞれアスペクト比 16:9 または 17:9 の 4K 高画質動画を撮影します。
 - **4K 16:9**、**DCI 17:9** を選ぶと、それぞれアスペクト比 16:9 または 17:9 の 4K 動画を撮影します。
 - **FHD 16:9**、**FHD 17:9** を選ぶと、それぞれアスペクト比 16:9 または 17:9 の FULL HD 動画を撮影します。
- 3 フレームレートを選び (②)、**MENU/OK** ボタンを押します。

設定値					
23.98P	24P	25P	29.97P	50P	59.94P

 フレームレートは、動画モードによって選択できる設定値が異なります。

ハイスピード撮影

ハイスピード動画を撮影するかどうかを設定できます。素早く動く被写体の撮影や、肉眼では確認しづらい一瞬のアクションもスローモーションのような映像で楽しむことができます。**ON** を選べると撮影時と再生時のフレームレートをそれぞれ設定できます。



ON HDMI ONLY を選べると HDMI 端子に接続した外部レコーダーにのみ出力することができます。このとき、再生時のフレームレートは選べません。

画像サイズ

設定値

FHD 16:9

FHD 17:9

撮影時

設定値

100P

120P

200P

240P

再生時

設定値

23.98P

24P

25P

29.97P

50P

59.94P



- 音声は記録されません。
- 撮影 1 秒に対し、設定されたビットレートを目標に圧縮してメモリーカードに記録します。
- 再生フレームレートによって選択できる撮影フレームレートが変わります。

セルフタイマー

シャッターボタンを全押ししてから録画が開始されるまでの時間を設定できます。

- 画面には、シャッターがきれるまでの秒数がカウントダウン表示されます。
- タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。



設定値			
3 秒	5 秒	10 秒	OFF

メディア記録設定

動画の記録先やファイル形式、圧縮方式、ビットレートについての設定ができます。

動画の記録先

撮影した動画の記録先や記録方法、出力先を設定できます。

設定	説明
SD	メモリーカードにのみ保存します。
HDMI	HDMI 端子に接続した機器にのみ出力します。

ファイル形式、圧縮方式

動画のファイル形式や、圧縮方式を設定できます。

設定	説明
H.264 ALL-I 420 MOV	再生互換性が高い圧縮方式です。4:2:0 8bit データを ALL-I で圧縮します。
H.264 LongGOP 420 MOV	再生互換性が高い圧縮方式です。4:2:0 8bit データを Long GOP で圧縮します。
H.264 LongGOP 420 MP4	WEB へのアップロードなどに適した動画を撮影できます。
H.265 ALL-I 420 MOV	H.264 よりも圧縮効率が高い圧縮方式です。4:2:0 10bit データを ALL-I で圧縮します。
H.265 LongGOP 420 MOV	H.264 よりも圧縮効率が高い圧縮方式です。4:2:0 10bit データを Long GOP で圧縮します。
H.265 ALL-I 422 MOV	H.264 よりも圧縮効率が高い圧縮方式です。4:2:2 10bit データを ALL-I で圧縮します。
H.265 LongGOP 422 MOV	H.264 よりも圧縮効率が高い圧縮方式です。4:2:2 10bit データを Long GOP で圧縮します。



- HDMI 端子に接続した機器には、H.264 の場合は 4:2:2 8bit、H.264 以外の場合は 4:2:2 10bit で出力します。
- **ALL-I** は撮影したコマを 1 コマずつ圧縮する方式です。データ量は大きくなりますが、各コマのデータが保存されているので編集を前提とした動画撮影に適しています。
- **Long GOP** は良好な画質と高い圧縮率を備えた圧縮方式です。データ量は小さく、長時間の撮影に適しています。
- **動画モード、ハイスピード撮影、F-Log/HLG 撮影** の設定によって、設定できるファイル形式や圧縮方式が異なります。

ビットレート

動画のビットレートを設定できます。

設定値			
50Mbps	100Mbps	200Mbps	360Mbps



ビットレートはハイスピード動画や圧縮方式の設定によって選択できる設定値が異なります。映像によっては設定値より低い値となる場合があります。

HDMI 出力設定

HDMI 端子に接続した機器に撮影画面を出力する場合の設定ができます。

HDMI 出力情報表示

ON にすると、動画を HDMI で出力したときに、カメラに表示されている情報表示をそのまま表示します。

設定値	
ON	OFF

HDMI レックコントロール

動画撮影時に、シャッターボタンと連動して動画の開始 / 停止制御信号を HDMI 機器に送るかどうかを設定します。

設定値	
ON	OFF

RAW 出力設定

HDMI 端子に接続した外部レコーダー用に RAW 動画を出力するかどうかを設定します。

設定	説明
RAW 出力設定 ATOMOS	Atomos 社製の外部レコーダー用の RAW 動画を出力します。
RAW 出力設定 Blackmagic	Blackmagic design 社製の外部レコーダー用の RAW 動画を出力します。
OFF	RAW 動画を出力しません。



- 動画の画像サイズは自動的に 6.2K に変更されます。
- RAW 出力時はメモリーカードに記録できません。
- **RAW** で撮影された映像は、カメラ内部の画像補正処理が反映されません。
- ISO 感度は ISO 800 以上、ISO 12800 以下になります。
- 外部レコーダーの表示画質は、外部レコーダーの仕様にもとづいて RAW から作られる映像であり、最終的なポストプロダクションなどで得られる映像を再現できない場合があります。
- HDMI 出力に **RAW** を選んだときは、カメラの画面の拡大表示機能は使用できません。
- **RAW** で撮影された映像を、対応している外部レコーダー以外で HDMI 出力すると、モザイク画像が表示され正しく表示できません。
- RAW 出力時は動画モード、ハイスピード撮影は無効になります。

動画クロップ倍率固定モード

動画のクロップ倍率を 1.25 倍に固定します。動画設定を変更したときに撮影範囲を合わせやすくなります。

設定値	
ON	OFF

F-Log/HLG 撮影

F-Log 撮影および HLG（Hybrid Log-Gamma）による映像をどのように記録または HDMI 出力するかを設定します。

設定	説明
  	メモリーカードと外部レコーダーの両方にフィルムシミュレーション映像が記録・出力されます。
 	メモリーカードと外部レコーダーの両方に F-Log で撮影された映像が記録・出力されます。
 	メモリーカードと外部レコーダーの両方に F-Log2 で撮影された映像が記録・出力されます。
 	メモリーカードと外部レコーダーの両方に HLG で撮影された映像が記録・出力されます。



- **F-Log** および **FLog2** は、撮影後の映像処理（ポストプロダクション）を前提としたやわらかいガンマカーブで、広い色空間の映像になります。
FLog2 は **F-Log** よりもダイナミックレンジが広いガンマカーブです。
F-Log は ISO 感度が ISO 500 以上、ISO 12800 以下、**FLog2** は ISO 感度が ISO 1000 以上、ISO 12800 以下になります。
- **HLG**（Hybrid Log-Gamma）は、国際標準規格（ITU-R BT2100）に準拠した動画撮影方式のひとつです。HLG 方式で記録した映像を HLG 対応ディスプレイで再生することで、明暗差の大きいシーンや、彩度が高い被写体においてリアリティのある高品位な映像を表現できます。ISO 感度は ISO 800 以上、ISO 12800 以下になります。
- フィルムシミュレーションの映像（）は、撮影メニューの **10 画質設定** > **フィルム シミュレーション** で選んでいる設定になります。

データレベル設定

撮影する動画の信号値の範囲を設定できます。

設定	説明
ビデオレンジ	動画の階調を 8bit の場合は 16 ～ 235、10bit の場合は 64 ～ 940 の制限された範囲で記録します。
フルレンジ	動画の階調を 8bit の場合は 0 ～ 255、10bit の場合は 0 ～ 1023 の範囲で記録します。

測光

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（ 99）。

フリッカーレス S.S. 設定

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（ 181）。

設定値	
ON	OFF

ブレ防止モード

手ブレ補正のモードを設定します。

設定	説明
IBIS/OIS	センサーシフト式 (IBIS) と光学式 (OIS) のブレ補正を行います。OIS を搭載していないレンズを使用している場合は、IBIS でブレ補正を行います。
IBIS/OIS + DIS	IBIS と OIS に加え、電子式 (DIS) のブレ補正を行います。 動画モード に応じて画角がクロップされます。大きな手ブレを補正することができます。
OFF	ブレ補正を行いません。 OFF のときは、  が表示されます。



- レンズに手ブレ補正のスイッチ (OIS スイッチ) がある場合、レンズ側の設定が優先されます。
- 手ブレ補正機能が動作すると、振動や動作音を感じることがあります。

ブレ防止モードブースト

手ブレ補正の強さを設定します。

設定	説明
ON	構図を固定して撮影する場合に適しています。
OFF	構図を変えながら撮影する場合に適しています。



ブレ防止モードブーストを割り当てたファンクションボタンを押すと、動画撮影中に設定を切り替えることができます (p. 339)。

感度

光に対する ISO 感度を変更できます。

設定	説明
H (25600)	拡張感度を設定できます。標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。
125 ～ 12800	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。
AUTO	被写体の明るさに応じて ISO 感度（ISO125 ～ ISO12800）が自動的に設定されます。

ゼブラ設定

動画モードの画面に、露出オーバーで白とびが発生しそうな高輝度部分を縞状のパターン（ゼブラ）で表示できます。

設定	説明
ゼブラ右	 右上がりのゼブラ表示になります。
ゼブラ左	 左上がりのゼブラ表示になります。
切	ゼブラ表示しません。

ゼブラレベル

ゼブラ設定のゼブラレベル（輝度レベル）を設定します。

設定値											
50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	

動画専用操作モード

ON にすると、コマンドダイヤルとタッチ操作で撮影時の設定を変更できます。動画撮影時、カメラの操作音を記録したくないときに便利です (📖 30)。

設定値	
ON	OFF

REC 枠表示

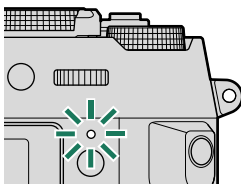
ON にすると、動画の撮影中であることを示す赤い枠を画面に表示します。

設定値	
ON	OFF

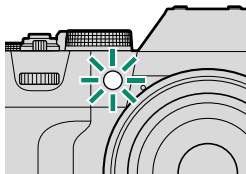
 ハイスピード撮影時は緑色の枠が表示されます。

タリーランプ

動画撮影中に点灯するランプの切り替え（インジケータランプまたは AF 補助光ランプ）や点灯または点滅の設定を変更できます。



インジケータランプ



AF 補助光ランプ

設定	説明
前面 OFF 背面 	動画撮影中はインジケータランプが点灯します。
前面 OFF 背面 	動画撮影中はインジケータランプが点滅します。
前面  背面 	動画撮影中はインジケータランプと AF 補助光ランプが点灯します。
前面  背面 OFF	動画撮影中は AF 補助光ランプが点灯します。
前面  背面 	動画撮影中はインジケータランプと AF 補助光ランプが点滅します。
前面  背面 OFF	動画撮影中は AF 補助光ランプが点滅します。
前面 OFF 背面 OFF	動画撮影中はインジケータランプと AF 補助光ランプは消灯します。

カスタム選択

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、静止画とは別に設定してください (📖 143)。

カスタム登録 / 編集

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、静止画とは別に設定してください (📖 144)。

カスタム登録内容の自動更新

静止画と共通のメニューです (📖 149)。

ワイヤレス通信

静止画と共通のメニューです (📖 183)。

画質設定（動画）

動画撮影時の画質に関する機能を設定できます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**IQ**（画質設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



フィルムシミュレーションダイヤル設定

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（ 129）。

フィルム シミュレーション

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（ 130）。

モノクローム カラー

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（ 132）。

ホワイトバランス

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（ 134）。

ダイナミックレンジ

撮影する動画のダイナミックレンジを変更できます。

設定	説明
100 100%	それぞれの設定については「ダイナミックレンジ」(138) を参照してください。
200 200%	
400 400%	



- 動画撮影時のダイナミックレンジには、**AUTO**（自動調整）はありません。
- 200 200%は ISO 感度が ISO 250 以上 ISO 12800 以下、 400 400%は ISO 500 以上 ISO 12800 以下のときに設定できます。
- 動画設定 > **F-Log/HLG** 撮影が の場合に設定できます。

トーンカーブ

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (140)。

カラー

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (140)。

シャープネス

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（ 140）。

高感度ノイズ低減

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（ 141）。

フレーム間ノイズリダクション

AUTO にすると、撮影条件に応じて自動的にフレーム間のノイズを軽減します。

設定値	
AUTO	OFF

 カメラを動かした場合や動いている被写体を撮影した場合は、残像が出ることがあります。

周辺光量補正

ON にすると、動画の周辺光量を補正します。

設定値

ON

OFF



- 別売のマウントアダプターを使用して、カメラ側に情報を送ることができないレンズを装着した場合、ON にすると、撮影メニューの  画質設定 >  マウントアダプター設定 > 周辺光量補正 (151) で設定した内容で、動画の周辺光量を補正します。
- 撮影した動画に縞模様が発生する場合は OFF にしてください。

マウントアダプター設定

静止画と共通のメニューです (149)。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

フォーカス設定（動画）

動画撮影時のフォーカスに関する機能を設定できます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**AF**（フォーカス設定）タブを選びます。



メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

フォーカスエリア選択

フォーカスモードが **S** または **C** のときのピントを合わせるエリアの位置を変更できます。フォーカスモードが **M** のときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます（[図 88](#)）。

❗ 動画撮影中はフォーカスエリアのサイズ変更はできません。

AF モード

動画撮影時のピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
オートエリア	ピントを合わせるエリアをカメラが自動的に選びます。
ワイド/ トラッキング	フォーカスモードが C のときにフォーカスレバーを中央に押すか画面をタッチすると、被写体を自動で追尾します。フォーカスモードが S のときはピントを合わせる被写体をカメラが自動的に選びます。
エリア選択	ピントを合わせるエリアを選べます。

AF-C カスタム設定

動画撮影時にフォーカスモードを**C**に設定したときのピントの追従性を設定します。

被写体保持特性

AF エリアに距離差のある被写体以外のものが入ってきた場合、それまで追っていた被写体を保持するかどうかを決める特性です。被写体保持特性については、「AF-C カスタム設定」の「各設定の特性について」の「被写体保持特性」(154)を参照してください。

設定値

0**1****2****3****4**

- 数値が大きいくほど、意図しない被写体にピントが合ってしまうと、ピントを合わせたい被写体になかなか切り替わらない場合があります。
- 数値が小さいほど、AF エリアに入ってきた意図しない被写体に切り替わる場合があります。

AF 速度

AF でピントを合わせる速度を調整します。速度を速くしたいときは「+」側に、遅くしたいときは「-」側に設定します。

設定値

-5**-4****-3****-2****-1****0****+1****+2****+3****+4****+5**

フォーカスポイント循環

静止画と共通のメニューです (158)。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

顔検出 / 瞳 AF 設定

動画撮影時の顔検出の設定ができます。

設定	説明
顔検出 ON	設定については「  顔検出 / 瞳 AF 設定」（  160）を参照してください。
OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。

 動画撮影時はフォーカスモード切換レバーを **S** にしても、 フォーカス設定 >  顔検出 / 瞳 AF 設定が顔検出 ON のときは、自動的に **C**（コンティニュアス AF）になります。また、フォーカスモードが **M** のときは、 顔検出 / 瞳 AF 設定を顔検出 ON にしても顔検出は行われません。

被写体検出 AF 設定

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（ 162）。

 動画撮影時はフォーカスモード切換レバーを **S** にしても、 フォーカス設定 >  被写体検出 AF 設定が被写体検出 ON のときは、自動的に **C**（コンティニュアス AF）になります。また、フォーカスモードが **M** のときは、 被写体検出 AF 設定を被写体検出 ON にしても被写体検出は行われません。

AF+MF

ON にすると、フォーカスモードが **S** や **C** のときにマニュアルフォーカスで撮影できます。**AFON** ボタンを押すと解除できます。

設定値	
ON	OFF

MF アシスト

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のピント確認方法を設定します（ 95）。

設定	説明
フォーカスピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーキングレベルの組み合わせを選べます。
フォーカスメーター	画面上の矢印の向きで被写体の前後どちらにピントが合っているかを表示します。
フォーカスメーター + ピーキング	フォーカスメーターとフォーカスピーキングの両方を使用してピントが確認できます。
フォーカスマップ	ピントが合っている場所や外れている場所を示す指標を画面上に表示します。
OFF	通常表示です（MF アシストを使用しません）。

MF アシストフォーカスリング連動

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（ 166）。

フォーカスチェック

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（ 166）。

ワンプッシュ AF 時の動作

静止画と共通のメニューです（ 167）。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

被写界深度スケール

静止画と共通のメニューです（ 168）。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

フォーカスリミッター

静止画と共通のメニューです（ 169）。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

タッチパネルモード

液晶モニター（LCD）のタッチ操作で、ピント合わせやフォーカスエリア選択ができるように設定できます。

タッチパネルモード	意味
 AF	ピントを合わせたいところの画面をタッチして、ピント合わせを行います。シャッターボタンを全押しすると動画撮影を開始し、もう一度全押しすると動画撮影を終了します。 - フォーカスモードが S（AF-S）のときは、動画撮影中にもう一度画面をタッチすると、タッチした場所でピントを合わせ直します。 - フォーカスモードが C（AF-C）のときは、動画撮影中、タッチした場所にピントを合わせ続けます。 - フォーカスモードが M（MF）のときは、動画スタンバイ中はタッチした場所でワンプッシュ AF の動作を行い、動画撮影中はタッチした場所にフォーカスエリアを移動します。
 エリア選択	フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動します。シャッターボタンを全押しすると動画撮影を開始し、もう一度全押しすると動画撮影を終了します。 - フォーカスモードが S（AF-S）のときは、動画撮影中にもう一度画面をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動します。ピント合わせをする場合は、AF-ON を割り当てたボタンを押してください。 - フォーカスモードが C（AF-C）のときは、動画撮影中、タッチした場所にピントを合わせ続けます。 - フォーカスモードが M（MF）のときは、タッチした場所にフォーカスエリアを移動させます。
 OFF	タッチパネルモードを無効にします。



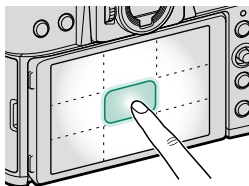
- タッチパネルの動作は AF モードによって異なります。
-  **操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 >  タッチパネル設定が OFF のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。**

ピント位置拡大中のタッチパネルの動作

ピント位置拡大中（フォーカスチェックがオンのとき）は、タッチパネルの動作が異なります。

■ 画面の中央をタッチしたときの動作

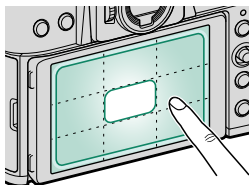
画面の中央をタッチしたときは、以下のように動作します。



タッチパネルモード	動作
AF	AF-S : AF
	MF : ワンプッシュ AF
エリア選択	AF-S : AF
	MF : ワンプッシュ AF
OFF	AF-S/MF : OFF

■ 画面の中央以外の場所をタッチしたときの動作

タッチパネルモードや静止画 / 動画撮影の状態に関わらず、シングルタッチすると常に拡大表示する位置が移動するだけで、他の動作は行いません。



フォーカスチェックロック

拡大表示中に動画撮影を開始したときに、拡大表示を維持したまま撮影するかどうかを設定できます。

設定値

ON

OFF

オーディオ設定（動画）

動画撮影時の音声に関する設定を変更できます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
🔊（オーディオ設定）タブを選びます。



内蔵マイクレベル設定

内蔵マイクの音量を調節できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
マニュアル	マイクレベルを 25 段階から設定できます。
OFF	マイクレベルをオフにします。

外部マイクレベル設定

外部マイクの音量を調節できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
マニュアル	マイクレベルを 25 段階から設定できます。
OFF	マイクレベルをオフにします。

マイク端子設定

マイク / リモートレリーズ端子に取り付ける機器を設定します。

設定	説明
マイク	外部マイクを直接取り付けるときに選びます。
ライン	ライン出力する外部音声機器を取り付けるときに選びます。

マイクレベルリミッター

マイクへの音声信号の過大入力による音割れを抑制します。

設定値	
ON	OFF

風音低減

動画撮影時に風音によるノイズを低減して録音します。

設定値	
ON	OFF

ローカットフィルター

動画撮影時に低域ノイズをカットして録音します。

設定値	
ON	OFF

ヘッドホン音量

ヘッドホンの音量を設定します。

設定	説明
0	音量をオフに設定します。
1 ～ 10	音量を 1 ～ 10 に設定します。

マイク / リモートレリーズ設定

マイク / リモートレリーズ端子にマイクを取り付ける場合は  **マイク**、リモートレリーズを取り付ける場合は  **リモートレリーズ**を選択してください。

設定値	
 マイク	 リモートレリーズ

XLR マイクアダプター設定

XLR マイクアダプターを使用しているときに、マイク入力チャンネルなどを設定できます。

サブメニュー	内容
マイク入力チャンネル	カメラの内蔵マイクも使用して 4ch 録音をするか、XLR マイクアダプターのマイクのみで 2ch 録音をするかを設定できます。 • 4ch XLR+ カメラ: カメラの内蔵マイクも使用して、4ch 録音をします。 • 2ch XLR のみ: XLR マイクアダプターに取り付けられた外部マイクのみで 2ch 録音をします。
4ch 音声モニタリング	動画撮影中にヘッドホンなどでモニタリングする音声を設定できます。 • XLR: XLR マイクアダプターに取り付けられた外部マイクの音声をモニタリングします。 • カメラ: カメラの内蔵マイクの音声をモニタリングします。
HDMI4ch 音声出力	HDMI 端子に取り付けられた外部レコーダーに出力する音声を設定できます。 • XLR: XLR マイクアダプターに取り付けられた外部マイクの音声を出力します。 • カメラ: カメラの内蔵マイクの音声を出力します。

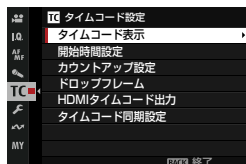


- カメラのマイク端子に外部マイクが取り付けられているときは、内蔵マイクの代わりに外部マイクの音声を使用します。
- 4ch 録音は動画のファイル形式が MOV のときのみ行えます。

タイムコード設定（動画）

動画撮影時の時間を表すタイムコード（時間 / 分 / 秒 / フレーム）についての設定ができます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**TC**（タイムコード設定）タブを選びます。



タイムコード表示

ON にすると、動画撮影画面や再生画面にタイムコードを表示します。

設定値	
ON	OFF

開始時間設定

タイムコード値を調整できます。

設定	説明
手動設定	タイムコードの開始時間を手動で設定できます。
現在時刻	現在のカメラの時間 / 分 / 秒がタイムコードの開始時間になります。
リセット	00 時間 00 分 00 秒にタイムコードをリセットします。

カウントアップ設定

タイムコードのカウントを動画撮影中のみ行うか、常時カウントを行うかを選べます。

設定	説明
レックラン	動画撮影中のみ、タイムコードのカウントを行います。
フリーラン	常時タイムコードのカウントを行います。

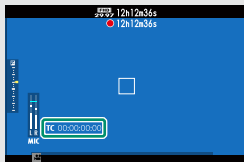
ドロップフレーム

動画のフレームレートが **59.94P** と **29.97P** の場合に、タイムコードのカウントと実際の映像時間に生じた小数点以下の部分の差のズレを補正するためにタイムコードを間引く（ドロップフレームを行う）かどうかを設定できます。

設定	説明
ON	ドロップフレームを行います。タイムコードと映像時間を厳密に合わせたいときに選びます。
OFF	ドロップフレームを行いません。



- ドロップフレームの設定により、タイムコードの表示が異なります。



TC 00:00:00:00

ON

TC 00:00:00:00

OFF

- 動画のフレームレートが **23.98P** の場合、ドロップフレームは常に **OFF** になります。

HDMI タイムコード出力

動画を HDMI で出力するときに、タイムコードを付加するかどうかなを選びます。

設定値

ON

OFF

タイムコード同期設定

外部機器とタイムコードを同期するかどうかを設定できます。

ATOMOS AirGlu BT と接続

ON にすると、ペアリングされている外部機器と接続してタイムコードを同期します。スマートフォンと同時接続できないため、画面にスマートフォンアイコンが黄色に点灯します。

設定値	
ON	OFF

ペアリング登録

ATOMOS AirGlu BT とカメラをペアリングします。

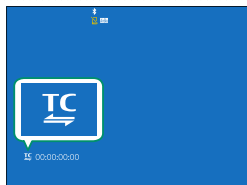
- ATOMOS AirGlu BT と接続すると、画面にアイコンが表示されます。

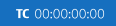
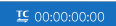


- ATOMOS AirGlu BT とのペアリングを解除するときは、ネットワーク / USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定 > Bluetooth 機器一覧**で行います。

タイムコードの同期状態

タイムコードの同期状態は EVF や LCD に表示されるアイコンで確認できます。



アイコン	同期状態
 (白)	タイムコードの同期機能を使用していません。
 (白)	タイムコードを同期しています。
 (黄)	外部機器と切断中、またはタイムコードを同期していません。 ATOMOS AirGlu BT と接続を ON にしたあと、一度同期したことがありカメラ内でカウントを続けている場合、数値は表示されます。
 (赤)	フレームレートの設定が異なるため、タイムコードを同期していません。 ATOMOS AirGlu BT と接続を ON にしたあと、一度同期したことがありカメラ内でカウントを続けている場合、数値は表示されます。

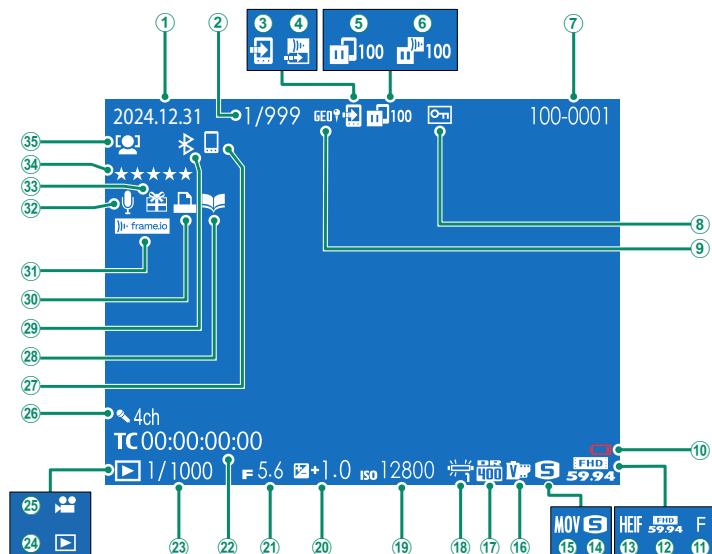
画像の再生と再生メニュー

7

再生時の表示画面

再生時は、画面（EVF/LCD）に次の情報が表示されます。

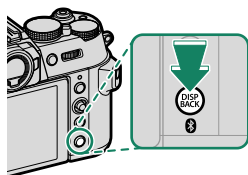
❗ 説明のため情報はすべて表示しています。



① 日付・時刻.....	47、49、291	①9 ISO 感度.....	97
② コマ数表示.....		②0 露出補正.....	100
③ 画像転送予約.....		②1 絞り値.....	73、79、81
④ Frame.io 画像転送予約.....		②2 タイムコード.....	223
⑤ 画像転送状況.....		②3 シャッタースピード.....	73、74、81
⑥ Frame.io 画像転送状況.....		②4 再生モード.....	54
⑦ コマ NO.	325	②5 動画アイコン.....	64
⑧ プロテクト.....	242	②6 4ch 音声.....	222
⑨ 位置情報.....	327	②7 Bluetooth 接続先.....	258
⑩ バッテリー残量不足.....	46	②8 フォトブックアシスト.....	250
⑪ 画質モード.....	127	②9 Bluetooth ON/OFF.....	
⑫ 動画モード.....	193	③0 プリント予約.....	252
⑬ HEIF 画像.....	129	③1 Frame.io 接続状態.....	273
⑭ 画像サイズ.....	126	③2 ボイスメモ.....	244
⑮ ファイル形式.....	196	③3 プレゼント.....	54
⑯ フィルム シミュレーション.....	130	③4 レーティング.....	245
⑰ ダイナミックレンジ.....	138	③5 顔検出.....	160
⑱ ホワイトバランス.....	134		

情報表示の切り替え

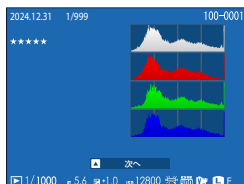
再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



スタンダード



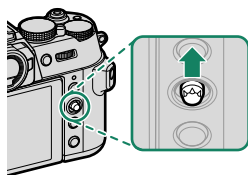
情報表示なし



INFO 画面

撮影時の情報確認

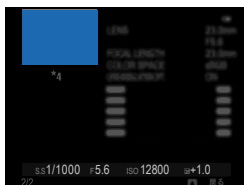
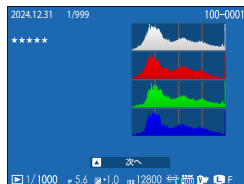
1 コマ再生時にフォーカスレバーを上には動かすと撮影時の情報を確認できます。



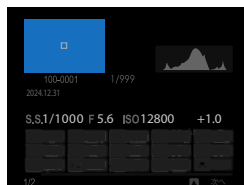
1 コマ再生



INFO 画面 1



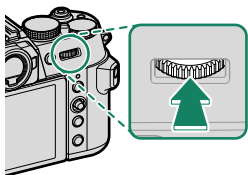
INFO 画面 3



INFO 画面 2

ピントの位置を拡大表示する

リアコマンドダイヤルの中央を押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。もう一度リアコマンドダイヤルの中央を押すと、1 コマ再生に戻ります。



再生方法

再生画像を拡大表示したり、一覧表示したりできます。

拡大表示や複数画像の一覧表示は、1コマ再生時にリアコマンドダイヤルで操作します。リアコマンドダイヤルを左右に回すと図の順に表示が切り替わります。図と逆の向きに回すと逆の順に切り替わります。

 拡大表示や一覧表示のときに **DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押すと1コマ再生画面に戻ります。



再生ズーム

1 コマ再生時にリアコマンドダイヤルを右に回すと、画像を拡大表示できます。再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押すか、リアコマンドダイヤルの中央を押します。



最大ズーム倍率は、撮影時の **画質設定 > 画像サイズ**によって変わります。

ナビゲーションについて

拡大表示中にフォーカスレバーで、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。



ナビゲーション

マルチ再生

1 コマ再生時にリアコマンドダイヤルを左に回すと、9 コマ、100 コマ（マイクロサムネイル）の一覧を表示できます。

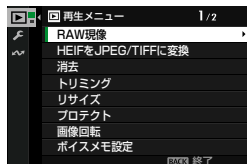


- フォーカスレバーで画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を 1 コマ表示できます。
- フォーカスレバーの上下でページを切り替えることもできます。

再生メニュー

画像の再生に関する機能を設定できます。

再生画面で **MENU/OK** ボタンを押します。



RAW 現像

撮影した RAW ファイルを、パーソナルコンピューターを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて別ファイルで保存（現像）できます。

現像手順

1 再生画面で現像する RAW 画像を選びます。

2 再生メニュー > RAW 現像を選びます。

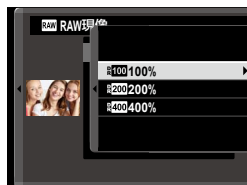
3 MENU/OK ボタンを押します。

設定できる機能の一覧が表示されます。



4 フォーカスレバーを上下に動かして変更する項目を選びます。

5 フォーカスレバーを右に動かして設定の変更に移ります。



6 フォーカスレバーを上下に動かして設定を変更します。

7 MENU/OK ボタンを押して、決定します。

手順 3 の画面に戻ります。手順 7 までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。

8 Q ボタンを押します。

保存する画像のプレビューが表示されます。

9 MENU/OK ボタンを押して、別ファイルとして保存します。



RAW 画像の再生時に Q ボタンを押しても、**RAW 現像**を表示できます。

RAW 現像設定項目一覧

項目	機能
撮影時条件を反映	撮影時の条件を一括で反映します。
ファイル形式	保存する画像ファイルの形式を変更できます。
画像サイズ	記録する画像の大きさを変更できます。
画質モード	記録する画像の圧縮率を変更できます。
増感 / 減感	画像の明るさを調整できます。
ダイナミックレンジ	明るい部分の白とびを防ぎ、目で見たままに近い写真を撮影できます。
D レンジ優先	明暗差の大きいシーンで、白とびと黒つぶれの両方を抑えるよう階調を補正して自然な印象の画像を撮影します。
フィルム シミュレーション	色調を変更できます。
モノクローム カラー	フィルムシミュレーションの A ACROS や B モノクロ で撮影したモノクロ画像の色調を調整できます。
グレイン・エフェクト	画像にザラっとした粒状の質感を与えます。
カラークローム・エフェクト	赤や緑、黄色などの飽和しがちな彩度の高い色情報を階調豊かに表現します。
カラークローム ブルー	青系の色情報を階調豊かに表現します。
スムーズスキン・エフェクト	人物の肌をなめらかに補正します。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを変更できます。
WB シフト	ホワイトバランスを調整します。
トーンカーブ	画像のハイライト部やシャドウ部の強弱を調整します。
カラー	撮影時における画像の色の濃さを設定します。
シャープネス	撮影時における画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。
高感度ノイズ低減	高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。
明瞭度	画像をはっきりとさせます。
点像復元処理	回折現象やレンズ周辺部のわずかなボケを補正し、解像感を向上させます。

項目	機能
色空間	画像に適用する色空間を設定します。
HDR モード	白飛びや黒つぶれを少なくします。
デジタルテレコン	撮影時に設定した画角に変更します。

 撮影時の設定によって設定できない項目があります。

HEIF を JPEG/TIFF に変換

撮影した HEIF 画像を JPEG 画像や TIFF 画像に変換できます。

画像を選択

変換したい HEIF 画像を選択して、変換できます。

ファイル形式

変換するファイル形式を設定できます。

設定値		
JPEG	TIFF 8bit	TIFF 16bit

消去

画像を 1 コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。

 誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパーソナルコンピュータにコピーしておいてください。

設定	説明
1 コマ	画像を 1 コマだけ消去します。
複数指定	指定した画像をまとめて消去します。
全コマ	画像がすべて消去されます。

1 コマ消去

1 消去メニューから 1 コマを選びます。

2 消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

-  **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

複数指定消去

- 1 消去メニューから複数指定を選びます。
- 2 消去する画像を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、選択されます。
 - 選択された画像は  が表示されます。
 - 選択を解除するときは、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。
- 3 まとめて消去する画像を選択指定したあと、**DISP/BACK** ボタンを押します。
消去実行画面が表示されます。
- 4 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。



プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、 が表示されます。

全コマ消去

- 1 消去メニューから全コマを選びます。
- 2 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。



- **DISP/BACK** ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。
- プリント予約を設定している画像を消去しようとする、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。

トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング（切り抜く）できます。トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。

2  再生メニュー＞トリミングを選びます。

3 リアコマンドダイヤルとフォーカスレバーでトリミングしたい部分を調整します。

4 MENU/OK ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。

5 MENU/OK ボタンを押して、トリミングします。



- 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- トリミングを行ったあとの記録画素数が **640** のときは、**実行**が黄色で表示されます。
- トリミングした画像の縦横比は、3:2 になります。

リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。

2 回 再生メニュー＞リサイズを選びます。

3 変更するサイズを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

4 **MENU/OK** ボタンを押して、リサイズします。



元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

プロテクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。

1 再生メニュー＞プロテクトを選びます。

2 プロテクトの方法を選びます。

設定	説明
設定 / 解除	プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されている画像はプロテクト設定が解除されます。 手順3のあとに、続けてフォーカスレバーで設定 / 解除する画像を選べます。
全コマ設定	すべての画像がプロテクトされます。
全コマ解除	すべての画像のプロテクト設定が解除されます。

3 MENU/OK ボタンを押して、プロテクトを設定 / 解除します。

4 DISP/BACK ボタンを押して、プロテクトを終了します。

 メモリーカードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。



- 画像転送予約している画像をプロテクトすると、転送予約は解除されます。
- 再生画面で **AFON** ボタンを押してもプロテクトを設定したり解除したりすることができます。

画像回転

撮影した画像を回転して再生できます。

1  **表示設定 > 縦横自動回転再生を ON にします。**

2 再生画面で回転したい画像を選びます。

3  **再生メニュー > 画像回転を選びます。**

4 フォーカスレバーの下（時計回りに 90° 回転）または上（反時計回りに 90° 回転）で画像を回転します。

5 **MENU/OK** ボタンを押して、回転を決定します。



- プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください。
- 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパーソナルコンピュータで再生する場合は、画像は回転表示しません。
-  **表示設定 > 縦横自動回転再生を ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。**

ボイスメモ設定

静止画に音声を記録できます。

1 再生メニュー＞ボイスメモ設定を ON にします。

2 再生画面でボイスメモを記録したい画像を選びます。

3 フロントコマンドダイヤルの中央を押している間、ボイスメモが記録されます。

30 秒経過すると、記録は終了します。



- すでにボイスメモが記録されている画像に再度記録すると、上書き記録されます。
- プロテクトされている画像にボイスメモは記録できません。
- 画像を消去すると、記録されているボイスメモも消去されます。

ボイスメモの再生について

再生時にボイスメモが記録されている画像を選択すると、🔊が表示されます。

- フロントコマンドダイヤルの中央を押すと、ボイスメモを再生できます。
- ボイスメモ再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。
- 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。フォーカスレバーで再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。再生音量は、**🔊 音設定 > 再生音量**でも設定できます。

レーティング

撮影した画像に星の数でランクを付けることができます。

1 再生メニュー＞レーティングを選びます。

2 フロントコマンドダイヤルでランク付けをしたい画像を選び、リアコマンドダイヤルで★の数（0～5）を設定します。



- フロントコマンドダイヤルの代わりにフォーカスレバーで画像を選ぶこともできます。
- 1コマ再生画面や9コマ再生画面、マルチサムネイル画面のときに **AEL** ボタンを押して、レーティングの画面に切り替えることもできます。
- タッチパネルで画像の拡大や縮小ができます。
- 以下の画像はレーティングを設定できません。
 - プロテクトされている画像
 - 動画
 - プレゼント画像（他のカメラで撮影した画像）

スマートフォンに画像転送

Bluetooth® でペアリングしているスマートフォンに画像を転送できます (258)。

1 スマートフォンに画像転送 > 画像を選択して転送を選びます。



予約リセットを選ぶと、スマートフォンへの画像転送予約をすべて解除できます。

2 転送予約する画像を選びます。

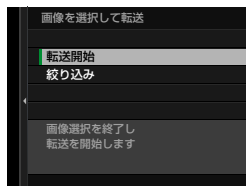
MENU/OK ボタンを押して画像を選択します。

- 表示する画像を絞り込みたいときは、画像を選択する前に **DISP/BACK** ボタンを押してください。
- **Q** ボタンを押すと画像を全選択できます。
- **AEL** ボタンを押すと、開始する画像と終了する画像を選んで範囲選択できます。



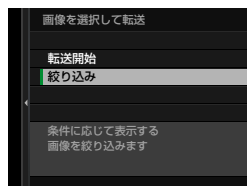
3 DISP/BACK ボタンを押してから転送開始を選びます。

画像が転送されます。



画像の絞り込み

画像選択画面で **DISP/BACK** ボタンを押してから **絞り込み** を選ぶと、表示する画像の絞り込みができます。



絞り込み を選ぶと、その前に選んだ画像は選択解除されます。



- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで転送予約することができます。
- 以下の画像は転送予約できません。
 - プロテクトされている画像
 - 動画
 - RAW 画像
 - プレゼント画像（他のカメラで撮影した画像）
- ネットワーク / USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定 > Bluetooth ON/OFF** が **ON** で、**電源 OFF** 中の画像転送が **ON** のときは、カメラの電源がオフのときでも画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。
- **操作ボタン・ダイヤル設定 > Fn1 ボタン設定** を **選択 & スマートフォン転送予約** に設定しておくと、**Fn1** ボタンを押して画像選択画面を呼び出すこともできます。

ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーションをインストールしておく必要があります。



- スマートフォンアプリケーションについては、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/>

-  操作ボタン・ダイヤル設定 >  Fn1 ボタン設定を  ワイヤレス通信に設定しておくと、**Fn1** ボタンを押してスマートフォンと通信できます。

スライドショー

撮影した画像を順番に自動再生します。**MENU/OK** ボタンを押すと、スライドショーを開始/終了します。**DISP/BACK** ボタンを押すと、スライドショー終了のガイダンスを表示します。フォーカスレバーの左右で、コマ送りします。



スライドショー中は、自動電源 OFF になりません。

フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます。

フォトブックを作成する

1 再生メニュー＞フォトブックアシストを選びます。

2 新規 BOOK を選び、MENU/OK ボタンを押します。

フォトブックの新規作成画面が表示されます。

3 画像を選択します。

フォーカスレバーを上にかすと表示されている画像を選択または選択解除し、下に動かすと表示されている画像を表紙にします。



- 640 以下で保存されている画像と動画は選択できません。
- 最初に選択した画像は、自動的に表紙と 1 枚目の画像になります。表紙は、あとからでも変更できます。

4 画像の選択が終わったら、MENU/OK ボタンを押します。

5 作成終了を選びます。

全て選択を選ぶと、全画像がフォトブック作成中の画像として選択されます。

6 MENU/OK ボタンを押します。

フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。



- フォトブックで選択できる画像は 300 枚までです。
- 画像が 1 枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

作成したフォトブックについて

カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭で簡単に注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<https://www.fujifilm.com/jp/ja/consumer/photoprinting/print>

作成したフォトブックを見る

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。フォーカスレバーの左右で次や前の画像に移動できます。

作成したフォトブックを編集 / 削除する

- 1 作成したフォトブックを表示しているときに **MENU/OK** ボタンを押します。
- 2 編集または削除を選びます。
 - **編集**：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法はフォトブックを作成する方法と同じです。
 - **削除**：表示されているフォトブックを削除できます。
- 3 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集 / 削除します。

プリント予約 (DPOF)

プリント予約 (DPOF) であらかじめ DPOF 指定 (プリント予約) しておくと、フジカラーデジタルカメラプリントサービス取扱店でお店プリントするときに、指定した内容で簡単にプリントできます。

1 再生メニュー > プリント予約 (DPOF) を選びます。

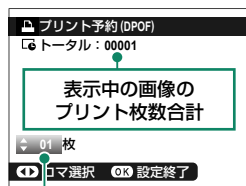
2 日付の有無を設定します。

設定	説明
日付あり設定 	撮影日を印字します。
日付なし設定	撮影日を印字しません。
全コマ解除	現在設定されている DPOF 指定 (プリント予約) を一度に解除できます。

3 プリント予約する画像を選びます。

4 プリント枚数を選びます (最大 99 枚)。

 DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまでフォーカスレバーを下に動かします。



プリント枚数

 手順 3 と 4 を繰り返して、プリントする画像をすべて予約します。

5 合計枚数を確認して、もう一度 MENU/OK ボタンを押します。

-  DPOF 指定 (プリント予約) した画像には、再生時に  が表示されます。
- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。
- 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。

instax プリンタープリント

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像を印刷できます。あらかじめネットワーク/USB 設定メニューの **instax プリンター接続設定**で、instax SHARE プリンターのプリンター名（SSID）とパスワードを入力しておく必要があります。

1 プリンターの電源を入れます。

2 回 再生メニュー > instax プリンタープリントを選ぶと、カメラとプリンターの接続が開始されます。



3 プリントしたい画像を選び、MENU/OK ボタンを押します。

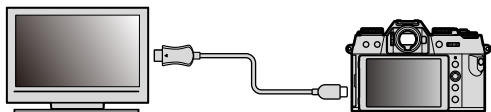


- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。
- プリンターによって、操作画面が変わることがあります。

4 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。

表示比率

静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。HDMI ケーブルでカメラと HD 出力テレビを接続したときに有効です。



設定値

16:9

3:2



3:2 で撮影した静止画をテレビで全画面表示したいときは、**16:9** に設定してください。**16:9** に設定すると上下が切れた状態でフル画面表示されます。

ネットワーク /USB 機能と設定

メニュー

8

ネットワーク /USB 機能の概要

このカメラはパーソナルコンピュータやスマートフォンと接続して、撮影した画像を転送したり、パーソナルコンピュータやスマートフォンでカメラを操作して撮影することができます。

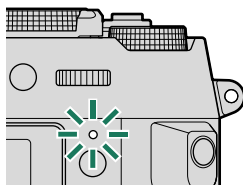
このカメラでできること

このカメラでできることは次の通りです。

ネットワーク /USB 機能	内容	
スマートフォンアプリケーションと接続	スマートフォンと Bluetooth® で接続して、撮影した画像を転送したり、ライブビューを確認しながらカメラを操作できます。	258
USB カードリーダー	パーソナルコンピュータやスマートフォンと USB ケーブルで接続して、メモリーカード内の画像を転送できます。	262
ウェブカメラ	パーソナルコンピュータと USB ケーブルで接続して、パーソナルコンピュータ上でウェブカメラとして使用できます。	267
instax プリント	instax プリンターと接続して、撮影した画像をプリントできます。	268
Frame.io へファイル転送	Frame.io に撮影したファイルを転送できます。	270
RAW 現像	カメラの画像処理エンジンを使用した RAW 現像をパーソナルコンピュータ上で行えます。	277
設定の保存読込	パーソナルコンピュータにカメラの設定を保存したり、保存した設定を読み込んだりできます。	278

カメラのインジケータランプの表示

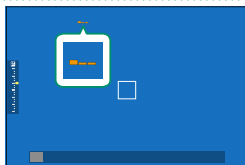
カメラのインジケータランプで、Frame.io などとの接続状態を確認できます。



インジケータランプ	接続状態
赤色点滅	ネットワークに接続していません。
赤色点灯	ネットワークに接続していません。転送待ちの画像があります。
橙色点滅	ネットワークに接続していますが、Frame.io と接続していません。
橙色と赤色の交互点灯	ネットワークに接続していますが、Frame.io と接続していません。転送待ちの画像があります。
緑色点滅	Frame.io への転送ができます。
緑色と赤色の交互点灯	Frame.io への転送ができます。転送待ちの画像があります。

EVF や LCD の表示

Frame.io などとの接続状態は EVF や LCD に表示されるアイコンでも確認できます。



アイコン	接続状態
	ネットワークに接続していません。
	ネットワークに接続していますが、Frame.io と接続していません。
	Frame.io への転送ができます。

スマートフォンアプリケーション を使用する

カメラとスマートフォンを Bluetooth® で接続すると、撮影画像をスマートフォンへ転送したり、ライブビューを確認しながらカメラをスマートフォンで操作できます。



撮影画像の転送時は自動的に無線 LAN で接続します。

スマートフォンにアプリケーションをインストールする

カメラとスマートフォンを接続するためには、あらかじめ専用のアプリケーションをスマートフォンにインストールする必要があります。以下のウェブサイトをご覧ください、スマートフォンにアプリケーションをインストールしてください。

<https://fujifilm-dsc.com/>

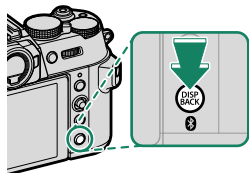


使用できるアプリケーションはスマートフォンの OS によって異なります。

カメラとスマートフォンを接続する

カメラとスマートフォンをペアリングして、Bluetooth® で接続します。

- 1 撮影画面で  (Bluetooth) ボタンを長押しします。

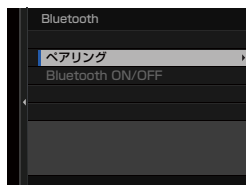


再生画面で長押ししたときは、手順 3 に進みます。

2 Bluetooth を選び、MENU/OK ボタンを押します。



3 ペ어링を選び、MENU/OK ボタンを押します。

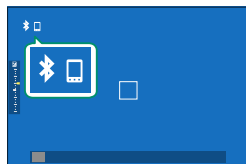


4 スマートフォンのアプリケーションを起動し、カメラとペアリングします。

詳しい手順は以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/>

ペアリングをすると、自動的にカメラとスマートフォンが Bluetooth で接続されます。カメラとスマートフォンが接続されると、カメラの表示画面にスマートフォンアイコンと白い Bluetooth アイコンが表示されます。



- 一度ペアリングを行うと、スマートフォンアプリケーションを起動するたびに自動的にカメラと接続します。
- スマートフォンと接続しないときは Bluetooth をオフにするとカメラの消費電力を抑えることができます。

スマートフォンアプリケーションを使用する

スマートフォンアプリケーションを使用して、次のようにスマートフォンに画像を転送できます。



あらかじめ **Bluetooth/ スマートフォン設定 > Bluetooth ON/OFF** を **ON** にしてください。

スマートフォンアプリケーションで選んで画像を転送する

スマートフォンアプリケーションで転送する画像を選んで、スマートフォンに画像を転送することができます。



スマートフォンアプリケーションの詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/>

撮影した画像を自動的に転送する

ネットワーク /USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定 > 撮影時 自動画像転送** を **ON** にすると、撮影した画像がペアリングしているスマートフォンに自動的に転送されます。



- ネットワーク /USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定 > Bluetooth ON/OFF** が **ON** で、**電源 OFF** 中の画像転送が **ON** のときは、カメラの電源がオフのときでも画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。
- ネットワーク /USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定 > スマートフォン送信時圧縮** を **ON** にすると、転送する画像のサイズを圧縮して転送します (p. 281)。
- ネットワーク /USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定 > ファイル形式選択** で、転送する画像のファイル形式を設定できます。

再生メニューから画像を選んで転送する

スマートフォンに画像転送 > 画像を選択して転送で、選んだ画像を Bluetooth® でペアリングしているスマートフォンに転送できます (📖 246)。

USB カードリーダーとして使用する

カメラとスマートフォンやパーソナルコンピュータを USB ケーブルで接続すると、撮影画像を転送できます。

スマートフォンに画像を転送する

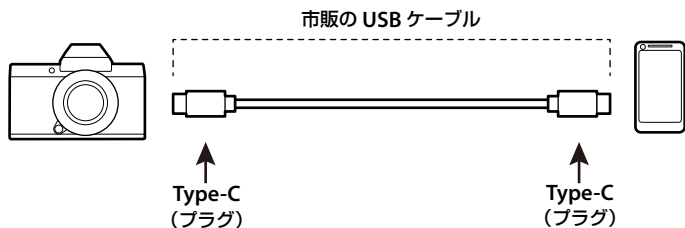
スマートフォンに画像を転送するときは、ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定** を自動または給電 OFF / 通信 ON にしてからカメラとスマートフォンを USB ケーブルで接続します。

Android のスマートフォンをお使いの方

スマートフォンに搭載されている USB 端子の形状によって、接続方法が異なります。

USB Type-C の場合

カメラに搭載されている USB 端子 (Type-C) と接続するケーブルをご用意ください。



1 ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定** を自動または給電 OFF / 通信 ON にします。

2 接続モードで **USB カードリーダー** を選びます。

- 3 カメラの電源がオンになっている状態でカメラとスマートフォンをUSB ケーブルで接続します。



「Camera Importer」以外のアプリケーション（「フォト」など）へのアクセスを許可するかどうかを確認する通知が表示された場合は、「キャンセル」をタップして手順4に進みます。

- 4 スマートフォンを操作して、「Android システム・USB PTP に接続しました」の通知をタップします。

- 5 USB デバイス用のアプリケーションの中から「Camera Importer」を選びます。

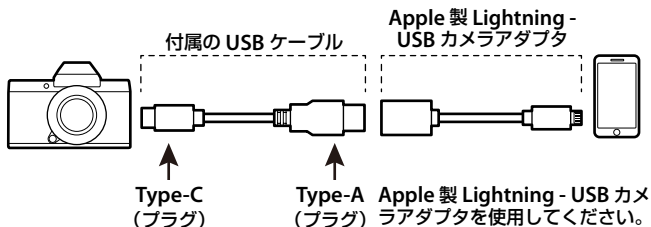
自動的に「Camera Importer」アプリケーションが起動し、画像 / 動画をインポートできます。



「Camera Importer」アプリケーションから「There is no MTP device connected」などの通知が表示された場合は、USB ケーブルを抜いて、手順3からやり直してください。

iOS のスマートフォンをお使いの方

Apple 製 Lightning - USB カメラアダプタが必要です。



1 ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定**を給電 **OFF** / 通信 **ON** にします。

2 接続モードで **USB カードリーダー**を選びます。

3 カメラの電源がオンになっている状態でカメラとスマートフォンを USB ケーブルで接続します。

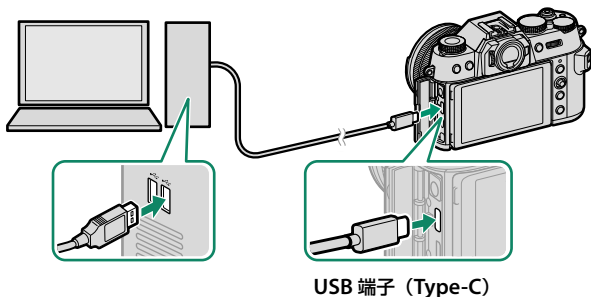
「写真」アプリケーションを起動すると、画像 / 動画をインポートできます。



- USB Type-C を搭載した機器を接続するときは、Type-C to C の USB ケーブルを使用してください。
- USB Type-C と Lightning のケーブルで直接つないだ場合、正しく接続できません。Apple 製 Lightning - USB カメラアダプタを使用してください。

パーソナルコンピュータに画像を転送する

- 1 ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定**を自動または給電 **OFF** / 通信 **ON** にします。
- 2 接続モードで **USB カードリーダー**を選びます。
- 3 カメラの電源をオフにします。
- 4 パーソナルコンピュータを起動します。
- 5 USB ケーブルで、カメラとパーソナルコンピュータを接続します。



! USB ケーブルは、長さが 1m 以内で、データ転送が可能なものをご使用ください。

- 6 カメラの電源をオンにします。
- 7 画像を転送します。
 - **Mac OS X / OS X / macOS の場合**：OS 標準アプリケーションの「イメージキャプチャ」などのソフトウェアで画像や動画を取り込んでください。ファイルサイズが 4GB を超える場合は、カードリーダーでファイルを取り込んでください。
 - **Windows の場合**：OS 標準アプリケーションなどで画像や動画を取り込んでください。



- USB ケーブルを取り外すときは、カメラの電源をオフにしてください。
- USB ケーブルは、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパーソナルコンピューターを接続してください。
- 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカード内のデータが破壊されることがあります。
- メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手持のカードリーダーを使って、転送してください。
- カメラとパーソナルコンピューターの接続を外す前に、カメラのインジケータランプが消灯、もしくは緑色に点灯していることを確認してください。
- カメラとパーソナルコンピューターの通信時には、USB ケーブルを抜かないでください。メモリーカードのデータが壊れたり、データが消えたりすることがあります。
- メモリーカードの交換は、必ずカメラとパーソナルコンピューターの接続を外したあとに行ってください。
- ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパーソナルコンピューターのようにご利用になれないことがあります。
- パーソナルコンピューターでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パーソナルコンピューターの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

ウェブカメラとして使用する

カメラをパーソナルコンピュータに接続して、ウェブカメラとして使用できます。

- 1 ネットワーク /USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定**を自動または給電 **OFF**/ 通信 **ON** にします。
- 2 接続モードで **USB WEBCAM** を選びます。
- 3 カメラとパーソナルコンピュータを USB ケーブルで接続してから、カメラの電源をオンにします (📖 265)。
- 4 ウェブカメラを使用するアプリケーション上で、カメラを選択します。

instax プリントする

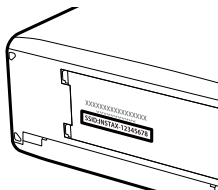
別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像をプリントできます。

プリンターとの接続を設定する

ネットワーク / USB 設定メニューの **instax プリンター接続設定** を選び、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力します。

プリンター名 (SSID) とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



画像をプリントする

- 1 プリンターの電源を入れます。
- 2 再生メニューの instax プリンタープリントを選ぶと、カメラとプリンターの接続が開始されます。



- 3 プリントしたい画像を選び、MENU/OK ボタンを押します。



- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。
- プリンターによって、操作画面が変わることがあります。

- 4 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。

Frame.io にファイル転送する

撮影したファイルを Frame.io に転送できます (📖 372)。



カメラの日付設定をしていない場合は正しい日付を事前に設定してください。

無線 LAN で接続する

無線 LAN で Frame.io と接続します。

1 ネットワーク / USB 設定メニューのネットワーク設定を選びます。

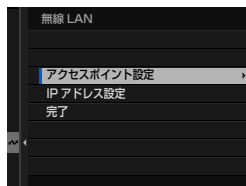
2 未登録を選びます。



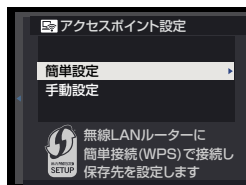
すでに登録されているネットワークを選ばと、選んだネットワークの選択や編集ができます。

3 アクセスポイント設定を選びます。

IP アドレス設定を選ばと任意の IP アドレスを設定できます (📖 272)。



4 簡単設定を選びます。



手動設定を選ばと手動で無線 LAN ルーターを選んだり、無線 LAN ルーターの SSID を入力して設定することができます。

- 5 画面の指示にしたがって無線 LAN ルーターを操作します。

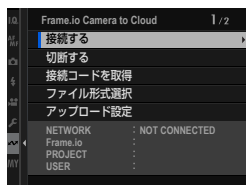


フォーカスレバーを上に動かすと PIN コードが表示されます。PIN コードを無線 LAN ルーターに設定することでカメラを接続することもできます。

- 6 登録が完了したら **MENU/OK** ボタンを押します。

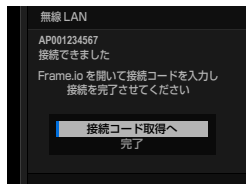


- 7 ネットワーク / USB 設定メニューの **Frame.io Camera to Cloud > 接続する**を選びます。



- 8 接続が完了したら接続コード取得へを選びます。

接続コードが表示されます。



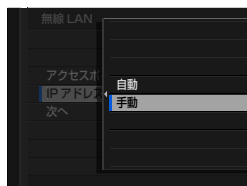
- 9 パーソナルコンピューターなどから Frame.io へログインし、カメラに表示された接続コードを入力します。

- 10 Frame.io にファイルを転送します (274)。

IP アドレスを設定して接続する

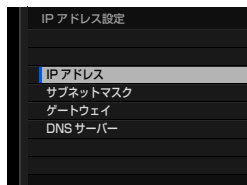
手動で IP アドレスなどのネットワーク /USB 設定を登録し、Frame.io に接続します。

1 手動を選びます。



自動を選ぶとカメラに IP アドレスが自動的に割り当てられます。

2 手動でアドレスの設定をします。



- **IP アドレス**を選んで IP アドレスを入力します。



- **サブネットマスク**を選んでサブネットマスクを入力します。



- **ゲートウェイ**を選んでゲートウェイを入力します。



- **DNS サーバー**を選んで DNS サーバーを入力します。



接続状態の確認

Frame.io との接続状態は EVF や LCD に表示されるアイコンで確認できます。



アイコン	接続状態
 (白)	Frame.io に接続しています。
 (黄)	Frame.io へのファイル転送をカメラ側で一時停止しています。接続を再開するには、 Frame.io Camera to Cloud > アップロード設定の転送 / 一時停止を転送 にしてください。
 (グレー)	Frame.io に接続していません。
 (赤)	Frame.io サーバーのカメラステータスが paused に設定されています。接続を再開するには、パーソナルコンピューター側などで Frame.io の paused の設定を解除してください。

Frame.io へファイルを転送する

Frame.io Camera to Cloud でファイルを選んで転送する

1 ネットワーク /USB 設定メニューの Frame.io Camera to Cloud を選びます。

2 アップロード設定 > 画像を選択して転送を選びます。



- **NETWORK** と **Frame.io** には接続状態が表示されます。
- **PROJECT** と **USER** にはパーソナルコンピューターなどで Frame.io に入力した内容が表示されます。使用する文字によってはカメラに正しく表示されないことがあります。この場合は文字が「?」で表示されます。

3 転送予約するファイルを選びます。

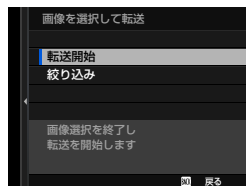
MENU/OK ボタンを押してファイルを選択します。

- 表示する画像を絞り込みたいときは、ファイルを選択する前に **DISP/BACK** ボタンを押してください。
- **Q** ボタンを押すとファイルを全選択できます。
- **AEL** ボタンを押すと、開始するファイルと終了するファイルを選んで範囲選択できます。



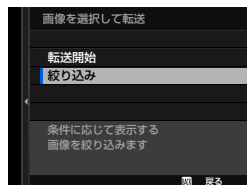
4 DISP/BACK ボタンを押してから転送開始を選びます。

Frame.io にファイルが転送されます。



ファイルの絞り込み

画像選択画面で **DISP/BACK** ボタンを押してから **絞り込み** を選ぶと、表示するファイルの絞り込みができます。



絞り込み を選ぶと、その前に選んだファイルは選択解除されます。



- 同じメモリーカードで最大 9999 枚まで転送予約することができます。
- **Frame.io Camera to Cloud** > **電源 OFF** 中の画像転送が **ON** のときは、カメラの電源がオフのときでもファイルを Frame.io に転送します。

撮影したファイルを自動転送する

Frame.io Camera to Cloud > アップロード設定の撮影時 自動画像転送を ON にすると、撮影したファイルを自動的に転送予約します。

再生画面でファイルを選んで転送する

 操作ボタン・ダイヤル設定 >  Fn1 ボタン設定を  Frame.io 転送予約に設定しておくと、再生画面で **Fn1** ボタンを押して転送予約をしたり、予約を上書き / キャンセルしたりできます。

RAW 現像する

X RAW STUDIO を使用して、カメラの画像処理エンジンを使用した RAW 現像をパーソナルコンピュータ上で行うことができます。

- 1 ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定**を自動または給電 **OFF** / 通信 **ON** にします。
- 2 接続モードで **USB RAW 現像 / 設定保存読み**を選びます。
- 3 カメラとパーソナルコンピュータを USB ケーブルで接続してから、カメラの電源をオンにします（ 265）。
- 4 X RAW STUDIO を起動します。
X RAW STUDIO 上で RAW 現像ができます。



使用するソフトウェアの詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/products/software/>

設定の保存や読み込みをする

FUJIFILM X Acquire を使用して、パーソナルコンピュータにカメラの設定を保存したり、保存した設定を読み込んだりできます。

パーソナルコンピュータで設定の保存や読み込みをする

- 1 ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定**を自動または給電 **OFF** / 通信 **ON** にします。
- 2 接続モードで **USB RAW 現像 / 設定保存読込**を選びます。
- 3 カメラとパーソナルコンピュータを USB ケーブルで接続してから、カメラの電源をオンにします (265)。
- 4 FUJIFILM X Acquire を起動します。
FUJIFILM X Acquire 上で設定の保存や読み込みができます。



使用するソフトウェアの詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/products/software/>

ネットワーク /USB 設定メニュー

カメラのネットワーク /USB 機能の設定を変更できます。

撮影画面または再生画面で **MENU/OK** ボタンを押し、（ネットワーク /USB 設定）タブを選びます。



Bluetooth/ スマートフォン設定

Bluetooth 接続に関する設定や、スマートフォンに関するさまざまな設定ができます。

 スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーションをインストールしておく必要があります。

ペアリング登録

スマートフォンアプリケーションがインストールされているスマートフォンとペアリング登録します。

ペアリング接続先選択

ペアリング登録で登録したスマートフォンの中から接続するスマートフォンを選びます。**接続なし**を選択するとスマートフォンと接続しません。

ペアリング削除

ペアリング登録されているスマートフォンの情報を削除できます。

 削除されたスマートフォンはペアリング接続先選択のリストからも削除されます。

Bluetooth 機器一覧

ペアリング登録されている機器のうち、スマートフォン以外の機器の一覧を確認したり、ペアリングを削除したりできます。

Bluetooth ON/OFF

ON にすると、ペアリング登録したスマートフォンでスマートフォンアプリケーションが起動したときに、カメラが自動的にスマートフォンと接続します。

設定値	
ON	OFF

撮影時 自動画像転送

ON にすると、撮影したときに画像を自動的に転送します。

設定値	
ON	OFF

スマートフォン位置情報同期

ON にすると、ペアリング登録されているスマートフォンと位置情報を同期します。

設定値	
ON	OFF



スマートフォンアプリケーションが起動している必要があります。なお、スマートフォンアプリケーションが起動していても、途中でペアリングが切断された場合は、同期も中断されます。最後に位置情報を取得してから 30 分以上更新がないと、カメラの位置情報取得マークが赤い表示に変わります。

名前

無線 LAN 通信で使用するカメラの名前を変更できます。工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。

電源 OFF 中の接続

ON にすると、カメラの電源がオフのときでもスマートフォンとの Bluetooth 接続が維持できます。スマートフォンアプリ FUJIFILM XApp をご使用の場合、カメラの電源がオフの状態でも画像を転送したり、カメラの電源をオンにして撮影することができます。

設定値	
ON	OFF

電源 OFF 中の画像転送

ON にすると、カメラの電源をオフにしたときに、撮影した画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。

設定値	
ON	OFF

スマートフォン送信時圧縮

スマートフォンへ画像を送信するときの画像サイズを変更できます。**ON** にすると、画像サイズを圧縮して送信します。**ON** での使用をおすすめします。

設定値	
ON	OFF



- メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズは変更されません。
- 記録画像サイズが L サイズ、M サイズの場合に、画像サイズを圧縮して転送します。

無線通信周波数設定

無線 LAN 通信を行うときの無線 LAN の周波数を設定します。

設定値

2.4GHz (IEEE802.11 b/g/n)

5GHz (IEEE802.11 a/n/ac)



- 5GHz の一部のチャンネルについて、屋外での使用が禁止されている国・地域があります。ご使用になる前に 5.2GHz 帯(W52)が使用可能かご確認ください。
- 購入した国・地域によって選べる設定値は異なります。

ファイル形式選択

転送するファイル形式を選択できます。ファイル形式ごとに ON と OFF を設定できます。

サブメニュー

JPEG

RAW

HEIF

機内モード

ON にすると無線 LAN や Bluetooth をオフにできます。

設定値	
ON	OFF

ネットワーク設定

無線 LAN（ワイヤレス）に関する設定を変更できます。登録したネットワークを選んでから**編集**を選べると、選んだネットワークの設定を変更できます。

サブメニュー	内容
アクセスポイント 設定	• 簡単設定：アクセスポイントに簡単接続で接続します。 • 手動設定：アクセスポイントにマニュアル操作で接続します。無線 LAN ルーター選択、SSID 入力を手動で行います。
IP アドレス設定	• 自動：IP アドレスを自動で設定します。 • 手動：IP アドレスを手動で設定します。IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバーの設定をそれぞれ手動で行います。

instax プリンター接続設定

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターのプリンター名（SSID）とパスワードを入力して、プリンターとの接続を設定します（ 268）。

Frame.io Camera to Cloud

Frame.io に関するさまざまな設定ができます。

接続する

Frame.io プロジェクトに無線 LAN で接続できます。



ネットワークを登録していない場合は、**ネットワーク設定**であらかじめネットワークを登録してください。

切断する

Frame.io プロジェクトとの接続を解除して、ネットワーク接続を終了します。

接続コードを取得

Frame.io プロジェクトに接続するための接続コードを表示します。パーソナルコンピューターやタブレットからアクセスした Frame.io の画面に入力するとカメラと Frame.io をペアリングできます。

ファイル形式選択

転送するファイル形式を選択できます。ファイル形式ごとに ON と OFF を設定できます。

サブメニュー		
MOV/MP4	JPEG	RAW
HEIF	TIFF	

アップロード設定

Frame.io でファイルを転送するときの設定ができます。

画像を選択して転送

撮影したファイルを選んで転送予約できます。

撮影時 自動画像転送

ON にすると、撮影したファイルを自動的に転送予約します。

設定値	
ON	OFF

転送 / 一時停止

Frame.io への転送を一時停止したり、再開したりすることができます。

設定値	
転送	一時停止

電源 OFF 中の画像転送

ON にすると、カメラの電源をオフにしたときにファイルを Frame.io に転送します。

設定値	
ON	OFF

ルート証明書

Frame.io への接続に必要なルート証明書をカメラに設定できます。

サブメニュー	説明
記録メディアから 読込	メモリーカード内にあるルート証明書を読み込んで設定できます。
削除	設定されているルート証明書を削除できます。

アップロード状況

Frame.io へのファイルの転送状況を確認できます。

転送予約リスト

転送待ちのファイルを確認できます。

転送予約リセット

Frame.io へのすべての転送予約を解除できます。

接続モード

外部機器とカメラを接続して使用する機能を設定します。

設定	説明
USB カードリーダー	USB ケーブルでパーソナルコンピューターとカメラを接続すると、自動的にメモリーカードのデータをパーソナルコンピューターに転送するモードになります。接続していないときは通常のカメラとして動作します。
USB WEBCAM	パーソナルコンピューターと USB ケーブルで接続して、パーソナルコンピューター上でウェブカメラとして使用できます。
USB RAW 現像 / 設定保存読み	USB ケーブルでパーソナルコンピューターとカメラを接続すると、自動的に「USB RAW 現像」「設定保存読み」が可能になります。接続していないときは通常のカメラとして動作します。 • USB RAW 現像：（使用ソフトウェア：FUJIFILM X RAW STUDIO）カメラに搭載している画像処理エンジンで、高速、高品質に RAW 現像を行います。 • 設定保存読み：（使用ソフトウェア：FUJIFILM X Acquire）カメラの設定の保存、読みができます。カメラの設定全体を瞬時に切り替えたり、複数の同一機種カメラ間で設定を共有したりするときに便利です。接続していないときは通常のカメラとして動作します。



このカメラで使用できるソフトウェアについては、[P.370](#) をご覧ください。

USB 給電 / 通信設定

パーソナルコンピュータやスマートフォンなどの機器と USB ケーブルで接続したときにカメラに給電するか、カメラと通信するかを設定します。

設定	説明
自動	接続した機器からカメラに給電するか、接続した機器と通信するかを自動的に切り替えます。
給電 ON/ 通信 OFF	接続した機器から給電します。カメラのバッテリーの消費を抑えることができます。接続した機器との通信はできません。
給電 OFF/ 通信 ON	カメラに給電せず、接続した機器と通信を行います。



給電機能がない機器や Lightning 端子を持つ機器からは給電できません。これらの機器と接続するときはあらかじめ**給電 OFF/ 通信 ON**に設定してください。**給電 ON/ 通信 OFF**のまま接続すると、データの転送などできない場合があります。



カメラの電源がオフのときは、設定にかかわらずバッテリーの充電を行います。

情報表示

カメラ本体の MAC アドレスと Bluetooth アドレス、無線 LAN の IP アドレスを表示します。

ネットワーク /USB 設定初期化

ネットワーク /USB 設定の項目を工場出荷時の設定に戻します。

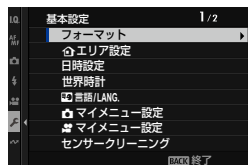
セッアップメニュー

9

セッアップメニュー（基本設定）

カメラの基本的な設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**基本設定**（セッアップ）タブを選び、**基本設定**を選びます。

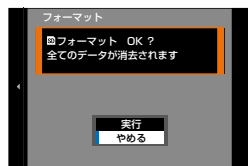


フォーマット

メモリーカードをフォーマット（初期化）します。

1 セッアップメニューから **基本設定** > **フォーマット**を選びます。

2 **MENU/OK** ボタンを押すと、確認の画面が表示されます。



3 実行を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。



確認画面で**やめる**を選んだ状態で **MENU/OK** ボタンを押したり、**DISP/BACK** ボタンを押したりしたときは、フォーマットは実行されません。



- プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。



消去（消去）ボタンを長押し中にリアコマンドダイヤルの中央を長押ししてもフォーマット画面を表示できます。

🏠 エリア設定

お住まいの地域やサマータイムの設定をします。

エリア設定

世界地図からお住まいの地域を選択します。

サマータイム

サマータイムを使用するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	サマータイムを使用します。
OFF	サマータイムを使用しません。

日時設定

日付と時刻を設定します。

- 1 セットアップメニューから **基本設定** > **日時設定** を選びます。
- 2 フォーカスレバーの上下で年月日の並び順を選びます。
- 3 フォーカスレバーの左右で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、フォーカスレバーの上下で設定する数字を選びます。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押すと、日時が設定されます。

世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
 ホーム	現在設定されている日時を表示します。
 現地	旅行先の日時を表示します。

 **+** 現地を選ぶときは、あらかじめ  エリア設定でお住まいの地域を設定してください。

現地時間の設定方法

1  現地を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

2 フォーカスレバーの左右で旅行先のエリアを選びます。

 サマータイムを使用したいときは**サマータイム**を **ON** に設定してください。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

 **+** 現地を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に  と日時が約 3 秒間黄色で表示されます。

言語/LANG.

メニューなどを表示する言語を設定します。

マイメニュー設定

静止画撮影時によく使うメニューなどを  **マイメニュー**に登録しておくことができます（ 331）。

マイメニュー設定

動画撮影時によく使うメニューなどを  **マイメニュー**に登録しておくことができます（ 331）。

センサークリーニング

センサーのほこりなどをふるい落とすことができます。

設定	説明
実行	実行を選ぶと、すぐにセンサークリーニングを実行します。
電源 ON 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオンにしたときにセンサークリーニングを実行します。
電源 OFF 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオフにしたときにセンサークリーニングを実行します。ただし、再生モードで電源をオフにした場合は、実行されません。



センサークリーニングを実行してもセンサーのほこりを完全にふるい落とすことはできません。ほこりが取れない場合は、ブロワーでセンサーをクリーニングしてください（[図 388](#)）。

電子音 & フラッシュ

OFF にすると、フラッシュや AF 補助光が発光禁止になり、操作音や動画の再生音がオフになります。セルフタイマーランプも発光しません。

設定値	
ON	OFF

ファームウェアアップデート

メモリーカードに保存したファームウェアを使用して、カメラやレンズなどのファームウェアの更新ができます（[図 389](#)）。

リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。

1 リセットするメニューを選び MENU/OK ボタンを押します。

設定	説明
静止画メニュー リセット	静止画撮影メニューの カスタム登録 / 編集の内容、ホワイトバランスのカスタムの内容以外がリセットされます。
動画メニュー リセット	動画撮影メニューの カスタム登録 / 編集の内容、ホワイトバランスのカスタムの内容以外がリセットされます。
セットアップリセット	セットアップメニューの日時設定、 エリア設定、世界時計、著作権情報以外がリセットされます。
初期化	ホワイトバランスのカスタムの内容以外の全ての設定がリセットされます。

2 確認画面で実行を選んで MENU/OK ボタンを押します。

認証

セットアップメニューの 基本設定 > 認証を選ぶと、製品型番などの認証情報が電子形式で表示されます。

セットアップメニュー（音設定）

カメラの音に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、**音設定**を選びます。



AF 合焦音量

シャッターボタン半押し中にピントが合ったときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

セルフタイマー音量

セルフタイマー使用時の音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

操作音量

ボタンなどを操作するときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
 OFF	消音に設定します。

REC 開始終了音量

動画撮影を開始するときと終了するときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
 OFF	消音に設定します。

MSEF 電子シャッター音量

メカニカルシャッターや電子先幕シャッター使用時のシャッターをきる
ときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
 OFF	消音に設定します。

MSEF 電子シャッター音

メカニカルシャッターや電子先幕シャッター使用時のシャッターをきるとききの音を設定します。

設定	説明
♪1サウンド 1	シャッター音 1 に設定します。
♪2サウンド 2	シャッター音 2 に設定します。
♪3サウンド 3	シャッター音 3 に設定します。

ES 電子シャッター音量

電子シャッター使用時のシャッターをきるとききの音量を設定します。

設定	説明
🔊(1)	音量「大」に設定します。
🔊(1)	音量「中」に設定します。
🔊(1)	音量「小」に設定します。
🔊OFF	消音に設定します。

ES 電子シャッター音

電子シャッター使用時のシャッターをきるとききの音を設定します。

設定	説明
♪1サウンド 1	シャッター音 1 に設定します。
♪2サウンド 2	シャッター音 2 に設定します。
♪3サウンド 3	シャッター音 3 に設定します。

再生音量

動画再生時の音量を設定します。

設定	説明
0	音量をオフに設定します。
1 ~ 10	音量を 1 ~ 10 に設定します。

4ch 音声再生

XLR マイクアダプターを使用して、4ch 録音で撮影された動画を再生するときの音声を選べます。

設定	説明
XLR	XLR マイクアダプターに取り付けられた外部マイクの音声を再生します。
カメラ	カメラの内蔵マイクまたはマイク端子に取り付けられた外部マイクの音声を再生します。



再生画面でフォーカスレバーを中央に押して設定を切り替えることもできます。

セッアップメニュー（表示設定）

カメラの画面表示に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セッアップ）タブを選び、**表示設定**を選びます。



VIEW MODE 設定

アイセンサー、EVF（ファインダー）、LCD（液晶モニター）の設定を切り替えます（ 18）。

EVF 明るさ

EVF（ファインダー）の明るさを調整できます。

設定	説明
AUTO	基準の明るさを設定すると、カメラが自動的に適切な明るさに調整します。
マニュアル	-7 ～ +5 の明るさを手動で調整します。

EVF 鮮やかさ

EVF（ファインダー）の鮮やかさを調整できます。

設定値										
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5

EVF 色調整

EVF（ファインダー）の色調を調整できます。

1 フォーカスレバーで色調を調整します。



2 MENU/OK ボタンで決定します。

LCD 明るさ

LCD（液晶モニター）の明るさを調整できます。

設定値										
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5

LCD 鮮やかさ

LCD（液晶モニター）の鮮やかさを調整できます。

設定値										
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5

LCD 色調整

LCD（液晶モニター）の色調を調整できます。

1 フォーカスレバーで色調を調整します。

2 MENU/OK ボタンで決定します。

撮影画像表示

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。

設定	説明
連続	シャッターボタンを半押しするまで、または MENU/OK ボタンを押すまで表示します。リアコマンドダイヤルの中央を押すと、ピント位置が拡大表示され、もう一度押すと元に戻ります。
1.5 秒 / 0.5 秒	撮影した画像を一定時間表示します。表示中にシャッターボタンを半押しすると、表示を終了します。
OFF	表示しません。



- 実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
- 高感度撮影時には、ノイズが目立つ場合があります。

縦横自動回転表示

ON にすると、撮影時にカメラが縦向きの場合、ファインダー（EVF）または液晶モニター（LCD）の表示が縦向きになります。

設定値	
ON	OFF

マニュアル時モニター露出 /WB 反映

マニュアル（M）撮影で、撮影画面に露出やホワイトバランスを反映できます。

設定	説明
露出反映 /WB 反映	露出とホワイトバランスの両方を反映した画面を表示します。
WB のみ反映	ホワイトバランスのみ反映した画面を表示します。デイトラッキング撮影など、撮影時に露出の条件が変わる場合に使用します。
OFF	露出もホワイトバランスも反映しません。タングステンモニタリングランプを使用したフラッシュ撮影など、撮影時に露出、ホワイトバランスの条件が変わる場合に使用します。

ナチュラルライブビュー

撮影画面に撮影効果を反映するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	撮影効果を反映せず、ソフトな階調で逆光シーンの暗い部分などの被写体を見やすいようにした画像が画面に表示されます。表示される画像の色味、階調は記録される画像と異なります。また、モノクロ、セピアでは一部撮影効果を反映した画像が表示されます。
OFF	フィルムシミュレーション、ホワイトバランスなどの撮影効果を反映した画像が画面に表示されます。

F-Log ビューアシスト

ON にすると、F-Log 撮影時や F-Log 撮影した動画の再生時に、階調補正を適用した映像（BT.709 相当）を画面に表示します。

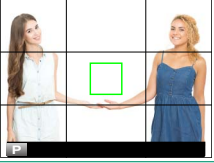
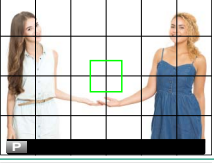
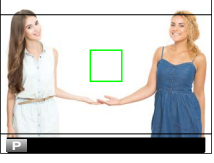
設定値	
ON	OFF

電子水準器設定

撮影時の電子水準器の表示を設定できます（ 25）。

フレーミングガイド

撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。

設定	説明	イメージ
 方眼 9 分割	縦横にガイド線が表示されます（9 コマ）。	
 方眼 24 分割	縦横にガイド線が表示されます（24 コマ）。	
 HD フレーミング	画面が 16:9 になるようなガイド線が表示され、HD 画像の構図が決めやすくなります。	

 フレーミングガイドは工場出荷時の設定では表示されない設定になっています。フレーミングガイドを表示する方法は「画面の表示について」をご覧ください（ 23）。

縦横自動回転再生

ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

設定値	
ON	OFF

距離指標の単位

撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます。

設定	説明
メートル	距離指標の単位をメートル（m）に設定します。
フィート	距離指標の単位をフィート（ft.）に設定します。

シネマレンズ使用時の絞り単位

別売のシネマレンズ FUJINON MKX シリーズレンズを使用したときの絞り値をシネマレンズ用の T 値（T ナンバー）で表示するか、通常のレンズと同じ F 値（F ナンバー）で表示するかを設定できます。シネマレンズの使い方については、レンズの使用説明書をご覧ください。

設定	説明
T 値	映画撮影用のレンズの絞り値の単位として一般的に使われています。レンズの透過率を考慮した実質的な明るさを表します。
F 値	通常のレンズで絞り値の単位として一般的に使われています。レンズの透過率が 100% であるという前提で明るさを表すため、レンズによっては実質的な明るさと異なる場合があります。

画面のカスタマイズ

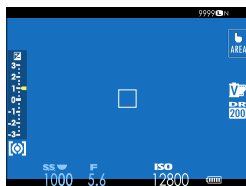
撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目を設定できます (図 23)。

情報表示拡大モード (EVF)

ON にすると、EVF 画面に表示する撮影時の情報を拡大して表示できます。拡大表示する情報は **表示設定 > 情報表示拡大 表示設定** で変更できます。



OFF



ON



情報表示拡大モード (EVF) を ON にすると、一部のアイコンが非表示になります (図 15)。



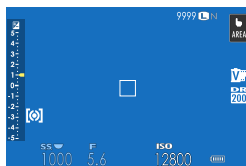
ファンクションボタンに**情報表示拡大モード**を割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで**情報表示拡大モード**の ON/OFF を切り替えられます (図 339)。

情報表示拡大モード (LCD)

ON にすると、LCD 画面に表示する撮影時の情報を拡大して表示できます。
 拡大表示する情報は **表示設定 > 情報表示拡大 表示設定** で変更できます。



OFF



ON

! 情報表示拡大モード (LCD) を ON にすると、一部のアイコンが非表示になります（[図 17](#)）。

📄 ファンクションボタンに情報表示拡大モードを割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで情報表示拡大モードの ON/OFF を切り替えられます（[図 339](#)）。

情報表示拡大 表示設定

表示設定 > 情報表示拡大モード (EVF)、情報表示拡大モード (LCD) を ON にしたときに拡大表示する項目を変更できます。



サブメニュー	説明
① 露出表示	画面の下部に表示する項目を選びます。画面に表示する項目には、 ☒ が表示されます。 ☒ が表示されている状態で MENU/OK ボタンを押すと、選択が解除されます。
② ゲージ	ON にすると、露出補正ゲージが拡大表示されます。
③ L1、L2、L3、L4	画面の左側に拡大表示するアイコンを最大4つまで選択できます。
④ R1、R2、R3、R4	画面の右側に拡大表示するアイコンを最大4つまで選択できます。

情報表示コントラスト調整

表示画面のコントラストを調整できます。

設定	説明
高コントラスト	コントラストを高めに（明暗差を大きく）設定します。
通常	通常表示です。
低コントラスト	コントラストを低めに（明暗差を小さく）設定します。
暗所	暗い環境で使用するときに適したコントラストに設定します。

位置情報表示

ON にすると、スマートフォンから取得した位置情報を表示できます。

設定値	
ON	OFF

📷 クイックメニュー背景設定

静止画撮影時のクイックメニューの背景を設定できます。

設定値	
透明	黒

🎥 クイックメニュー背景設定

動画撮影時のクイックメニューの背景を設定できます。

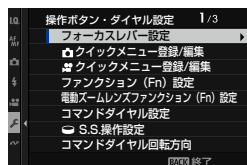
設定値	
透明	黒

セッアップメニュー

(操作ボタン・ダイヤル設定)

カメラの操作ボタンや操作ダイヤルに関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、 (セッアップ) タブを選び、**操作ボタン・ダイヤル設定**を選びます。



フォーカスレバー設定

フォーカスレバーを中央に押したり、上下左右に動かしたりしたときの動作を設定できます。

フォーカスレバー押下

設定	説明
OFF	フォーカスレバーを中央に押す操作を無効にします。
フォーカスエリア 選択	フォーカスエリアのサイズと位置の変更ができます。  顔検出 / 瞳 AF 設定や被写体検出 AF 設定がオンのときは、ピントを合わせる顔や瞳、被写体を選択できます。
拡大 / 縮小	フォーカスエリアの位置を拡大表示します (📖 91)。
中央へリセット	フォーカスエリアが中央に戻ります。

フォーカスレバー

設定	説明
OFF	フォーカスレバーを上下左右に動かす操作を無効にします。
AF ポイント ダイレクト移動	撮影画面のままフォーカスエリア位置を移動できます。
フォーカスエリア 選択	フォーカスエリアの選択画面が表示され、フォーカスエリアを選択できます。

クイックメニュー登録 / 編集

静止画撮影時にクイックメニューに表示するメニューを変更できます（ 333）。

クイックメニュー登録 / 編集

動画撮影時にクイックメニューに表示するメニューを変更できます（ 333）。

ファンクション（Fn）設定

ファンクションボタンに割り当てる機能を設定できます（ 339）。

電動ズームレンズファンクション（Fn）設定

ファンクションボタンがある電動ズームレンズを装着したときの、レンズのファンクションボタンに割り当てる機能を設定できます（ 345）。

コマンドダイヤル設定

フロントコマンドダイヤルとリアコマンドダイヤルの機能を設定できます。

設定	説明
フロントコマンドダイヤル 1	フロントコマンドダイヤル 1 に S.S. (プログラムシフト)、絞りまたはフィルムシミュレーションを割り当てます。
フロントコマンドダイヤル 2	フロントコマンドダイヤル 2 とフロントコマンドダイヤル 3、フロントコマンドダイヤル 4 に、 S.S. (プログラムシフト)、絞り、露出補正、ISO、フィルムシミュレーション、またはなしを割り当てます。
フロントコマンドダイヤル 3	
フロントコマンドダイヤル 4	
リアコマンドダイヤル	リアコマンドダイヤル回転時の機能に S.S. (プログラムシフト)、絞り、露出補正、ISO、フィルムシミュレーション、またはなしを割り当てます。



- **コマンドダイヤル設定**は、フロントコマンドダイヤルの中央を長押ししても設定できます。
- フロントコマンドダイヤルの中央を押すたびに、フロントコマンドダイヤル 1、フロントコマンドダイヤル 2、フロントコマンドダイヤル 3、フロントコマンドダイヤル 4 の順に切り替えます。

S.S. 操作設定

OFF にすると、コマンドダイヤルによるシャッタースピードの微調整機能が無効になります。

設定値	
ON	OFF

コマンドダイヤル回転方向

コマンドダイヤルで数値を変更するときの、ダイヤルを回す向きを変更できます。フロントコマンドダイヤルとリアコマンドダイヤルでそれぞれ設定できます。

設定	説明
－↔＋	コマンドダイヤルを右に回すと数値が増えたり、項目が次に進んだりします。
＋↔－	コマンドダイヤルを左に回すと数値が増えたり、項目が次に進んだりします。

半押し AF

ON にすると、シャッターボタン半押し時にオートフォーカスでピントを合わせます。

サブメニュー	説明
AF-S	• ON：シャッターボタンを半押しすると、オートフォーカスでピントを合わせ、ピントを固定します。 • OFF：シャッターボタンを半押ししてもフォーカスに関する動作は行いません。
AF-C	• ON：シャッターボタンを半押ししている間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。 • OFF：シャッターボタンを半押ししてもフォーカスに関する動作は行いません。

半押し AE

ON にすると、シャッターボタン半押し時にAEロック(露出を固定)します。フォーカスモードが **S** (AF-S) または **M** (マニュアルフォーカス) のときと、**C** (AF-C) のときでそれぞれ個別に設定できます。

設定値	
ON	OFF



連写時に露出を追従させたいときは、**OFF** にしてください。

レンズなしリリース

ON にすると、レンズを未装着でシャッターがきれます。

設定値	
ON	OFF

カードなしリリース

メモリーカードが未挿入時の動作を設定できます。

設定	説明
ON	メモリーカードが未挿入のときもシャッターがきれ、動作を確認できます。撮影メニューやセッティングメニューも表示できます。
OFF	メモリーカードが未挿入のときはシャッターがきれません。メモリーカードの入れ忘れ防止などに便利です。

レンズズーム/フォーカス設定

フォーカスリングがあるレンズや対応する電動ズームレンズを装着したときの動作を設定できます。

フォーカスリング回転方向

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）に遠距離側に合わせる場合の、フォーカスリングの回転方向を変更できます。

設定	説明
🕒 時計回り	フォーカスリングの回転方向を 🕒 時計回りに設定します。
🕒 反時計回り	フォーカスリングの回転方向を 🕒 反時計回りに設定します。

フォーカスリング操作

フォーカスリングの操作に応じたピント移動について設定できます。

設定	説明
ノンリニア	リング操作の回転速度に応じて、移動量可変でピントを移動します。
リニア	回転速度に応じず、回転量に対してリニアにピント移動します。

MF 定速フォーカス (Fn)

対応する電動ズームレンズ使用時に、ファンクションボタンでマニュアルフォーカス撮影をするときの、ピントの変化速度を設定できます。数値が大きいくほど変化する速度は速くなります。

設定値							
1(遅)	2	3	4	5	6	7	8(速)

定速ズーム (Fn)

対応する電動ズームレンズ使用時に、ファンクションボタンでズーム操作をするときの動作速度を設定できます。数値が大きいくほど速くなります。

設定値							
1(遅)	2	3	4	5	6	7	8(速)

定速ズーム / フォーカス操作 (Fn)

対応する電動ズームレンズ使用時に、ファンクションボタンで定速フォーカスや定速ズーム操作をするときの動作を設定できます。

設定	説明
スタート/ストップ	ファンクションボタンを押すとフォーカスやズームを行い、もう一度押すと止まります。
押下中のみ	ファンクションボタンを押している間、フォーカスやズームを行います。

ズームリング回転方向

対応する電動ズームレンズのズームリングを操作するときの、ズームリングの回転方向を変更できます。

設定	説明
🕒 時計回り	ズームリングの回転方向を 🕒 時計回りに設定します。
🕒 反時計回り	ズームリングの回転方向を 🕒 反時計回りに設定します。

ズーム / フォーカスコントロールリング

対応する電動ズームレンズのズーム / フォーカスコントロールリングの用途を設定できます。

設定値	
ズーム	フォーカス

AE/AF-LOCK 設定

AE ロックまたは AF ロックを割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。

設定	説明
AE/AF-LOCK 押下中のみ	ボタンを押している間、固定されます。
押下切替	ボタンを押すと固定され、もう 1 度ボタンを押すと解除されます。

AWB-LOCK 設定

AWB（オートホワイトバランス）ロックを割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。AWB ロックを使用すると、ホワイトバランス設定が  AUTO ホワイト優先、**AUTO**、 AUTO 雰囲気優先のときにホワイトバランスを固定できます。

設定	説明
AWB-LOCK 押下中のみ	ボタンを押している間、AWB ロックします。
押下切替	ボタンを押すと AWB ロックされ、もう 1 度ボタンを押すと解除されます。

絞りリング設定 (A)

絞りの設定が **A**（オート）のときに、フロントコマンドダイヤルを回すと絞り値を任意で変えられるように変更できます。

設定	説明
AUTO	絞りの設定が A （オート）のときはカメラが自動で絞り値を設定します。
コマンド	絞りの設定が A （オート）のときも、フロントコマンドダイヤルを回して絞り値を変えられます。

絞り設定

絞りリングなしレンズを使用しているときの絞りの操作方法を選択できます。

設定	説明
オート+ 📷 マニュアル	フロントコマンドダイヤルを回して、絞りの操作ができます。また、小絞り値からさらにダイヤルを回すと、 A （オート）も選べます。
オート	絞り設定がオートになります。プログラム（ P ）またはシャッタースピード優先（ S ）になります。
マニュアル	フロントコマンドダイヤルを回して、絞りの操作ができます。絞り優先（ A ）またはマニュアル（ M ）になります。

▶ Fn1 ボタン設定

再生モードで **Fn1** ボタンを押したときの動作を設定できます。

設定	説明
📱 スマートフォン 転送予約	表示している画像を転送予約します。スマートフォンとペアリングしていないときは Bluetooth/ スマートフォン設定 の画面が表示されます。
🎵 選択 & スマート フォン転送予約	画像選択画面を表示します。ペアリングしているスマートフォンに転送する画像を選んで転送予約できます（📖 246）。スマートフォンとペアリングしていないときは Bluetooth/ スマートフォン設定 の画面が表示されます。
📺 Frame.io 転送予約	表示している画像を Frame.io に転送予約します。
📶 ワイヤレス通信	ワイヤレス通信を行います。

タッチパネル設定

液晶モニター（LCD）のタッチ操作を行うかどうかを設定できます。

タッチパネル設定

設定	説明
ON	撮影時に液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用します。
OFF	タッチパネルとして使用しません。

ダブルタップ拡大

設定	説明
ON	撮影時に液晶モニター（LCD）を2回タッチすると、画像が拡大します。
OFF	タッチによる画像拡大はしません。

タッチファンクション

設定	説明
ON	タッチファンクションを使用します。
OFF	タッチファンクションを使用しません。

タッチズーム

設定	説明
ON	撮影時に液晶モニター（LCD）をタッチして、対応する電動ズームレンズのズーム操作を行います（  32）。
OFF	タッチズームを使用しません。

▶ タッチパネル設定

設定	説明
ON	再生時に液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用します。
OFF	タッチパネルとして使用しません。

EVF タッチパネル有効範囲

EVF 使用時に液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用できます。タッチパネルの有効範囲は次の中から選びます。

設定	説明
	全面で動作
	右半分で動作
	右上 1/4 側で動作
	右下 1/4 側で動作
	左半分で動作
	左上 1/4 側で動作
	左下 1/4 側で動作
OFF	タッチパネルとして使用しません。

ロック

カメラのボタンや機能をロックして誤操作を防止できます。機能別にロックするボタンや機能を選ぶこともできます。

サブメニュー	内容
ロック指定	- 解除：ロック指定を解除します。 - 全てロック：機能別ロック設定で選択できるすべてのボタンや機能を一括でロックします。 - 機能別ロック：機能別ロック設定で選んだボタンや機能をロックします。
機能別ロック設定	ロック指定で機能別ロックを選んだときにロックするボタンや機能を選びます。

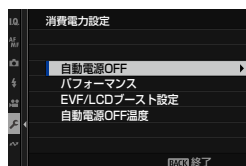


撮影画面で **MENU/OK** ボタンを長押しすると機能別ロックができます。もう一度長押しするとロックを解除します。

セッアップメニュー（消費電力設定）

カメラの消費電力に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**設定**（セッアップ）タブを選び、**消費電力設定**を選びます。



自動電源 OFF

自動的に電源をオフにできます。

設定	説明
5 分	設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
2 分	
1 分	
30 秒	
15 秒	
OFF	自動的に電源がオフになりません。

パフォーマンス

ブーストを選ぶと、カメラの AF 性能やファインダー表示の性能がアップします。

設定	説明
ブースト	カメラの AF 性能やファインダー表示の性能がアップします。バッテリーの持続時間は ノーマル よりも短くなります。
ノーマル	カメラの AF 性能やファインダー表示の性能、バッテリーの持続時間を標準の性能にします。
エコノミー	カメラの AF 性能やファインダー表示の性能を抑えます。バッテリーの持続時間は ノーマル より長くなります。

EVF/LCD ブースト設定

パフォーマンスでブーストを選んだときの、EVF や LCD の性能を設定します。

設定	説明
EVF/LCD 表示 低照度優先	EVF/LCD の明るさを調整して、暗所での被写体を見やすく表示します。映像にブレが生じると、残像が発生する場合があります。
EVF/LCD 表示 解像度優先	EVF/LCD 表示の解像度を高くして、被写体を高精細に表示します。
EVF 表示 フレームレート優先 (100P)	EVF 表示のフレームレートを高くして、動きをなめらかに表示します。

自動電源 OFF 温度

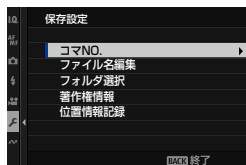
カメラの温度が上昇した際にはメッセージが表示され、さらに上昇すると、撮影を中断し電源を自動的にオフにします。その際の温度を変更できます。

設定	説明
標準	カメラの電源をオフにする温度を 標準 に設定します。
高	標準 に比べて、カメラの温度が高くなっても撮影することができます。動画撮影時など 高 に設定すると、 標準 に比べて撮影時間が長くなります。カメラを持ち続けると低温やけどの恐れがありますので、三脚などをお使いください。

セットアップメニュー（保存設定）

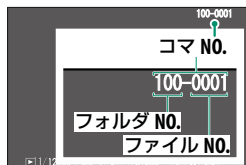
画像の保存に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**設定**（セットアップ）タブを選び、**保存設定**を選びます。



コマ NO.

メモリーカードを交換したときのコマ NO.（フォルダ NO. - ファイル NO.）の付け方を選びます。



設定	説明
連番	メモリーカード内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。ファイル名の重複を防げます。
新規	新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。フォーマット済みのメモリーカードに交換することで、番号をリセットできます。



- コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります。電源をオフにしてから、フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて撮影してください。
- 基本設定 > リセット**を行ってもコマ NO. はリセットされません。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

ファイル名編集

ファイル名（DSCF****/_DSF****）をそれぞれ変更できます。

設定	工場出荷時	変更例
sRGB	DSCF****	ABCD****
Adobe RGB	_DSF****	_ABC****

フォルダ選択

記録フォルダの切り替えや新規作成ができます。

設定	説明
フォルダ選択	フォーカスレバーを上下に動かして既存のフォルダを選択し、 MENU/OK ボタンを押すと、次に撮影する画像は選んだフォルダに保存されます。
フォルダ作成	5 文字のフォルダ名を入力し決定した後、撮影すると、入力した名前のフォルダが作成され、画像はそのフォルダに保存されます。

著作権情報

撮影時の著作権情報を画像の Exif 情報に記録できます。画面の内容にしたがってそれぞれ情報を入力すると、設定後に撮影された画像に著作権情報が記録されます。

設定	説明
著作権情報の表示	現在登録されている著作権情報を表示します。
作成者名の入力	作成者名を入力します。
著作権者名の入力	著作権者名を入力します。
著作権情報の削除	現在登録されている著作権情報を削除します。画像に著作権情報を残したくない場合は、 著作権情報の削除 を行ってから撮影してください。

位置情報記録

ON にすると、スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録することができます。

設定値	
ON	OFF

[illegible]

10

ショートカット機能

ショートカット機能について

用途や場面に合わせてショートカット機能を使い分けると便利です。

このカメラでは、よく使う機能のメニューをマイメニューやクイックメニューに登録して使用したり、ファンクションボタン、タッチファンクションで機能をダイレクトで呼び出したりできます。

ショートカット機能	内容	📖
マイメニュー	よく使うメニューなどを選んでマイメニューに登録しておくことができます。 MENU/OK ボタンを押して、 MY (マイメニュー) タブを選ぶと、登録したメニューのみが表示されます。	331
クイックメニュー	Q ボタンを押すと Q (クイックメニュー) が表示され、よく使うメニュー項目の設定値を確認できます。 Q (クイックメニュー) で設定値を変更することもできます。	333
ファンクションボタン	あらかじめ割り当てられている機能のファンクションボタンを押すと、ダイレクトで割り当てた機能呼び出すことができます。	339
タッチファンクション	タッチファンクション (T-Fn1/T-Fn2/T-Fn3/T-Fn4) でタッチパネルをフリックして、あらかじめ割り当てられている機能をダイレクトで呼び出すことができます。	343
レンズファンクションボタン	ファンクションボタンがあるレンズを使用する場合、ファンクションボタンに機能を割り当てて呼び出すことができます。	345

マイメニュー

よく使うメニューを自由にまとめて登録できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**MY**（マイメニュー）タブを選びます。



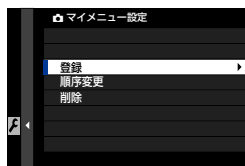
❗ **MY** マイメニューにメニューが登録されていないときは **MY**（マイメニュー）タブを選ぶことはできません。

マイメニュー設定

よく使うメニューなどを **MY** マイメニューに登録しておくことができます。登録したメニューは、**MY**（マイメニュー）タブを選ぶと表示されます。

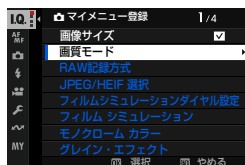
- 1 セットアップメニューの **基本設定** > **マイメニュー設定**または **マイメニュー設定**を選びます。

メニューが表示されます。



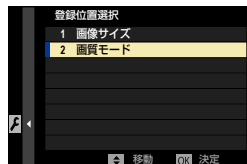
📁 **順序変更**を選ぶと登録したマイメニューの順番を変更できます。**削除**を選ぶと登録したマイメニューを削除できます。

- 2 **登録**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
登録可能なメニューが青文字で表示されます。



📁 登録済みのメニューにはチェックマークが付きます。

- 3** 登録するメニューを選んで **MENU/OK** ボタンを押します。
もう一度 **MENU/OK** ボタンを押してメニューの選択画面に戻ります。
- 4** 次に登録するメニューを選んで **MENU/OK** ボタンを押します。登録するメニューの順序を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- 5** 手順 4 を繰り返してマイメニューを登録します。
マイメニューの登録を終了するときは **DISP/BACK** ボタンを押します。

 最大 16 項目 (8 × 2 ページ) のメニューが登録できます。

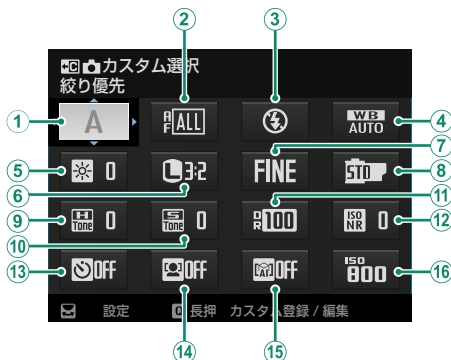
クイックメニュー

クイックメニューを使うと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます。クイックメニューは **Q** ボタンを押して表示させます。

クイックメニュー画面

クイックメニューに表示する項目は静止画撮影時と動画撮影時で個別に設定できます。工場出荷時は、クイックメニューに以下の機能が割り当てられています。

静止画撮影時

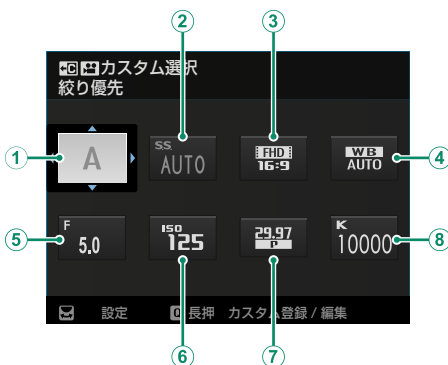


工場出荷時の設定

① カスタム選択*	⑨ ハイライトトーン
② AF モード	⑩ シャドウトーン
③ フラッシュ機能設定	⑪ ダイナミックレンジ
④ ホワイトバランス	⑫ 高感度ノイズ低減
⑤ EVF/LCD 明るさ	⑬ セルフタイマー
⑥ 画像サイズ	⑭ 顔検出 / 瞳 AF 設定
⑦ 画質モード	⑮ 被写体検出 AF 設定
⑧ フィルムシミュレーション	⑯ 感度

* カスタム選択を設定していないときは撮影モードが表示されます。

各メニュー (② ~ ⑯) には、それぞれの設定値が表示されます。各メニュー項目は、入れ替えることができます。



工場出荷時の設定

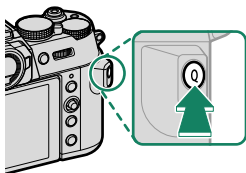
① カスタム選択*	⑤ 絞り (動画専用操作モード)
② シャッタースピード (動画専用操作モード)	⑥ 感度
③ 動画モード 解像度/アスペクト比	⑦ 動画モード フレームレート
④ ホワイトバランス	⑧ ホワイトバランス色温度 (K 設定時)

* カスタム選択を設定していないときは撮影モードが表示されます。

各メニュー (②～⑧) には、それぞれの設定値が表示されます。各メニュー項目は、入れ替えることができます。

設定の確認と変更

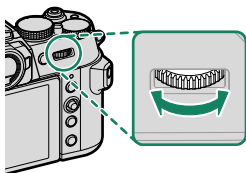
- 1** 撮影画面で **Q** ボタンを押します。
クイックメニューが表示されます。



- 2** 設定を変更するメニュー項目をフォーカスレバーで選びます。



- 3** リアコマンドダイヤルで設定値を選びます。



 クイックメニューが表示されているときに **Q** ボタンを長押しすると、
 カスタム登録/編集または  カスタム登録/編集の画面が表示されます。

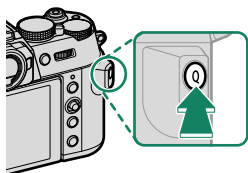
- 4** **Q** ボタンを押します。
表示されている設定値になり、撮影画面に戻ります。

-  クイックメニューの操作はタッチ操作でも行えます。
- Q** ボタンはファンクションボタンとして使用できます。 操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定で、ファンクションボタンの機能を他の機能に割り当てることができます。また、ファンクションボタンの機能を他のボタンに割り当てすることもできます (p.339)。
-  操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定で **Q** ボタン設定をなしに設定すると、**Q** (クイックメニュー) ボタンは無効になります。

クイックメニューの割り当て変更

クイックメニューに表示するメニューを変更できます。

- 1 撮影画面で **Q** ボタンを長押しします。
クイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。



静止画撮影時 / 動画撮影時によって、静止画または動画のクイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。

- 2 割り当てを変更するメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 3 割り当てるメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
クイックメニューにメニューが割り当てられます。



クイックメニューの割り当ては、**操作ボタン・ダイヤル設定 > クイックメニュー登録 / 編集**または **クイックメニュー登録 / 編集**からも設定できます。

割り当て可能なメニュー（静止画）

- 画像サイズ
- 画質モード
- フィルム シミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- D レンジ優先
- ホワイトバランス
- ホワイトバランス色温度（ 設定時）
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- 明瞭度
- 高感度ノイズ低減
- AF モード
- AF-C カスタム設定
-  顔検出 / 瞳 AF 設定
- 被写体検出 AF 設定
- MF アシスト
- タッチパネルモード
- セルフタイマー
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
- 感度
- フラッシュ機能設定
- フラッシュ調光補正
- 動画モード 解像度／アスペクト比
- 動画モード フレームレート
- ビットレート
- ハイスピード撮影
-  ブレ防止モード
-  ブレ防止モードブースト
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- ATOMOS AirGlu BT と接続
- 電子音 & フラッシュ
- EVF/LCD 明るさ
- EVF/LCD 鮮やかさ
- なし



なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てではなくなります。

割り当て可能なメニュー（動画）

- フィルム シミュレーション
- ダイナミックレンジ
- ホワイトバランス
- ホワイトバランス色温度（ 設定時）
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- 高感度ノイズ低減
-  顔検出 / 瞳 AF 設定
- 被写体検出 AF 設定
- MF アシスト
- タッチパネルモード
- 測光
- 動画感度
- 動画モード 解像度／アスペクト比
- 動画モード フレームレート
- ビットレート
- ハイスピード撮影
-  セルフタイマー
- 動画 AF モード
- 動画クロップ倍率固定モード
-  プレ防止モード
-  プレ防止モードブースト
- シャッタースピード
（動画専用操作モード  ）
- 絞り（動画専用操作モード  ）
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- ATOMOS AirGlu BT と接続
- 電子音 & フラッシュ
- EVF/LCD 明るさ
- EVF/LCD 鮮やかさ
- なし



なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。

ファンクション機能

ファンクションボタン、タッチファンクションに、それぞれ機能を1つ割り当てられます。

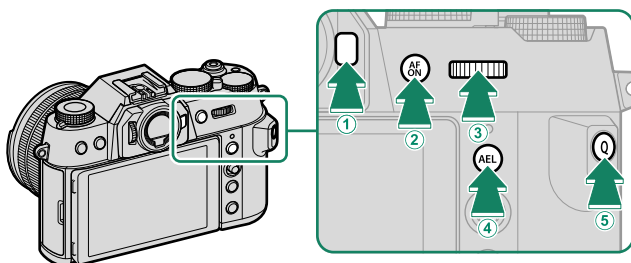
ファンクションボタン

ファンクションボタンを押すだけで機能を切り替えたり、設定画面を呼び出したりできます。

ファンクションボタンの工場出荷時設定

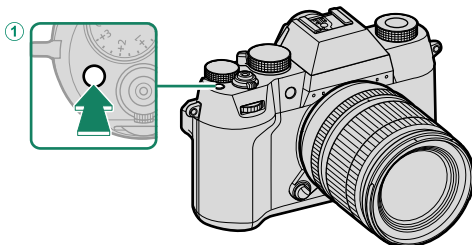
工場出荷時に割り当てられている機能とボタンの位置は次のとおりです。

背面のファンクションボタン



ファンクションボタン	割り当てられている機能
① Fn2 ボタン	フィルム シミュレーション
② AFON ボタン	AF-ON
③ リアコマンドダイヤル中央押し	フォーカスチェック
④ AEL ボタン	AE LOCK のみ
⑤ Q ボタン	クイックメニュー

前面のファンクションボタン



ファンクションボタン	割り当てられている機能
① Fn1 ボタン	顔検出 ON/OFF

ファンクションボタンの割り当て変更

ファンクションボタンの割り当ては、**操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルム シミュレーション
- グ레인・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- D レンジ優先
- ホワイトバランス
- 明瞭度
- カスタム選択
- カスタム 1 設定呼び出し
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 ON/OFF
- 右目 / 左目切替
- 被写体検出 ON/OFF
- フォーカスリミッター
- フォーカスチェックロック
- MF アシスト ON/OFF
- スポーツファインダーモード
- プリ撮影 **ES**
- セルフタイマー
- AE ブラケットング設定

- フォーカス BKT 設定
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
- フリッカーレス S.S. 設定
- 感度
- プレ防止モード
- デジタルテレコン
- ワイヤレス通信
- フラッシュ調光補正
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- 動画リリース
- ハイスピード撮影
-  セルフタイマー
- 動画クロップ倍率固定モード
-  プレ防止モードブースト
- ゼブラ設定
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 4ch 音声再生
- 動画専用操作モード 
- ATOMOS AirGlu BT と接続
- VIEW MODE 設定
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- ヒストグラム
- 電子水準器切替
- 情報表示拡大モード
- F-Log ビューアシスト
- ズーム / フォーカスコントロールリング
- 定速ズーム (T)
- 定速ズーム (W)
- **MF** 定速フォーカス (N)
- **MF** 定速フォーカス (F)
- AE LOCK のみ
- AF LOCK のみ
- AE/AF LOCK
- AF-ON
- AWB LOCK のみ
- 絞り設定
- ロック指定
- パフォーマンス
- 撮影時 自動画像転送
- ペアリング接続先選択
- Bluetooth ON/OFF
- クイックメニュー
- 再生モード
- なし



なしを選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。

AF-ON の割り当て

AF-ON を割り当てたボタンを押すとピント合わせを行います。

モデリング発光の割り当て

モデリング発光に対応したクリップオンフラッシュを装着している状態で、**モデリング発光**を割り当てたボタンを押すと、モデリング発光を行います。撮影前に被写体の影の出かたなどを確認できます。

TTL-LOCK の割り当て

TTL-LOCK を割り当てたボタンを押すと、**⚡ フラッシュ設定 > TTL-LOCK モード**で設定されているモードでロックできます（📖 185）。

カスタム 1 設定呼び出しの割り当て

カスタム 1 設定呼び出しを割り当てたボタンを撮影中に押すと、一時的に**カスタム 1**に割り当てた設定で撮影できます。もう一度押すと元の設定に戻ります。

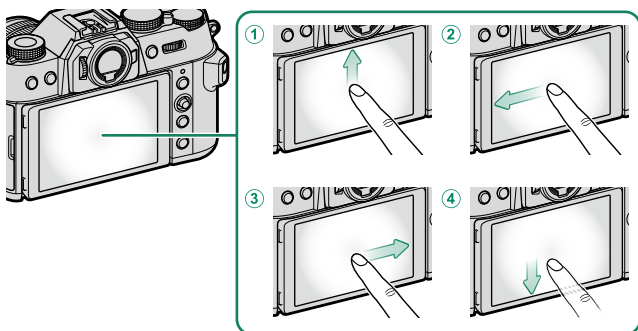
タッチファンクション

タッチファンクション（**T-Fn1/T-Fn2/T-Fn3/T-Fn4**）機能は、タッチパネル（液晶モニター）のフリック動作で機能呼び出すことができます。

 タッチファンクションは工場出荷時の設定ではオフになっています。タッチファンクションを使用する場合は、 操作ボタン・ダイヤル 設定 > タッチパネル設定 > **T-Fn** タッチファンクションを **ON** にしてください。

タッチファンクションの工場出荷時設定

工場出荷時に割り当てられている機能とフリック方向は次のとおりです。



タッチファンクション	割り当てられている機能
① T-Fn1 （液晶モニターを上フリック）	ヒストグラム
② T-Fn2 （液晶モニターを左フリック）	フィルム シミュレーション
③ T-Fn3 （液晶モニターを右フリック）	電子水準器切替
④ T-Fn4 （液晶モニターを下フリック）	AF モード

タッチファンクションの割り当て変更

タッチファンクションの割り当ては、 **操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルム シミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- D レンジ優先
- ホワイトバランス
- 明瞭度
- カスタム選択
- カスタム 1 設定呼び出し
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 ON/OFF
- 右目 / 左目切替
- 被写体検出 ON/OFF
- フォーカスリミッター
- フォーカスチェックロック
- MF アシスト ON/OFF
- スポーツファインダーモード
- プリ撮影 
- セルフタイマー
- AE ブラケットング設定
- フォーカス BKT 設定
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
- フリッカーレス S.S. 設定
- 感度
- ブレ防止モード
- デジタルテレコン
- ワイヤレス通信
- フラッシュ調光補正
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- ハイスピード撮影
-  セルフタイマー
- 動画クロップ倍率固定モード
-  ブレ防止モードブースト
- ゼブラ設定
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 4ch 音声再生
- 動画専用操作モード 
- ATOMOS AirGlu BT と接続
- VIEW MODE 設定
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- ヒストグラム
- 電子水準器切替

- 情報表示拡大モード
- F-Log ビューアシスト
- ズーム / フォーカスコントロールリング
- 絞り設定
- ロック指定
- パフォーマンス
- 撮影時 自動画像転送
- ペアリング接続先選択
- Bluetooth ON/OFF
- クイックメニュー
- 再生モード
- なし



なしを選ぶと、タッチファンクションの割り当てはなくなります。

レンズファンクションボタン

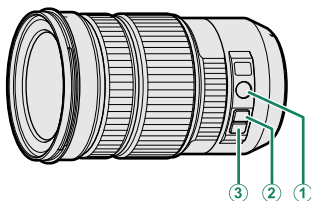
レンズファンクションボタンのある電動ズームレンズを使用する場合、ファンクションボタンに別の機能を割り当てることができます。

レンズファンクションボタンの工場出荷時設定

工場出荷時に割り当てられている機能とボタンの位置は次のとおりです。



ここでは、XF18-120mmF4 LM PZ WR を例に説明しています。



レンズファンクションボタン	割り当てられている機能
① Z/F	ズーム / フォーカスコントロールリング
② L-Fn1 (ズームボタン上)	定速ズーム (T)
③ L-Fn2 (ズームボタン下)	定速ズーム (W)

レンズファンクションボタンの割り当て変更

レンズファンクションボタンの割り当ては、 **操作ボタン・ダイヤル設定 > 電動ズームレンズファンクション (Fn) 設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルム シミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- D レンジ優先
- ホワイトバランス
- 明瞭度
- カスタム選択
- カスタム 1 設定呼び出し
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 ON/OFF
- 右目 / 左目切替
- 被写体検出 ON/OFF
- フォーカスリミッター
- フォーカスチェックロック
- MF アシスト ON/OFF
- スポーツファインダーモード
- プリ撮影 
- セルフタイマー
- AE ブラケットング設定
- フォーカス BKT 設定
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
- フリッカーレス S.S. 設定
- 感度
- ブレ防止モード
- デジタルテレコン
- ワイヤレス通信
- フラッシュ調光補正
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- 動画リリース
- ハイスピード撮影
-  セルフタイマー
- 動画クロップ倍率固定モード
-  ブレ防止モードブースト
- ゼブラ設定
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 4ch 音声再生
- 動画専用操作モード 
- ATOMOS AirGlu BT と接続
- VIEW MODE 設定
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- ヒストグラム
- 電子水準器切替

- 情報表示拡大モード
- F-Log ビューアシスト
- ズーム / フォーカスコントロールリング
- 定速ズーム (T)
- 定速ズーム (W)
- **MF** 定速フォーカス (N)
- **MF** 定速フォーカス (F)
- AE LOCK のみ
- AF LOCK のみ
- AE/AF LOCK
- AF-ON
- AWB LOCK のみ
- 絞り設定
- ロック指定
- パフォーマンス
- 撮影時 自動画像転送
- ペアリング接続先選択
- Bluetooth ON/OFF
- クイックメニュー
- 再生モード
- なし



- **なし**を選ぶと、レンズファンクションボタンの割り当てはなくなります。
- **定速ズーム (T)** または、**定速ズーム (W)** を割り当てているときは、機能別ロック設定が無効になります (図 322)。

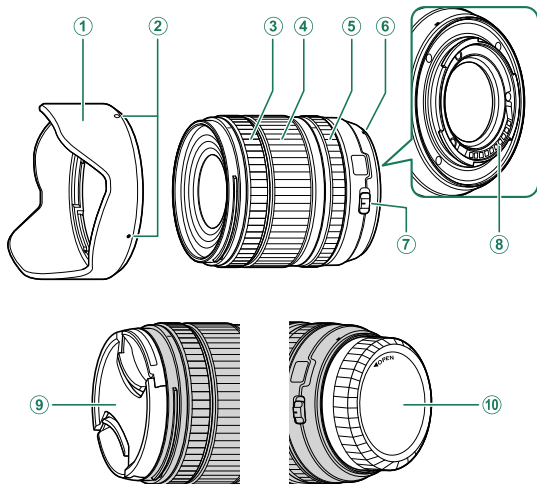
[illegible]

オプション品・ 外部機器の使い方

交換レンズ

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM X マウント対応の交換レンズが使用できます。

レンズの各部名称



- ① レンズフード
- ② 取り付け指標
- ③ フォーカスリング
- ④ ズームリング
- ⑤ 絞りリング

- ⑥ 取り付け指標（焦点距離）
- ⑦ 絞りモードスイッチ
- ⑧ レンズ信号接点
- ⑨ レンズフロントキャップ
- ⑩ レンズリアキャップ



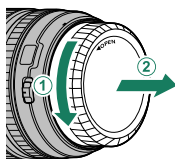
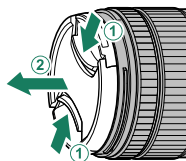
ここでは、XF16-50mmF2.8-4.8 R LM WR を例に説明しています。

交換レンズのお手入れ

- 使用後は、ブロワーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてから保管してください。汚れがひどいときは、富士フイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 交換レンズを保管するときは、レンズフロントキャップとレンズリアキャップを取り付けてください。

レンズキャップの取り外し方

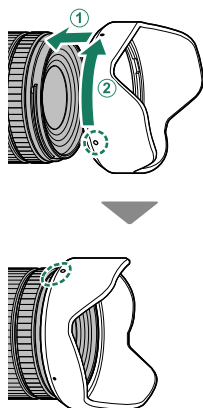
図のようにレンズキャップを取り外します。



❗ レンズキャップは形状が異なることがあります。

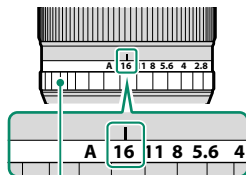
レンズフードの取り付け方

レンズフードを取り付けると、画像に悪影響を及ぼす光線をカットし、レンズ面の保護にも役立ちます。



絞りリング付きレンズについて

レンズで絞りを **A** 以外に設定しているときは、レンズの絞りリングで絞りを調整できます (**A** (絞り優先) または **M** (マニュアル) モードのとき)。



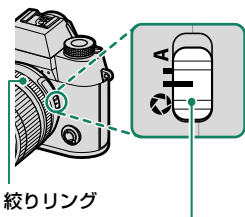
絞りリング



- 動画専用操作モード  が **ON** のときは、絞りリング操作は無効になります。
- 絞りを **A** に設定しているときは、コマンドダイヤルで絞りを調整できます。

絞りモードスイッチがあるレンズの場合

絞りモードスイッチがあるレンズでは、絞りモードスイッチを  の位置に設定すると、レンズの絞りリングで絞りを調整できます。

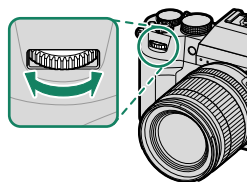


絞りリング

絞りモードスイッチ

絞りリングなしレンズについて

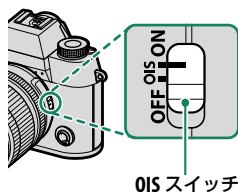
絞りリングなしレンズを使用しているときはフロントコマンドダイヤルで絞りを調整します（**A**（絞り優先）または**M**（マニュアル）モードのとき）。



操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定で、リアコマンドダイヤルに設定を変更することもできます。

手ブレ補正対応レンズについて

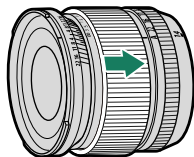
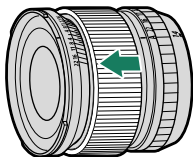
手ブレ補正対応レンズを使用しているときは、カメラのメニューでブレ防止モードを設定できます。レンズに手ブレ補正のスイッチ（OISスイッチ）がある場合は、OISスイッチを**ON**の位置に合わせると、手ブレ補正機能が使用できます。



OISスイッチ

フォーカスリングの移動により MF 撮影が可能なレンズについて

- **AF** 時は、フォーカスリングをフロント側にセットしてください。
- **MF** 時は、フォーカスリングをリア側にセットしてください。



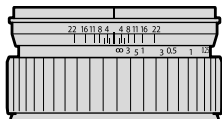
ライブビューで画像を確認しながらフォーカスリングを回し、ピントを調整してください。距離指標と被写界深度目盛を活用した目測による **MF** 撮影も容易に行えます。

! フォーカスリングをリア側（**MF**）に移動しても、撮影モードによっては、**MF** 撮影できない場合があります。

被写界深度目盛

絞り値によるピントの合う範囲の目安は、被写界深度目盛で確認できます。

- レンズの被写界深度スケールは、フィルム基準です。



電動ズームレンズについて

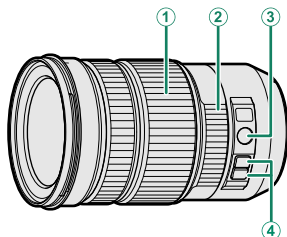
電動ズームレンズを使用しているときは、ズーム / フォーカスコントロールリング、ズームボタン、ズームリングでズーム操作が行えます。



濡れた状態でズーム操作を行うと、内部に水が入りやすくなるので、水分を拭き取ってから操作してください。



ここでは、XF18-120mmF4 LM PZ WR を例に説明しています。



名称	説明
① ズームリング	ズームリングを回してマニュアルでズーム操作が行えます。
② ズーム / フォーカスコントロールリング	ズーム / フォーカスコントロールリングを回している間、電動ズームします。回す量によってズームの速度が変わります。
Z/F ボタン	
③ (ズーム / フォーカス切り換えボタン)	ズーム / フォーカスコントロールリングの機能をズームまたはフォーカスで切り替えることができます。
④ ズームボタン	ズームボタンを押すと一定速度で電動ズームします。もう一度押すとズームを終了します。



- **操作ボタン・ダイヤル設定 > 電動ズームレンズファンクション (Fn)** 設定で、**Z/F** ボタンやズームボタンに別の機能を割り当てることもできます。
- **操作ボタン・ダイヤル設定 > レンズ ズーム / フォーカス設定**で、ズームボタンのズーム速度を変更できます。

クリップオンフラッシュ

別売のクリップオンフラッシュを使うと、大光量の撮影ができます。別売のクリップオンフラッシュには、同調速度よりも高速シャッターに対応するFP（ハイスピードシンクロ）発光対応の製品や、単灯フラッシュとしてだけでなく、ワイヤレス多灯フラッシュシステムのコマンダーフラッシュとしてもご使用いただける製品もあります。

 カメラでセットアップメニューを表示しているときなど、フラッシュのテスト発光ができない場合があります。

赤目補正について

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象を「赤目現象」といいます。赤目現象を補正したいときは、**📷 フラッシュ設定 > 赤目補正を赤目抑制発光に設定**します。

フラッシュ使用時のシャッタースピードについて

フラッシュ撮影したときのシャッタースピード同調速度は $1/180$ 秒以下です。

別売フラッシュについて

このカメラでは、別売の富士フィルム製クリップオンフラッシュが使用できます。

他社製のフラッシュをお使いになるときの注意

カメラのホットシューに 300V 以上の電圧がかかるフラッシュは使用できません。TTL 非対応のフラッシュを使用する場合は、発光モードを **M** にしてください。

フラッシュを設定する

1 使用するフラッシュをカメラに接続します。

2 撮影メニューの **フラッシュ設定** > **フラッシュ機能設定** を選びます。

カメラに接続しているフラッシュの状態により、表示されるメニューや設定可能な項目が異なります。



フラッシュ設定	説明	
内蔵フラッシュ	フラッシュをポップアップしている場合に表示されます。	121
シンクロ ターミナル	フラッシュをポップアップしていない場合や、ホットシューに何も接続されていない場合、またはカメラに対応したクリップオンフラッシュ以外が接続されている場合に表示されます。	359
クリップオン フラッシュ	別売のクリップオンフラッシュ（EF-X8 を除く）を接続して、電源を入れている場合に表示されます。	360
コマンダー （光通信）	富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したコマンダーフラッシュを使用するときに表示されます。光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応している別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます。	363

3 フラッシュの設定を変更します。

フォーカスレバーで変更する項目を選び、リアコマンドダイヤルで設定値を変更します。



4 DISP/BACK ボタンを押します。

フラッシュモードが設定されます。

シンクローミナル

別売のクリップオンフラッシュを使用していないときに表示されます。



項目	設定 / 説明
① モード (発光モード)	ホットシュー X 接点 (シンクローミナル) からトリガー信号を発行するかどうかを選びます。 ● M: 撮影に同期して、ホットシュー X 接点 (シンクローミナル) からトリガー信号が発行されます。撮影は同調速度よりも長いシャッタースピードを使用する必要があります。また、発光時間の長いフラッシュ、応答の遅いフラッシュなどを使用する場合は、さらに遅いシャッタースピードを設定してください。 ● OFF: ホットシュー X 接点 (シンクローミナル) からトリガー信号を発行しません。
② 同調モード	フラッシュが発光するタイミングを選びます。 ● FRONT (先幕): シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。 ● REAR (後幕): シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。

クリップオンフラッシュ

別売のクリップオンフラッシュを使用するときに表示されます。



項目	設定 / 説明
①モード (発光モード)	フラッシュに設定されている発光モードが表示されます。カメラで発光モードを変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光モードを選択することができます。表示される内容や設定可能な項目はご使用されているフラッシュにより異なります。 • TTL : TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整できます。 • M : 被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光量で発光強度を変更できます。 • Multi : 対応しているクリップオンフラッシュをご使用の場合、1回の撮影中に複数回発光（マルチ発光）します。 • OFF : フラッシュを使用しません。フラッシュを使用しない設定が可能なフラッシュをご使用の場合に選択できます。

項目	設定 / 説明
② 調光補正 / 発光量 (発光強度)	● モードが TTL のときに、調光補正量を調整できます。撮影条件によっては調整可能範囲を超え、設定値が反映されない場合があります。EF-X20、EF-20、EF-42 をご使用の場合は、フラッシュ本体での調光補正設定と合算した補正量が適用されます。 ● モードが M のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、フル発光 ($1/1$) から $1/512$ 発光まで、$1/3$ 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。 ● モードが Multi のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、$1/4$ 発光から $1/512$ 発光まで $1/3$ 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。
③ TTL モード	TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード (P、S、A、M) によって選択可能な設定が異なります。 ● ☑ (フラッシュ発光 AUTO) : 被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。 ● ☑ (スタンダード) : 一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。 ● ☑ (スローシンクロ) : 夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。

項目	設定 / 説明
④同調モード	フラッシュが発光するタイミングを選びます。 ●  (先幕) : シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。 ●  (後幕) : シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。 ●  (AUTO FP(HSS)) : FP (ハイスピードシンクロ) に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP (ハイスピードシンクロ) と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動で FP になります。モードが Multi のときは、先幕 となります。 * AUTO FP(HSS) 選択時は、シャッタースピードによっては撮影した画像に横縞が発生することがあります。
⑤ズーム設定	照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。カメラで設定変更が可能なフラッシュをご使用の場合は、照射角ズームを設定できます。AUTO の設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。
⑥配光設定 (配光特性)	本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画面に対するフラッシュ光の配光 (照射角) 特性を変更できます。 ●  (光量優先) : フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。 ●  (スタンダード) : 撮影画面に対して最適な照射角にします。 ●  (配光優先) : 照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。
⑦LED ライト 設定	本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、フラッシュ内蔵の LED ライトの用途を設定できます。 ●  (キャッチライト) : キャッチライトのみ使用します。 ● AF (AF 補助光) : AF 補助光のみ使用します。 ●  (AF 補助光+キャッチライト) : AF 補助光とキャッチライトの両方を使用します。 ● OFF : どちらも使用しません。
⑦TIMES* (発光回数)	モードが Multi のときに、1 回の撮影における発光回数を設定します。
⑧Hz* (発光周波数)	モードが Multi のときに、発光周波数を設定します。

* フラッシュの能力を超えた設定を行った場合は、フラッシュ側で設定が調整される場合があります。

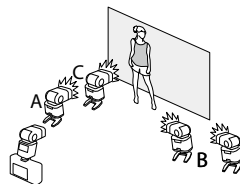
コマンダー（光通信）

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのコマンダーフラッシュを接続している場合に表示されます。



富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムでは、コマンダーフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルをCH1～CH4から設定することができます。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分ける際に便利です。

また、システムを構成するフラッシュをA、B、Cの3つのグループに分けて、グループごとに発光モード、発光量を設定できます。



項目	設定 / 説明
①A グループ モード ②B グループ モード ③C グループ モード (発光モード)	それぞれのグループの発光モードを設定します。A、B グループは TTL/TTL%/M/Multi/OFF から選択できます。C グループは TTL/M/Multi/OFF から選択できます。 • TTL : TTL を設定したグループのフラッシュは TTL 自動調光で発光します。グループごとに調光補正を設定できます。 • TTL% : A または B グループで TTL% を設定すると、A グループと B グループの発光を光量比で設定できます。また A、B グループ全体として調光補正を設定できます。 • M : M を設定したグループのフラッシュは、被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。グループごとにフル発光を基準として発光強度を設定できます。 • Multi : A、B または C グループを Multi に設定すると、システム全体がマルチ発光モードになります。マルチ発光モードでは 1 回の撮影中に複数回発光させることができます。 • OFF : OFF を設定したグループのフラッシュは発光しません。
④A グループ 調光補正 / 発光量 ⑤B グループ 調光補正 / 発光量 ⑥C グループ 調光補正 / 発光量 (発光強度)	グループごとに設定されるモードに応じて、調光補正や発光強度が設定できます。 • モードが TTL に設定されているときは調光補正を設定できます。 • モードが M/Multi に設定されているときは発光強度を設定できます。 • モードが TTL% に設定されているときは光量比と調光補正が設定できます。 補正量、発光強度の設定がフラッシュの調整能力を超える場合には、十分に調整できない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。

項目	設定 / 説明
⑦ TTL モード	TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード (P、S、A、M) によって選択可能な設定が異なります。  (フラッシュ発光 AUTO) : 被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。  (スタンダード) : 一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。  (スローシンクロ) : 夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
⑧ 同調モード	フラッシュが発光するタイミングを選びます。  (先幕) : シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。  (後幕) : シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。  (AUTO FP(HSS)) : FP (ハイスピードシンクロ) に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP (ハイスピードシンクロ) と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動で FP になります。モードが Multi のときは、先幕となります。
⑨ ズーム設定	照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。また、ご使用のフラッシュによっては、カメラで照射角ズームを設定できます。AUTO の設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。

項目	設定 / 説明
⑩ 配光設定 (配光特性)	本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画角に対するフラッシュ光の配光（照射角）特性を変更できます。 ☞ (光量優先)：フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。 ☞ (スタンダード)：撮影画角に対して最適な照射角にします。 ☞ (配光優先)：照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。
⑪ コマンダー 設定 (コマンダー 発光設定)	モードが TTL、TTL%、M のときに、富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのコマンダーフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。 ● Gr A：A グループに設定します。 ● Gr B：B グループに設定します。 ● Gr C：C グループに設定します。 ● OFF：撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。
⑪ TIMES (発光回数)	モードが Multi のときに、1 回の撮影における発光回数を設定します。
⑫ CH 設定	コマンダーフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。
⑫ Hz (発光周波数)	モードが Multi のときに、発光周波数を設定します。

12

資料

カメラで使えるアクセサリー

このカメラでは、以下の富士フイルム製アクセサリーを使用できます。最新情報やその他のアクセサリーについては「対応情報」<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/>をご覧ください。

充電式バッテリー NP-W126S：リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。

バッテリーチャージャー BC-W126S：充電式バッテリー NP-W126S を充電します。充電時間は約 150 分（+20℃において）です（AC100V～240V、50/60Hz 対応）。

リモートリリース RR-100：三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください（φ 2.5mm 端子）。ご使用になる場合は、市販の φ 2.5mm → 3.5mm 変換アダプターが必要です。

ステレオマイク MIC-ST1：動画撮影時の外部マイクとしてお使いください。

XF シリーズレンズ /XC シリーズレンズ：FUJIFILM X マウント専用の交換レンズです。

シネマレンズ FUJINON MKX シリーズレンズ：FUJIFILM X マウント専用のシネマレンズです。

マクロエクステンションチューブ MCEX-11/16：カメラボディと交換レンズの間に装着することで、高い撮影倍率でマクロ撮影が可能となります。

テレコンバーター XF1.4X TC WR：対応するレンズの焦点距離を約 1.4 倍にするテレコンバーターです。

テレコンバーター XF2X TC WR：対応するレンズの焦点距離を約 2.0 倍にするテレコンバーターです。

M マウントアダプター：豊富なバリエーションを持つ M マウントレンズをカメラボディに装着するためのマウントアダプターです。

クリップオンフラッシュ EF-X500：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 50 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。同調速度を超えた高速シャッターに追従する FP (ハイスピードシンクロ) 発光や、富士フィルム光通信多灯システムのコマンダーフラッシュ、リモートフラッシュとしても使用できます。別売外部電源 EF-BP1 にも対応しています。

バッテリーパック EF-BP1：EF-X500 用の外部バッテリーパックです。単 3 電池 8 本を搭載可能です。

クリップオンフラッシュ EF-60：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 60 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。同調速度を超えた高速シャッターに追従する FP (ハイスピードシンクロ) 発光や、別売ワイヤレスコマンダー EF-W1 をコマンダーとしたリモートフラッシュとしても使用できます。

ワイヤレスコマンダー EF-W1：NAS* 無線通信方式に対応したフラッシュ用ワイヤレスコマンダーです。別売クリップオンフラッシュ EF-60 やニッシンジャパン株式会社の NAS 対応フラッシュと合わせて使用できます。

*NAS はニッシンジャパン株式会社の登録商標です。

クリップオンフラッシュ EF-42：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 42 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

クリップオンフラッシュ EF-X20：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

クリップオンフラッシュ EF-20：TTL 自動調光機能のみに対応した、最大ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

三脚グリップ TG-BT1：Bluetooth に対応し、グリップを握ったまま、動画・静止画の撮影や、対応する電動ズームレンズ使用時にズーム操作ができる三脚グリップです。

グリップベルト GB-001：本体に装着することでホールド感を高めます。

ボディキャップ BCP-001：カメラのレンズ取り付け部の蓋です。

instax SHARE プリンター SP-1/SP-2/SP-3：撮影した画像を無線 LAN で送信し、簡単にチェキフィルムにプリントできるプリンターです。

カメラで使えるソフトウェア・サービス

このカメラでは、以下のソフトウェアやサービスを使用できます。最新情報については、<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/> をご覧ください。

スマートフォン用アプリケーション

カメラとスマートフォンを無線で通信できるスマートフォンアプリケーションです。

<https://fujifilm-dsc.com/>

RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKPIX

RAW 画像をパーソナルコンピュータ上で現像できるパーソナルコンピュータ用アプリケーションです。富士フィルムのウェブサイトから無償で入手可能です。

<https://fujifilm-x.com/support/download/software/raw-file-converter-ex-powered-by-silkpix/>



- 本ソフトウェアは、アドワー株式会社が提供するソフトウェアです。
- 対応時期については以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/support/compatibility/software/raw-file-converter-ex-powered-by-silkpix/>

FUJIFILM RAW Converter

RAW 画像をパーソナルコンピュータ上で現像できるパーソナルコンピュータ用アプリケーションです。Capture One 社から無償で入手可能です。

<https://www.captureone.com/ja/leaflet-fujifilm#rawconverter>



対応時期については上記のウェブサイトをご覧ください。

Capture One

Capture One 社のテザー撮影、RAW 現像に対応したワークフローソフトウェアです。

<https://www.captureone.com/ja/leaflet-fujifilm>



このカメラはテザー撮影の機能は使用できません。



対応時期については上記のウェブサイトをご覧ください。

FUJIFILM X Acquire

カメラの設定の保存、読込ができます。カメラの設定全体を瞬時に切り替えたり、複数の同一機種カメラ間で設定を共有したりするときに便利です。

<https://fujifilm-x.com/products/software/x-acquire/>



このカメラはテザー撮影の機能は使用できません。

FUJIFILM X RAW STUDIO

パーソナルコンピュータとデジタルカメラを USB ケーブルで接続して、パーソナルコンピュータに代わり、デジタルカメラに搭載している独自の画像処理エンジンを使用して演算することで、高速かつ高品質な RAW 現像を実現します。

<https://fujifilm-x.com/products/software/x-raw-studio/>

Frame.io Camera to Cloud

ネットワークを通してカメラから Frame.io のプラットフォームへ静止画や動画を直接転送できます。

<https://frame.io/>

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや USB ケーブルを外す。



電源プラグを
抜く

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- お買い上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

カメラ内部や接続コードに水や異物を落とさない。



水ぬれ禁止

カメラ内部や接続コードを水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らした場合は、使用しないでください。

水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーや USB ケーブルを外す。

- そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
- お買い上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。



風呂、シャワー
室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しない。

火災・感電の原因になります。



分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

火災・感電の原因になります。

⚠ 警告



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

感電したり、破損部でケガをする原因になります。

- 感電やケガに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。



コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。

- コードに傷がついた場合は、お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。
- 一度端子部分が曲がってしまったコネクタは使用しないでください。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。

移動中の使用はしない。



自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。転倒、交通事故などの原因になります。歩き撮りをする場合には、周囲の状況に注意してください。



雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。



指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。

電池は極性（ $\oplus$ $\ominus$ ）表示どおりに入れてください。

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。

電池・バッテリーを落としたり、たたいたり、投げたり、強い衝撃や変形を与えない。

電池・バッテリーの液漏れ、変形、変色、その他異常に気が付いたときは使用しない。

リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。



電池・バッテリーをショートさせない。

電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。

バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの発熱・発火・破裂・液漏れにより、火災・ケガ・やけどの原因になります。



指定外の電池・バッテリーを使用しない。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災の原因になります。



電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。

⚠ 警告

フラッシュを人の目に近づけて発光させない。



視力障害になる恐れがあります。特に乳幼児を撮影するときは、十分に離れて撮影してください。

カメラの温度が高い部分に長時間触れない。

電源を入れたまま長時間、身体の同じ個所に直接触れて使用しない。

低温やけなどの原因になる場合があります。特に以下の場合は、三脚などをお使いください。



- 長時間で使用になる場合
- 気温の高い環境で使用する場合
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合
- 自動電源 OFF 温度を高く設定してご使用される場合



バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一のものだけを使用してください。



可燃性 / 爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。



電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼る。

他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

メモリーカードやホットシューカバーなどの小さな付属品は乳幼児に触れさせない。



メモリーカードやホットシューカバーなど小さな付属品は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

小さいお子様の手の届くところに置かない。



誤って、ストラップを首に巻きつけ窒息の原因になったり、フラッシュの誤発光による目の障害やカメラ動作などによるケガの原因になることがあります。



飛行機内、病院での使用は、航空会社、病院の指示に従う。

本製品が出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。

⚠ 注意



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。



異常な高温になる場所に置かない。

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないください。

火災の原因になることがあります。



本製品の上に重いものを置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、ケガの原因になることがあります。



本製品や充電器を布や布団でおおったりしない。

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

火災・感電の原因になることがあります。



お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーを外し、電源プラグ

を抜く。

火災・感電の原因になることがあります。



充電終了後は充電器をコンセントから抜く。

電源プラグを
抜く

コンセントにつけたままにしておくと火災の原因になることがあります。



メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で

受け止めた後にカードを引き抜くこと。

飛び出したカードが当たり、ケガの原因になることがあります。

撮影直後にメモリーカードに触れない。



メモリーカードが高温になり、やけどの原因となることがあります。

温度が下がってからメモリーカードを取り出してください。

定期的な内部点検・清掃を依頼する。



本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。

- ・ 2年に1度くらいは、内部清掃をお買上げ店または弊社修理サービスセンターにご依頼ください。



本製品を廃棄する場合の処理方法については最寄りの自治体の手順に従うこと。

電源についてのご注意

※ ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※ バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

※ バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■ バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時には撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロなどをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■ 充電について

- 別売のバッテリーチャージャー BC-W126S を使用して充電できます。
 - 充電は周囲の温度が +5℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
 - +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は +10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■ バッテリーの寿命について

- 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■ 保存上のご注意

- 長期保管の場合は、電池容量の $\frac{2}{3}$ から半分程度の電池残量で常温保管をお勧めいたします。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
 - 周囲の温度が $+15^{\circ}\text{C} \sim +25^{\circ}\text{C}$ くらいの乾燥したところをおすすめします。
 - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

❗ 危険ですので、次のことにご注意ください



バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。



火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。



分解したり、改造したりしないでください。



バッテリーは、過度な低気圧中に放置しないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。

■ 電池の廃棄について

- 電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。
- 電池は、機械的に押し潰し、又は切断しないでください。

■ 小形充電式電池のリサイクルについて



小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどを貼るか、個別にポリ袋に入れて最寄りの排出協力店・排出協力自治体へお持ちください。詳細は、「一般社団法人JBRC」のホームページをご参照ください。

<https://www.jbrc.com/>

カメラをお使いになる前のご注意**■ 撮影の前には試し撮りをしましょう**

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※ 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得であろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■ 著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用いただけませんので、ご注意願います。

■ 製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■ 液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■ 商標について

- デジタルスプリットイメージ、Digital Split Image は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。
- デジタルマイクロプリズム、Digital Micro Prism は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。
- DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- Apple、iPhone、iPad、Mac、Mac OS X、OS X、macOS、Lightning、Apple ProRes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Android は、Google LLC の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Camera to Cloud、Frame.io、Lightroom ならびに Photoshop は Adobe の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴおよび、Wi-Fi Protected Setup® は、Wi-Fi Alliance® の商標または登録商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士フイルム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- SDHC ロゴ、SDXC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。
- CFexpress は CFA（CompactFlash Association）の商標です。
- HDMI ロゴは HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- USB Type-C® および USB-C® は、USB Implementers Forum の登録商標です。
- AirGlu™ は Atomos の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

- カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けしないでください。撮像素子が破損する場合があります。
- 太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにご注意ください。

■ 避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■ 冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■ 結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■ 長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■ 海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカードについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■ メモリーカード取扱上のご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■ メモリーカードをパーソナルコンピューターで使用する場合のご注意

- パーソナルコンピューターで使用したあとのメモリーカードを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パーソナルコンピューターでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

レンズとアクセサリーについてのご注意

- 三脚を取り付けるときは、ネジの長さが4.5mm以下の製品をご使用ください。
- 他社製品と組み合わせて使用した際の性能や、それによって生じた事故や故障につきましては保証いたしかねます。

無線 LAN/Bluetooth 機器使用上の注意事項

重要！ 本製品に搭載されている無線 LAN/Bluetooth 機能をご使用になる前に必ずお読みください。



本製品は、米国輸出規則 (EAR) の対象となり、米国禁輸出国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ 本製品は無線 LAN/Bluetooth 機器としてお使いください。

無線 LAN/Bluetooth 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN/Bluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を完全に行ってください。

■ 無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています。

本製品の無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を遵守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください（環境により電波が届かないことがあります）。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ セキュリティについて

無線 LAN/Bluetooth 機能は電波を使って通信するため、有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

- 本製品に使用権限のない（知らない）ネットワークが表示されても接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされるおそれがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。
- 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品を電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続しないでください。

■ 本製品は「電波法」に基づく技術基準適合証明を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示または、画面で確認することができます。以下の行為は法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品上の証明ラベルをはがすこと

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- 産業・科学・医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - (1) 構内無線局（免許を要する無線局）
 - (2) 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社デジタルカメラサポートセンターへお問い合わせください。

● 2.4GHz 帯使用時の注意事項（日本国内向け）

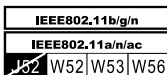


本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 40m であることを意味しています。



本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用するその他の変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 80m であることを意味しています。

● 5GHz 帯使用時の注意事項（日本国内向け）



5GHz の周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz 帯（W52/W53/W56）の 3 種類の帯域を使用することができます。

5.2GHz/5.3GHz 帯（W52/W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。

当該無線設備の送信は 5.2GHz 帯高出力データ通信システムの基地局、または陸上移動中継局と通信する場合を除き屋内においてのみ可能です。

■ 本製品を飛行機の中で使用しないでください。

本製品の飛行機内での使用については航空会社の指示に従ってください。

本製品は電源オフの状態でも電波を発信することが可能です。搭乗前にネットワーク /USB 設定メニューの機内モードを ON にすると電波の発信を遮断できます。

レンズをご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

本文は、レンズまたはレンズを取り付けたカメラを安全に取り扱うための注意内容です。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

 **水をかけたり、水にぬらしたりしない。**

風呂、シャワー室での使用禁止 火災・感電の原因になります。

 **分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。**

分解禁止 火災・感電の原因になります。

また、異常動作を起こしてケガの原因になります。

 **落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。**

接触禁止 感電したり、破損部でケガをする原因になります。

- 感電やケガに注意して速やかにカメラの電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

 **不安定な場所に置かない。**

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。

 **レンズまたはカメラで直接太陽を見ない。**

失明や視力障害になる恐れがあります。

△ 注意



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。



異常な高温になる場所に置かない。

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないください。

火災の原因になることがあります。



小さいお子様の手の届くところに置かない。

ケガの原因になることがあります。



濡れた手で触らない。

感電の原因になることがあります。



逆光撮影では、画角から太陽を十分にはずす。

太陽光がカメラ内部に直接入ることで、カメラ内で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。



使用しない時は、レンズにキャップをつけ、太陽光のあたらない場所に保管する。

太陽光が内部で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。



三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しない。

転倒したり、ぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のよう
にお手入れすることをおすすめします。

- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげたりするなどの原因になります。特にカメラ本体の革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 液晶モニター表面などの汚れはブロワーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- センサーのクリーニングは **基本設定 > センサークリーニング**で行えます。**センサークリーニング**を実行しても汚れが取れない場合は、ブロワーでほこりを取り除いてください。
- カメラを保管するときは、ボディキャップを取り付けてください。

センサークリーニング

基本設定 > センサークリーニングを実行しても汚れが取れない場合は、ブロワーでほこりを取り除いてください。

! クリーニング作業中にセンサーを傷付けたり、破損した場合、弊社修理サービスセンターでの（交換）修理は有償（高額）となりますので、十分ご注意ください。

- 1 センサーの表面に付着したほこりをブロワー（ブラシの付いていないもの）で取り除きます。



- 2 センサーの表面に付着していたほこりが取り除けたかを確認します。

- 3 カメラにレンズまたはボディキャップを装着します。

- ◆** ブロワーはブラシの付いていないものを使用してください。ブロワーのブラシでセンサーのほこりを取り除くと、表面を傷付けることがあります。
- 取り除けていない場合は、富士フィルム修理サービスセンターまたは富士フィルムイメージングプラザに清掃をご依頼されることをおすすめします。富士フィルム修理サービスセンターのご案内が巻末にあります。

ファームウェアの更新

ファームウェアがアップデートされ、機能が追加／変更されたときはファームウェアを更新してください。



最新のファームウェアに更新した場合、カメラの機能は本書に記載されている内容と一部異なる場合があります。

ファームウェアのダウンロード

あらかじめ最新のファームウェアをダウンロードして、メモリーカードに保存してください。ファームウェアのダウンロード方法などは下記ホームページをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/firmware/cameras/>

ファームウェアの更新方法

ファームウェアは次の方法で更新できます。

カメラ起動時に更新する

新しいファームウェアが入ったメモリーカードをカメラに入れ、**DISP/BACK** ボタンを押しながらカメラの電源をオンにすると、ファームウェアを更新できます。更新が終わったらカメラの電源を一度オフにしてください。

セットアップメニューから更新する

新しいファームウェアが入ったメモリーカードをカメラに入れ、**基本設定 > ファームウェアアップデート**を選んでファームウェアを更新できます。

スマートフォンアプリケーションを使用して更新する(手動更新)

スマートフォンアプリケーションを使用している場合は、スマートフォンアプリケーションからファームウェアを更新できます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

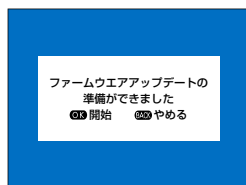
<https://fujifilm-dsc.com/>

スマートフォンアプリケーションを使用して更新する(自動更新)

FUJIFILM XApp Ver.2.0.0 以降を使用している場合は最新のファームウェアが自動的にスマートフォンからカメラにダウンロードされます。

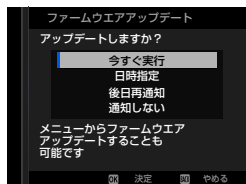
- 1 カメラ使用時、更新の準備ができている場合は確認画面が表示されます。

開始を選びます。



やめるを選べると、翌日以降カメラの電源をオンにしたときに確認画面が再度表示されます。

- 2 選択画面が表示されたら今すぐ実行を選びます。



- ・日時指定を選ぶと、指定した日時にカメラが自動的に起動して更新を行います。
- ・後日再通知を選ぶと、3 日後に確認画面が再度表示されます。
- ・通知しないを選ぶと、確認画面は表示されません。

3 実行を選びます。

4 画面の指示にしたがってファームウェアを更新します。

5 更新完了の画面が表示されたらカメラの電源をオフにします。

- ❗ ファームウェアの更新作業には十分に充電したバッテリーを使用し、更新中は電源を切ったりカメラを操作したりしないでください。ファームウェアの更新中にカメラの電源が切れると、カメラが正常に動作しなくなるおそれがあります。
- ファームウェアの更新中は EVF は表示されません。液晶モニターの表示をご覧ください。
- ファームウェアの更新にかかる時間は、ファームウェアの容量によって変わります。最大で約 10 分かかる場合があります。
- ファームウェア更新後は、更新前のバージョンに戻すことはできません。
- ファームウェアの更新中にエラーメッセージが表示された場合は、下記をご覧ください。

https://fujifilm-dsc.com/en-int/manual/error_message_recovery/

ファームウェアバージョンの確認方法

■ 基本設定 > ファームウェアアップデートを選ぶとバージョン情報を確認できます。

- 📦 別売アクセサリ（交換レンズ、クリップオンフラッシュ、マウントアダプターなど）のファームウェアバージョンを確認するときやファームウェアを更新するときは、カメラボディに別売アクセサリを装着してから確認や更新を行ってください。

トラブルシューティング /FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

電源とバッテリー

バッテリー、電源について

症状	処置
ON/OFF（電源）レバーを ON に合わせても電源がオンになりません。	- ご購入時にはバッテリーは充電されていません。バッテリーを充電してください。 - 充電済みのバッテリーを使ってください（ 42）。 - バッテリーを正しい方向で入れ直してください（ 39）。 - バッテリーカバーをしっかり閉めてください。
バッテリーの消耗が早いです。	- 低温環境下でご使用の場合は、バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。  フォーカス設定 > プリ AF を OFF にしてください。  表示設定 > EVF 明るさや LCD 明るさで表示の明るさを調整してください。  消費電力設定の設定を変更してください。

症状	処置
使用中に電源がオフになってしまいました。	• バッテリーの残量が不足していないかどうか確認してください (図 46)。 • 消費電力設定 > 自動電源 OFF で時間を設定しているときは、その時間が経過すると自動的にオフになります。 • カメラの温度が高くなると、自動的にオフになります (図 324)。 • インターバルタイマー撮影で撮影間隔が長い場合は画面の表示が消えます。撮影の数秒前になるか、シャッターボタンを押すと画面表示が復帰します。
カメラの電源が切れません。	インジケータランプの点灯状況を確認してください (図 12)。

充電について

症状	処置
充電が開始されません。 (USB 充電時)	• カメラの電源がオンのときは充電は開始されません。電源をオフにしてください。 • バッテリーが満充電されているときは充電は開始されません。 • パーソナルコンピューター、USB ケーブル、カメラの接続状態を確認してください。 • パーソナルコンピューターから充電する場合は、パーソナルコンピューターの電源が入っていることを確認してください。 • バッテリーが低温または高温の場合は、安全上の理由で充電が開始されません。バッテリーの温度が常温に戻ってから再度充電してください。

症状	処置
充電時間がかかりすぎます。	・ バッテリーが低温または高温の場合は、安全上の理由で充電が遅くなる場合があります。バッテリーの温度が常温に戻ってから再度充電してください。 ・ 30W 以上の出力に対応した USB PD 対応電源を使用すると、充電時間が短くなります。
充電中にインジケータランプが点滅して充電できません。	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください（  39）。

給電について

症状	処置
給電状態アイコンが表示されません。	USB 給電 / 通信設定を自動または給電 ON/ 通信 OFF にしてください。

メニューなどの設定時

症状	処置
メニューが日本語以外で表示されています。	言語設定を 日本語 にしてください（  49、293）。

撮影時

基本撮影について

症状	処置
シャッターボタンを押しても撮影できません。	- 記録メディアが正しくセットされているか確認してください。 - メモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側になっていないかどうか確認してください。 - 記録メディアの空き容量を確認してください。 - メモリーカードなしで撮影する場合は、操作ボタン・ダイヤル設定 > カードなしリリースを ON にしてください。 フォーカス設定 > リリース優先 / フォーカス優先がフォーカスに設定されていると、フォーカスが合わないときには撮影できない場合があります。 - 他社製レンズなどをご使用の場合は、操作ボタン・ダイヤル設定 > レンズなしリリースを ON にすると撮影できる場合があります。

動画撮影について

症状	処置
動画撮影が勝手に終了してしまいました。	記録メディアの書き込み速度が遅い場合には、録画が停止する場合があります。対応する記録メディアについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは「対応情報（カメラ）」を参照してください。 https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/

連続撮影（連写）について

症状	処置
連写速度が遅くなります。	連写速度は、レンズの種類や記録メディアの書き込み速度、フラッシュ使用、露出条件、カメラの設定、バッテリー残量、ご使用環境の気温などの条件によって低下することがあります。

パノラマ撮影について

症状	処置
シャッターボタンを押してもパノラマ撮影できません。	インジケータランプが消灯するまでお待ちください (図 12)。

顔検出について

症状	処置
顔を検出できません。	• なるべく顔の全体が見えるようにしてください。 • 顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。 • 顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。 •  フォーカス設定 >  顔検出 / 瞳 AF 設定を顔検出 ON にしてください。 • カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。 • 適切な明るさで撮影してください。

被写体検出について

症状	処置
被写体を検出できません。	- なるべく被写体の全体が見えるようにしてください。 - 被写体が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。  フォーカス設定 > 被写体検出 AF 設定を被写体検出 ON にしてください。 - 適切な明るさで撮影してください。

フラッシュについて

症状	処置
フラッシュが発光しません。	 撮影設定 > シャッター方式や  フラッシュ設定 > フラッシュ機能設定、ドライブモードを確認してください。 - 外部フラッシュを使用している場合は、外部フラッシュの説明書を確認してください。
フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	- フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。 - カメラを正しく構えてください。 - シャッタースピードが同調速度より高速の場合は、フラッシュを発光しても暗くなることがあります。シャッタースピードを同調速度以下に設定してください (p. 74、81、414)。

撮影した画像の異常について

症状	処置
画像がぼやけています。 画像がブレています。	- フォーカスモードをマニュアルフォーカス以外にしてください。 - 三脚を使用して撮影してください。また、リモートレリーズ、セルフタイマー撮影機能を使用することをおすすめします。 - 手持ち撮影する場合は、手ブレを起こさないように、カメラをしっかり構えシャッターボタンを静かに押してください。 - カメラの手ブレ防止機能をオンにしてください（ 182）。 - 手ブレ補正機能を搭載したレンズを使用しているときは、手ブレ補正機能をオンにしてください。 - 暗い場所では、シャッタースピードが遅くなることがあります。シャッタースピードを速くする、ISO 感度を上げる、フラッシュを使用する、などの方法で撮影してください。 - AE/AF ロック撮影してください。 - フォーカスエリアを 1 ～ 2 段階大きくしてから撮影してください。

症状	処置
存在しないものが写り込んだり、被写体が歪んで記録されます。	- 光の反射などで、目には映らない特定の現象が画像に写ることがあります。 - カメラシステムや光線の特性によって発生する事例をホームページの Q&A でご紹介しています。撮影方法などで現象の発生を抑制することができる場合がありますのでご参照ください。
画像に点状のノイズがあります。	撮像素子の特性* によるもので、故障ではありません。 画質設定 > ピクセルマッピングを実行してください。 * 撮像素子が X 線や宇宙線などの影響を受けると、撮影画像に「輝点（白、赤、青など）」が生じる場合があります。 ピクセルマッピングを行うと輝点が軽減されます。
画像にノイズが撮影されます。	しばらく電源オフにしたあとでご利用ください（  45、409）。

再生時

1 コマ再生について

症状	処置
画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。
拡大表示できません。	- リサイズした画像は、再生ズームができません。 - 他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。

動画再生について

症状	処置
カメラから音が出ません。	- 再生音量を調節してください (🔊 299)。 - 動画撮影時はマイクをふさがないでください。 - 再生中はスピーカーをふさがないでください。

消去について

症状	処置
選択した画像を消去できません。	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行ったカメラをお使いください (🔒 242)。
全コマ消去したのに画像が残っています。	

コマナンバーについて

症状	処置
コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります (🔋 325)。

接続時

テレビとの接続について

症状	処置
カメラの画面に何も表示されません。	カメラとテレビを接続した場合、再生モードでは、カメラの画面には何も表示されません。
カメラの画面にもテレビの画面にも何も表示されません。	- ファインダーに目を近づけてください。 - EVF や LCD の表示の設定を変更してください (📖 18)。
テレビに画像、音声が出ません。	- 確認して正しく接続し直してください。 - テレビの入力を「HDMI」にしてください (📖 55)。 - テレビの音量を調節してください。 - テレビ側の対応解像度とフレームレートを確認してください。

パーソナルコンピューターとの接続について

症状	処置
パーソナルコンピューターがカメラを認識しません。	- USB ケーブルを確認して正しく接続し直してください (📖 265)。 - あらかじめ用途に応じた接続モードを設定してから接続してください。 - パーソナルコンピューターで使うアプリに対応したカメラの接続モードを設定してください。また、パーソナルコンピューターのアプリ側の設定も確認してください。

スマートフォンなどの接続について

症状	処置
iPhone、iPad と接続できません。	給電機能がない機器や Lightning 端子を持つ機器と接続するときは、ネットワーク/USB 設定メニューの USB 給電/通信設定 をあらかじめ 給電 OFF/通信 ON に設定してください。
スマートフォンと接続できません。	スマートフォンに搭載されている端子の形状によって、接続方法が異なります (262)。

無線通信

無線 LAN 機能のトラブルシューティングについては、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://digitalcamera-support-ja.fujifilm.com/>

症状	処置
スマートフォンと接続できません。	
スマートフォンとの接続 / 送信に時間がかかります。	- スマートフォンを近づけてご使用ください (📖 258)。 - 電波を発する機器から離してご使用ください。
画像送信が途中で失敗 / 切断します。	
スマートフォンに送信できません。	- スマートフォンもカメラも一度に接続できる相手は 1 台のみです。別のカメラとの接続を終了してから、やり直してください (📖 258)。 - 操作をはじめからやり直してください。周囲に複数台のスマートフォンがあると、つながりにくい場合があります。 - このカメラで撮影した画像を送信してください。他のカメラで撮影した画像は送信できない場合があります。 - 動画の送信には時間がかかる場合があります。またスマートフォンで再生できない動画は送信できない場合があります。

その他

カメラの動作などについて

症状	処置
カメラのボタンなどを操作しても動きません。	• バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください (図 39)。 • 充電済みのバッテリーを使ってください (図 42)。 • USB もしくは LAN の接続モードを確認してください。 • MENU/OK ボタンを長押しして、ロックを解除してください (図 15、17)。 • インジケータランプの点灯状況を確認してください。解消されない場合は、バッテリーを入れ直してカメラが動作するかご確認ください。 • 操作ボタン・ダイヤル設定 > ロックでボタンなどがロックされていないかどうかを確認してください。
カメラが正常に作動しなくなっていました。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください (図 39)。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

音について

症状	処置
音が出ません。	各設定の音量を調整してください (図 296)。

Q (クイックメニュー)

症状	処置
Q ボタンを押してもクイックメニューが表示されません。	TTL-LOCK を解除してください (図 185)。

警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
 (赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。	
!AF (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	AE/AF ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください。
絞り、シャッタースピード表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	- 静止画撮影時に被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。 - 適切な明るさ（露出）ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー レンズ制御エラー 電源を入れ直してください	カメラが誤作動または故障しています。	- 電源を入れ直してください。 - レンズとカメラの間に異物がないか確認してください。 - 電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
フォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードがパーソナルコンピュータでフォーマットされています。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告表示	警告内容	処置
レンズエラー	レンズとカメラの間に異物が入っています。	カメラの電源をオフにしてレンズを取り外し、異物を取り除いて電源を入れ直してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。 また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。 メモリーカードが壊れています。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
プロテクトされたカードです	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください。
動画記録できません	パーソナルコンピューターでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
 空き容量がありません	メモリーカードに空き容量がないため、画像を記録できません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。

警告表示	警告内容	処置
記録できませんでした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常 またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源のオン/オフを繰り返してください。 それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	静止画または動画を記録中にメモリーカードを取り出しました。	記録中はメモリーカードを取り出さないでください。
	書き込み速度の遅いメモリーカードを使用するため記録できません。	動画撮影時は、設定に適した速度のカードをご使用ください。
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、 コマ NO. を新規に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。 コマ NO. を連番に戻すと、引き続き撮影できます。

警告表示	警告内容	処置
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
プロテクトされています	• プロテクトされているファイルを消しようとした。 • プロテクトされているファイルを回転しようとした。	プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとした。	トリミングできない画像です。
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません ⚙ 設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとした。	プリント予約できません。
回転できません ⚙ 回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとした。	回転できません。

警告表示	警告内容	処置
 実行できません	実行できない操作をしようとしました。	他のカメラで撮影した画像や動画にはできない操作があります。
 実行できません		
 (黄) 温度が上昇しています	自動電源 OFF 温度が標準のときにカメラの温度が上昇しています。そのまま使い続けると、自動的に電源がオフになります。	電源をオフにして、しばらくたってからご使用ください。
 (黄) 温度上限に近づいています 持ち続けしないでください	自動電源 OFF 温度が高のときにカメラの温度が上限に近づいています。低温やけどの恐れがありますので、カメラを持ち続けず、三脚などをお使いください。そのまま使い続けると、自動的に電源がオフになります。	電源をオフにして、しばらくたってからご使用ください。カメラの温度が上昇すると、画像にノイズが多くなる場合があります。
 (赤) 温度上限に到達しました シャットダウンします	温度が上限に達したため自動的に電源がオフになります。	

標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数および撮影時間はおおよその目安です。実際の撮影枚数および撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。

撮影モード		記録媒体	SDメモリーカード	
			64GB	
画質			FINE	NORMAL
静止画	3:2		2640	3950
	RAW (非圧縮)		730	
	RAW (ロスレス圧縮)		1370	
	RAW (圧縮)		1940	
動画*	4K 2160		79 分	
	FHD 1080		79 分	

* ビットレートが工場出荷時の設定の場合。



- 動画撮影をするときは、設定によって使用できるメモリーカードが異なります (p.63)。
- 32GB 以下のメモリーカード使用時は、ビットレート設定に応じて動画ファイルが分割されることがあります。その他のメモリーカード使用時でも、1 時間以上の長時間動画を連続して撮影した場合に動画ファイルが分割されて記録されることがあります。ファイル分割時も動画撮影は一時中断することなく続きます。

主な仕様

システム

製品名	FUJIFILM X-T50
製品型番	FF240001
有効画素数	約 4020 万画素
撮像素子	23.5mm × 15.7mm (APS-C サイズ) X-Trans CMOS 5 HR、原色フィルター採用
記録メディア	SD/SDHC/SDXC メモリーカード (弊社推奨品)
メモリーカードスロット	SD カード* (UHS-II 対応)
記録方式	● 静止画：DCF2.0 準拠 ● 圧縮：Exif Ver.2.32 JPEG 準拠 / DPOF 対応、HEIF 対応 (4:2:2 10bit) ● 非圧縮 / ロスレス圧縮 / 非可逆圧縮：RAW (RAF 独自フォーマット、専用のソフトウェアが必要)、RAW+JPEG 記録あり、TIFF (RGB) ● 動画：HEVC/H.265、H.264 規格準拠 ● 音声 (ボイスメモを含む)： - LPCM (2ch：24bit 48kHz サンプリング) - AAC (MP4 記録時のみ) ● 音声 (XLR マイクアダプター使用時)： - LPCM (2ch：24bit 48kHz サンプリング、4ch：24bit 48kHz サンプリング) - AAC (MP4 記録時のみ、2ch：16bit、48kHz サンプリング)

システム

記録画素数	L 3:2 (7728 × 5152)		L 4:3 (6864 × 5152)	
	L 16:9 (7728 × 4344)		L 5:4 (6432 × 5152)	
	L 1:1 (5152 × 5152)			
	M 3:2 (5472 × 3648)		M 4:3 (4864 × 3648)	
	M 16:9 (5472 × 3080)		M 5:4 (4560 × 3648)	
	M 1:1 (3648 × 3648)			
	S 3:2 (3888 × 2592)		S 4:3 (3456 × 2592)	
	S 16:9 (3888 × 2184)		S 5:4 (3264 × 2592)	
	S 1:1 (2592 × 2592)			
	RAW (7728 × 5152)		TIFF (7728 × 5152)	
	L パノラマ縦 (2160 × 9600)		L パノラマ横 (9600 × 1440)	
	M パノラマ縦 (2160 × 6400)		M パノラマ横 (6400 × 1440)	
レンズマウント	FUJIFILM X マウント			
撮影感度	・ 静止画：ISO 125 ～ 12800 (1/3 段ステップ)、AUTO1 ～ 3 ISO 64、80、100、25600、51200 は 拡張モード ・ 動画：ISO 125 ～ 12800 (1/3 段ステップ)、AUTO ISO 25600 は拡張モード			
測光方式	・ TTL256分割測光 ・ マルチ、スポット、アベレージ、中央部重点			
露出制御	プログラム（プログラムシフト可能）、シャッター優先、絞り優先、マニュアル			
露出補正	・ 静止画：-5EV ～ +5EV (1/3 段ステップ) ・ 動画：-2EV ～ +2EV (1/3 段ステップ)			

システム

シャッタースピード

- **メカニカルシャッター／電子先幕シャッター／電子先幕＋メカニカル**
 - P/A モード時：30 秒～ $\frac{1}{4000}$ 秒
 - S/M モード時：15 分～ $\frac{1}{4000}$ 秒
 - バルブ：最長 60 分
- **電子シャッター**
 - P/A モード時：30 秒～ $\frac{1}{180000}$ 秒
 - S/M モード時：15 分～ $\frac{1}{180000}$ 秒
 - バルブ：1 秒固定
- **メカニカル＋電子／電子先幕＋メカニカル＋電子**
 - P/A モード時：30 秒～ $\frac{1}{180000}$ 秒
 - S/M モード時：15 分～ $\frac{1}{180000}$ 秒
 - バルブ：最長 60 分



連写時は設定されるシャッタースピードの範囲が異なる場合があります。

連写

連写モード	連写速度 (コマ / 秒 [fps]) JPEG
20fps(1.29X クロップ)*1	20
13fps(1.29X クロップ)*1	13
10fps(1.29X クロップ)*1	10
13fps*1	13
8fps*2	8
5fps	5
4fps	4
3fps	3

*1 電子シャッター時のみ

*2 電子シャッター時は 8.9fps で撮影されます。



連写速度と連続記録枚数は、撮影環境やご使用のメモリーカードによって変わります。

システム	
フォーカス	• モード：シングル AF、コンティニュアス AF、マニュアルフォーカス（リング回転式） • AF 方式：インテリジェントハイブリッド AF（TTL コントラスト AF + 位相差 AF） • AF フレーム選択：シングルポイント、ゾーン、ワイド／トラッキング、オール
ホワイトバランス	オート（ホワイト優先、AUTO、雰囲気優先）、カスタム 1～3、色温度（ケルビン値）設定、晴れ、日陰、蛍光灯 1、蛍光灯 2、蛍光灯 3、電球、水中
セルフタイマー	• 静止画：OFF、2 秒、10 秒 • 動画：OFF、3 秒、5 秒、10 秒
フラッシュ	• 方式：手動ポップアップ方式 • ガイドナンバー：約 3.9（ISO100・m）
フラッシュ発光モード	• モード：TTL（フラッシュ発光 AUTO、スタンダード、スローシンクロ）、マニュアル、コマンダー、OFF • 同調モード：先幕、後幕、AUTO FP（ハイスピードシンクロ） • 赤目補正：赤目抑制発光、OFF
ホットシュー	あり（TTL フラッシュ対応）、同調シャッタースピード $1/180$ 秒以下
シンクロ接点	X 接点、同調シャッタースピード $1/180$ 秒以下
シンクロターミナル	なし
ファインダー（EVF）	0.39 型有機 EL ファインダー、約 236 万ドット、ファインダー倍率 0.62 倍（35mm 判換算 50mm レンズ、無限遠、視度 -1.0m^{-1} のとき）、対角視野 約 31 度（水平視野 約 26 度） • 視度調節：$-4\text{m}^{-1} \sim +2\text{m}^{-1}$（dpt） • アイポイント：約 17.5mm
液晶モニター（LCD）	3.0 型カラー液晶モニター、約 184 万ドット、チルト式、タッチパネル付き

システム

動画
(ステレオ音声付き)

- 画像サイズ：4K 16:9、4K 16:9、DCI 17:9、4K 16:9、4K 17:9、FHD 16:9、FHD 17:9
- フレームレート：59.94P、50P、29.97P、25P、24P、23.98P
- 記録 / 出力形式：
 - H.265 (MOV、4:2:2 10bit/4:2:0 10bit、360/200/100/50Mbps)
 - H.264 (MOV/MP4、4:2:0 8bit、360/200/100/50Mbps)
 - HDMI 出力対応 (Atomos 社製外部レコーダーおよび Blackmagic 社製外部レコーダー用 RAW 出力に対応、4:2:2 8bit/4:2:2 10bit)

ハイスピード動画

- 画像サイズ：FHD 16:9、FHD 17:9
- 撮影フレームレート：240P、200P、120P、100P

入出力端子

マイク入力端子

φ 3.5 mm ステレオミニジャック

ヘッドホン出力端子

付属のヘッドホン用アダプターで USB 端子から変換

リモートリリース端子

φ 3.5 mm 3 極ミニジャック

デジタル入出力

USB 端子：USB Type-C® USB 10Gbps

HDMI 出力

HDMI マイクロ端子 (Type D)

電源部、その他

電源 充電式バッテリー NP-W126S (付属)

バッテリー作動可能 枚数 / 時間の目安

- バッテリー：NP-W126S
- レンズ：XF35mmF1.4 R 使用
- クリップオンフラッシュ：非装着
- 撮影モード：P モード

静止画撮影枚数

パフォーマンス	LCD	EVF
ブースト ^{*1}	約 300 枚	約 270 枚
ノーマル	約 305 枚	約 310 枚
エコノミー	約 390 枚	約 360 枚

1 回の充電で撮影できる合計動画時間

画質	実撮影電池寿命	連続撮影電池寿命
62K ^{*2}	約 45 分	約 70 分
4K ^{*3}	約 45 分	約 70 分
FHD ^{*3}	約 45 分	約 80 分
ハイスピード動画 ^{*4}	約 50 分	—

*1 EVF/LCD ブースト設定が EVF 表示フレームレート優先 (100P) の場合

*2 フレームレート 29.97fps の場合

*3 フレームレート 59.94fps の場合

*4 フレームレート 120fps の場合

CIPA 規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。

- 注意：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数や時間を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなり、時間は短くなります。

電源部、その他

本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	123.8mm × 84.0mm × 48.8 (34.2*) mm * 突起部含まず、奥行きは最薄部表記
本体質量	約 389g (付属バッテリー、メモリーカード含まず)
撮影時質量	約 438g (付属バッテリー、メモリーカード含む)
動作環境	- 温度: 0℃～+40℃ (バッテリー充電時: +5℃～+40℃) - 湿度: 10%～80% (結露しないこと)

ワイヤレス通信

無線 LAN (Wi-Fi)

準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac (無線 LAN 標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	- インドネシア : 2412 MHz～2462 MHz (11 ch) - アメリカ合衆国、カナダ、ブラジル、中国、インド、韓国、マレーシア : 2412 MHz～2462 MHz (11 ch) : 5180 MHz～5320 MHz (W52、W53) : 5745 MHz～5825 MHz (UNII-3) - EU 加盟国、イギリス、日本、オーストラリア、ノルウェー、ニュージーランド、トルコ、香港、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイ、UAE、ロシア、台湾、サウジアラビア、カタール、バーレーン、オマーン、エジプト、イラン、クウェート、レバノン、ウズベキスタン、イスラエル : 2412 MHz～2462 MHz (11 ch) : 5180 MHz～5320 MHz (W52、W53) : 5500 MHz～5700 MHz (W56)
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

Bluetooth®

準拠規格	Bluetooth Ver.4.2 (Bluetooth low energy)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2402MHz～2480MHz

バッテリー NP-W126S

公称電圧	7.2V
公称容量	1260mAh
使用温度	0℃～+ 40℃
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	36.4mm × 47.1mm × 15.7mm
質量	約 47g

 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
使用説明書における記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。説明中の表記は、カメラ本体の表示と異なる場合があります。

索引

【数字】

4ch 音声再生、299

【A～Z】

A (絞り優先撮影)、79

AE/AF-LOCK 設定、318

AE/AF ロック、102

AEL (AE ロック) ボタン、103

AE ブラケットリング、106

AE ブラケットリング設定、175

AE ロック、102

AF+MF、164, 214

AF-ON、342

AF-C カスタム設定、153, 212

AF (オートフォーカス)、83

AF 警告、12

AF 合焦音量、296

AF ロック、102

AFON ボタン、103

AF ポイント表示、157

AF 補助光、185, 205

AF モード、86, 152, 211

AF モードオール設定、152

ATOMOS AirGlu BT、225

AUTO、52, 68

AUTO 設定、98

AUTO モード設定、172

AWB-LOCK 設定、318

B (バルブ撮影)、77

Bluetooth ON/OFF、280

Bluetooth 機器一覧、280

Bluetooth/ スマートフォン設定、279

C (AF-C)、84, 87, 153, 167, 212

C (カスタム) (露出補正)、101

CH 設定、186

DISP/BACK (表示 / 戻る) ボタン、21, 230

DNS サーバー、273

DPOF 指定、252

DRIVE ボタン、7

D レンズ優先、139, 236

EVF (ファインダー)、13, 14

EVF/LCD ブースト設定、324

EVF 明るさ、20, 300

EVF 鮮やかさ、20, 300

EVF 色調整、301

EVF タッチパネル有効範囲、28, 321

Fn (ファンクション) ボタン、339

F-Log/HLG 撮影、200

F-Log ビューアシスト、304

Fn1 ボタン設定、319

Frame.io、270

Frame.io Camera to Cloud、284, 372

FUJIFILM instax SHARE、253, 268, 283

FUJIFILM X Acquire、278, 371

FUJIFILM X RAW STUDIO、277, 372

HDMI、55, 198

HDMI ケーブル、55

HDMI 出力設定、198

HDMI 出力情報表示、198

HDMI タイムコード出力、224

HDMI レックコントロール、198

HDR 撮影、111

HEIF、129

HEIF を JPEG/TIFF に変換、238

instax プリンター接続設定、283

instax プリンタープリント、253, 269

IP アドレス、272

ISO 感度、97, 182, 203

ISO ブラケットリング、105

JPEG/HEIF 選択、129

LCD (液晶モニター)、13, 16, 28

LCD 明るさ、20, 301
LCD 鮮やかさ、20, 301
LCD 色調整、301
LED ライト設定、185
MENU/OK ボタン、26, 126, 207, 234, 290
MF アシスト、165, 214
MF アシストフォーカスリング連動、166, 214
M (マニュアルフォーカス)、92
P (プログラム撮影)、72
Q (クイックメニュー) ボタン、333
RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKPIX、370
RAW 画像、127
RAW 記録方式、128
RAW 現像、234, 277, 287, 370, 371, 372
RAW 出力設定、198
REC 開始終了音量、297
REC 枠表示、204
SD/SDHC/SDXC メモリーカード、41
S (シャッタースピード優先撮影)、74
S (AF-S)、84, 86, 167
S.S. 操作設定、313
T (タイム撮影)、76
TTL、123, 124, 360
TTL-LOCK、185, 342
TTL-LOCK モード、185
USB RAW 現像 / 設定保存読込、287
USB カードリーダー、262
USB 給電 / 通信設定、288
VIEW MODE 設定、300
WB シフト、135, 236
XLR マイクアダプター、62
XLR マイクアダプター設定、190, 222
X RAW STUDIO、277, 372

【あ】

アイセンサー、18, 19
アドバンストフィルター、120
赤目補正、124, 184, 357
圧縮方式、196
アドバンストフィルター撮影、119
後幕シャッター、124, 359, 362, 365
アドレス、272, 288
アベレージ (測光)、99
位置情報記録、327
位置情報表示、309
色温度、136
色空間、142, 237
インジケータランプ、12, 205, 257
インターバルタイマー撮影、178
インターバルタイマー撮影間隔優先、180
インターバルタイマー撮影露出平準化、180
ウェブカメラ、267
液晶モニター (LCD)、13, 16, 22
エリア設定、291
オートフォーカス (AF) 撮影、83
オプション品 (別売アクセサリ)、368
お手入れについて、387
オーディオ設定、188
オーディオ設定 (撮影メニュー)、219
オートパワーオフ (自動電源 OFF)、323
オート (フラッシュ発光 AUTO)、124
オートモード、68
オートモード切換レバー、8
オール (AF モード)、86, 87
音設定 (セットアップメニュー)、296
温度保護機能、62

【か】

カードなしリリース、315
海外で使うとき、381
開始時間設定、223

外部フラッシュ (別売クリップオンフラッシュ)、357
外部マイク、62
外部マイクレベル設定、188, 219
カウントアップ設定、223
顔検出 / 瞳 AF 設定、160, 213
拡大表示、91, 95, 233
風音低減、189, 220
画質設定 (撮影メニュー)、126, 207
画質モード、127, 236
カスタム 1 設定呼び出し、342
カスタム選択、143
カスタム登録内容の自動更新、149, 206
カスタム登録 / 編集、144, 206
カスタムホワイトバランス、135
画像回転、243
画像サイズ、126, 236
画像を選択して転送、285
カメラで使えるソフトウェア・サービス、370
画面のカスタマイズ、306
カラー、140, 208, 236
カラークローム・エフェクト、133, 236
カラークローム ブルー、133, 236
感度 (ISO 感度)、97, 182, 203
機内モード、283, 384
基本設定 (セットアップメニュー)、290
キャッチライト、185
給電状態、44
距離指標、94
距離指標の単位、305
記録画素数、412
クイックメニュー (Q メニュー) ボタン、333, 336
クイックメニュー登録 / 編集、311
クイックメニュー背景設定、309
クリップオンフラッシュ、121, 357, 358, 360

グレイン・エフェクト、132, 236
ゲートウェイ、273
減感 (増感 / 減感)、236
言語、49, 293
高感度ノイズ低減、141, 209, 236
交換レンズ、37, 350
工場出荷時 (リセット)、295
合焦マーク、85
コマ NO. (コマナンバー)、325
コマンダー設定、186
コマンダー (光通信)、363
コマンドダイヤル、9
コマンドダイヤル回転方向、313
コマンドダイヤル設定、312
コンティニュアス AF (C)、84

【さ】

再生音量、299
再生時の表示画面、228
再生ズーム、233
再生方法、232
再生メニュー、viii, 234
先幕シャッター、124, 359, 362, 365
撮影画像表示、302
撮影時 自動画像転送、280, 285
撮影時の表示画面、14
撮影設定 (撮影メニュー)、172
撮影メニュー、iv, 125
撮影モード、60, 68
サブネットマスク、272
サマータイム、291
シーンポジション、70
自動電源 OFF (オートパワーオフ)、323
自動電源 OFF 温度、324
視度調節ダイヤル、13
シネマレンズ使用時の絞り単位、305
絞りリング、353
絞り設定、319

絞り値、72, 79, 81
絞りモードスイッチ、353
絞り優先 (A) 撮影、79
絞りリング設定 (A)、318
シャープネス、140, 209, 236
シャッタースピード、72, 74, 81, 413
シャッタースピードダイヤル、4
シャッタースピード優先、74
シャッター方式、176
充電時間、42
周辺光量補正、151, 210
消去、57, 238
ショートカット機能、330
消費電力設定 (セットアップメニュー)、323
情報表示、288
情報表示拡大 表示設定、308
情報表示拡大モード (EVF)、306, 308
情報表示拡大モード (LCD)、307, 308
情報表示コントラスト調整、308
情報表示の切り替え、21, 230
初期化、295
初期設定、47
シングル AF (S)、84
シングルポイント (AF モード)、86, 87
シンクロターミナル、358, 359
ズーム / フォーカスコントロールリング、317
ズームリング、53
ズームリング回転方向、317
スタンダード画面、23
スポーツファインダーモード、172
スポット (測光)、99
スマートフォン、183, 248
スマートフォンアプリケーション、258
スマートフォン位置情報同期、280
スマートフォン送信時圧縮、281

スマートフォンに画像転送、246
スムーズスキン・エフェクト、133, 236
スライドショー、249
スローシンクロ、124, 361, 365
静止画 (再生)、54
世界時計、292
接続モード、287
セットアップメニュー、ix, 289
ゼブラ設定、203
ゼブラレベル、203
セルフタイマー、174
セルフタイマー音量、296
セルフタイマー設定保持、174
セルフタイマー (動画)、195
セルフタイマーランプ、175
センサークリーニング、294, 387, 388
操作音量、297
操作ボタン・ダイヤル設定 (セットアップメニュー)、310
増感 (増感 / 減感)、236
ゾーン (AF モード)、86, 87
ゾーンエリア特性、155
ゾーンカスタム設定、152
速度変化特性、154
測光、99, 176, 201
測光モード、99
測光&フォーカスエリア連動、167
ソフトウェア、370

【た】

ダイナミックレンジ、138, 208, 236
ダイナミックレンジ BKT、106
タイムコード設定 (撮影メニュー)、223
タイムコード同期設定、225
タイムコード表示、223
タイム撮影 (T)、76
多重露出撮影、113
タッチパネル設定、320

タッチパネルモード、170, 216
 タッチファンクション、31, 320, 343
 縦/横位置 AF モード切替、157
 縦横自動回転再生、305
 縦横自動回転表示、20, 302
 ダブルタップ拡大、320
 タリーランプ、205
 中央部重点 (測光)、99
 長秒時ノイズ低減、142
 著作権情報、327
 定速ズーム (Fn)、317
 定速ズーム / フォーカス操作 (Fn)、317
 定速フォーカス (Fn)、316
 データレベル設定、201
 デジカメプリント、252
 デジタルスプリットイメージ、95, 165
 デジタルテレコン、183, 237
 デジタルマイクロプリズム、95, 165
 手ブレ、52, 182, 187, 202
 手ブレ補正対応レンズ、354
 テレビ接続 (HDMI 出力)、55
 電源、45
 電源 OFF 中の画像転送、281, 285
 電子音 & フラッシュ、294
 電子先幕シャッター (シャッター方式)、176
 電子シャッター音、298
 電子シャッター音量、297, 298
 電子シャッター (シャッター方式)、176
 電子水準器、25
 電子水準器設定、304
 点像復元処理、142, 236
 転送予約リセット、286
 電動ズームレンズ、356
 電動ズームレンズファンクション (Fn) 設定、311
 動画クロップ倍率固定モード、199

動画再生、64
 動画撮影、60
 動画設定 (撮影メニュー)、63, 187, 192
 動画設定一覧、192
 動画専用操作モード、30, 204
 動画モード、187, 193
 トーンカーブ、140, 208, 236
 トラッキング (AF モード)、87
 トリミング、240
 ドロップフレーム、224

【な】

内蔵マイクレベル設定、188, 219
 長押し (MENU/OK ボタン)、15, 17, 322
 長押し (Q ボタン)、336
 長押し (消去ボタン)、290
 長押し (リアコマンドダイヤル中央)、9
 ナチュラルライブビュー、303
 名前、281
 日時設定 / 日時変更、49, 291
 認証、295
 ネットワーク / USB 設定初期化、288
 ネットワーク / USB 設定メニュー、xii, 279
 ネットワーク設定、283

【は】

バージョンの確認方法、391
 ハイスピード撮影、187, 194
 ハイスピードシンクロ (FP)、362, 365
 発光モード、123, 359, 360, 364
 バッテリー、39, 42, 46
 パノラマ撮影、116
 パフォーマンス、323
 バルブ撮影 (B)、77
 半押し AF、314
 半押し AE、314
 ピクセルマッピング、143
 被写界深度確認、80, 94

被写界深度スケール、168, 215
 被写界深度目盛、355
 被写体検出 AF 設定、162, 213
 被写体保持特性、154, 212
 ヒストグラム表示、24
 ビットレート、197
 表示設定 (セットアップメニュー)、300
 表示比率、254
 標準撮影枚数 / 記録時間、410
 ピントの確認、94
 ファームウェアアップデート、294
 ファームウェアの更新、389
 ファイル形式、196, 236, 238
 ファイル形式選択、282
 ファイル名編集、326
 ファインダー (EVF)、13
 ファンクション (Fn) 設定、311, 340
 ファンクション (**Fn**) ボタン、339
 フィルム シミュレーション、130, 207, 236
 フィルムシミュレーション BKT、106, 176
 フィルムシミュレーションダイヤル、5
 フィルムシミュレーションダイヤル設定、
 129, 207
 ブースト、323
 フォーカス BKT、107
 フォーカス BKT 設定、107, 176
 フォーカス位置拡大、164
 フォーカスエリア、88, 90, 152, 211
 フォーカスエリア選択、86, 88, 152, 211
 フォーカス設定 (撮影メニュー)、152, 211
 フォーカスチェック、166, 215
 フォーカスチェックロック、218
 フォーカス点数切り替え、158
 フォーカスピーキング、96, 165, 214
 フォーカスポイント循環、158, 212
 フォーカスマップ、96
 フォーカスメーター、96
 フォーカスモード、84
 フォーカス優先 (リリース優先 / フォーカ
 ス優先)、168
 フォーカスリミッター、169, 215
 フォーカスリング、316
 フォーカスリング回転方向、316
 フォーカスリング操作、316
 フォーカスレバー、4, 310
 フォーカスレバー設定、310
 フォーマット (初期化)、290
 フォトブックアシスト、250
 フォルダ選択、326
 ブラケットリング、106
 ブラケットリング撮影、104
 フラッシュ機能設定、123, 184
 フラッシュ撮影、121
 フラッシュ設定 (撮影メニュー)、184
 ブリ AF、159
 ブリ撮影、173
 フリッカー低減、181
 フリッカーレス S.S. 設定、181, 201
 プリント予約 (DPOF)、252
 フレーミングガイド、304
 フレーム間ノイズリダクション、209
 プレ防止モード、182, 187, 202
 プレ防止モードブースト、187, 202
 プログラム (**P**) 撮影、72
 プロテクト、242
 フロントコマンドダイヤル (コマンドダイ
 ヤル)、9, 312
 ベアリング、279
 別売アクセサリ、368
 ヘッドホン音量、189, 221
 ボイスメモ設定、244
 保存設定 (セットアップメニュー)、325
 ホワイトバランス、134, 207, 236
 ホワイトバランス BKT、105

【ま】

マイク端子設定、188, 220
マイク / リモートリリース設定、78, 191, 221
マイクレベルリミッター、189, 220
マイメニュー（マイメニュー設定）、293, 331
マウントアダプター設定、149, 210
マニュアル（**M**）撮影、81
マニュアル時モニター露出 / WB 反映、82, 303
マニュアルフォーカス（**M**）、92
マルチ再生、233
マルチ（測光）、99
無線通信周波数設定、282
銘板プレート、4
明瞭度、141, 236
メカニカルシャッター（シャッター方式）、176
メディア記録設定、187, 195
モノクローム カラー、132, 207, 236

【ら】

リアコマンドダイヤル（コマンドダイヤル）、9, 312
リサイズ、241
リセット、295
リモートリリース、78
ルート証明書、285
レーティング、245
リリース優先（リリース優先 / フォーカス優先）、168
レンズ（取付）、37
レンズ（交換レンズ）、350
レンズキャップ、351
レンズフード、352
レンズなしリリース、315
レンズ ズーム / フォーカス設定、316

レンズファンクションボタン、345
ローカットフィルター、189, 221
露出補正、100
露出補正ダイヤル、7
ロスレス圧縮、128
ロック、322

【わ】

ワイド（AF モード）、86
ワイヤレス通信、183, 206, 248
ワンブッシュ AF 時の動作、167, 215

ソフトウェアのお問い合わせ

以下の手順でお問い合わせください。

1 お問い合わせの前にお確かめください。

ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。

2 富士フイルム製品 Q&A・お問い合わせをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/> をご覧ください。

3 巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。

より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。

- カメラの機種名
- ソフトウェアのバージョン
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか？
トラブルが発生する直前の操作は？
カメラの状態は？
トラブルが発生する頻度は？
- ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱いについて」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪いときはまずチェックを

デジタルカメラ Q&A または本書の「トラブルシューティング / FAQ」をご覧ください。使い方の問題か、故障が迷うときは、富士フィルムデジタルカメラサポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

デジタルカメラ Q&A :

<https://digitalcamera-support-ja.fujifilm.com/>

■ 故障と思われるときは

富士フィルム修理サービスセンターまたは富士フィルムイメージングプラザに修理をご依頼ください。富士フィルム修理サービスセンターのご案内が巻末にあります。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

- 修理 / メンテナンスのご依頼は、下記 Web サイトよりお申込みください。
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/repair/>
- Web サイトからお申込みが出来ない場合は、本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付し、修理をご依頼ください。
「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、必要事項に記入をお願いします。
なお、見積は有料となる場合があります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

■ 修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 7 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品などに交換させていただく場合もあります。その場合、旧機種でご利用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応 OS が変更になることがあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客さまの個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守いたします。

- お問い合わせ時あるいは修理依頼時にお客さまからご提供いただいた、お客さまのお名前・住所・電話番号・メールアドレスなどの個人情報は、以下に定める目的の範囲内で利用いたします。
 - ① お客さまからいただいたお問い合わせに対する回答
 - ② 修理・サポート及び関連する製品・サービスの情報提供
 - ③ お客さま応対品質向上のため、及び製品・サービスに関する企画、開発、販促、その他事業活動のためのアンケート調査の実施
 - ④ 製品カタログなどの資料発送
 - ⑤ 個人情報保護法その他法令で認められた利用目的
- 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩などの事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
- お問い合わせいただいた内容により、当社製品・サービスを提供する当社関係会社にて対応することが適切と当社で判断した場合、上記利用目的の範囲内でお客さまの個人情報を当社関係会社に開示することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 当社における個人情報の取り扱いについては、「プライバシーポリシー」をご覧ください。
<https://www.fujifilm.com/jp/ja/privacy>
- お問い合わせ時あるいは修理依頼時の内容などにつきましては、個人を特定できないような統計的なデータに加工した上で、サービス向上のために利用いたします。
- ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせなどは、富士フィルムデジタルカメラサポートセンター等のお問合せ先、富士フィルム修理サービスセンターあるいは富士フィルムイメージングプラザにお願いいたします。

修理依頼票

※ あらかじめ「個人情報の取扱について」または「[プライバシーポリシー](#)」をご確認ください。

※ 点検・修理時に各種設定が工場出荷状態に戻る可能性があります。

※ 本紙は A4 サイズ（推奨）の用紙に印刷またはコピーしてお使いください。

※ 保証期間内の場合は、保証書と購入日の分かる納品書等を添付してください。

※ 下表の □ は、該当する項目にチェック（✓）を入れてください。

プライバシーポリシーはこちら



フリガナ			電話番号	
お名前			携帯番号	
			FAX 番号	
フリガナ				
Eメール アドレス	※読み間違えやすい英文字、数字（ゼロとオー、小文字のエルと大文字のアイなど）はフリガナをご記入ください。			
ご住所 ※建物名も ご記入 ください。	〒 - □自宅 □会社			
製品名 (型番)		ボディ番号（機番） 保証書あるいは本体に記載 してある8桁の番号です。		
見積連絡	□要（修理金額 円以上の見積り）		□不要	
連絡方法	□SMS □Eメール □電話 □FAX			
故障症状 (故障時の様子)				
修理履歴	□初回 □再依頼（前回修理依頼： 年 月）			
発生 状況	発生頻度	□常時 □時々 □まれに □1回のみ		
	他機との接続	□スマホ接続時 □デザイナ撮影時 □外部フラッシュ使用時		

[illegible]

●本製品に関するお問い合わせは…

富士フイルムデジタルカメラサポートセンター

TEL 0570-04-1060

- 上記電話番号がご利用いただけない場合 ■FAX
03-6625-2809 050-3786-2060

※メールでのお問い合わせ、窓口の受付時間などはこちらをご覧ください。
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/contact/>



●修理に関するご相談受付窓口は・・・

富士フイルム修理サービスセンター

TEL 0570-04-1040

- 上記電話番号がご利用いただけない場合 ■FAX
03-6625-2810 050-3786-2040

- 修理品の送付先
〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1

※修理に関するサービス内容、窓口の受付時間などはこちらをご覧ください。
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/repair/>



●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター TEL 0570-04-1711

※各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN

<https://fujifilm-x.com>

